

STEP 1 - 1 基本情報

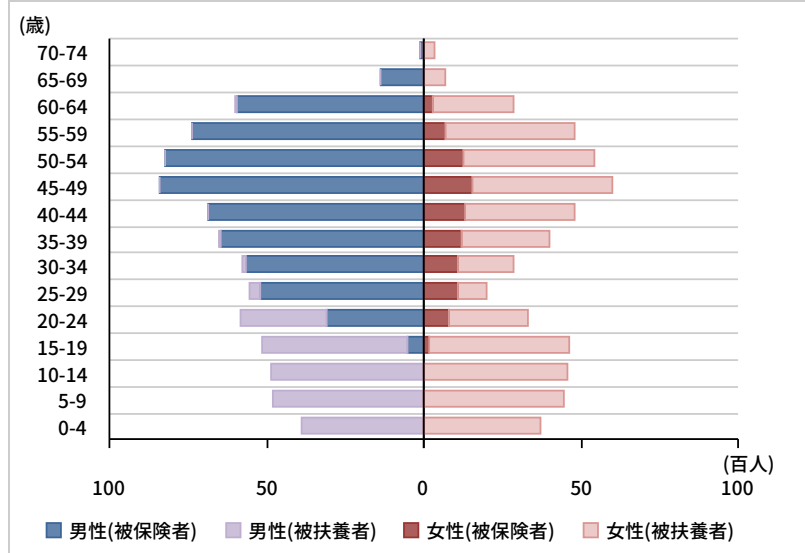
組合コード	45197		
組合名称	日産自動車健康保険組合		
形態	単一		
業種	機械器具製造業		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	69,500名 男性86.2% (平均年齢44.28歳) * 女性13.7% (平均年齢40.04歳) *	69,849名 男性86.4% (平均年齢44.6歳) * 女性13.6% (平均年齢40.7歳) *	68,059名 男性85.8% (平均年齢44.69歳) * 女性14.2% (平均年齢40.66歳) *
特例退職被保険 者数	0名	0名	0名
加入者数	137,521名	133,904名	129,355名
適用事業所数	64ヵ所	63ヵ所	60ヵ所
対象となる拠点 数	100ヵ所	100ヵ所	100ヵ所
保険料率 *調整を含む	87.0% ₀₀	87% ₀₀	87% ₀₀

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	25	66	27	60	26	61
	保健師等	77	25	84	24	85	24
事業主	産業医	13	88	13	88	6	71
	保健師等	37	13	37	13	36	7

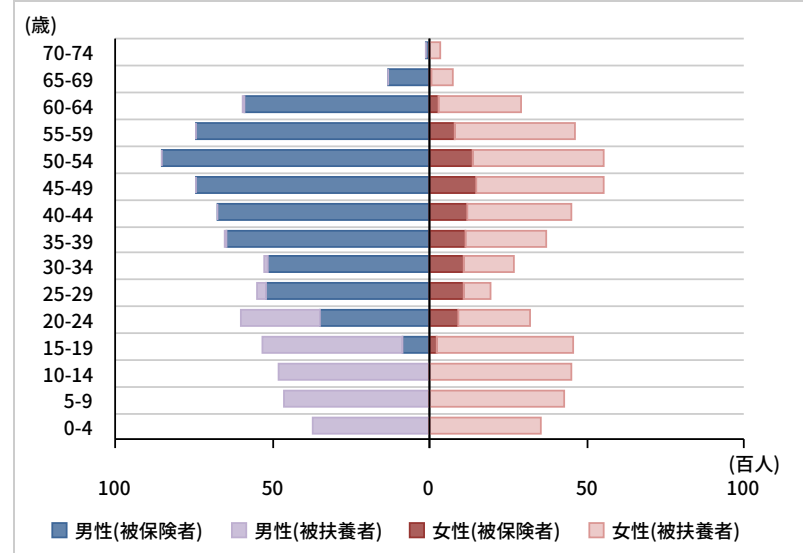
		第2期における基礎数値 (平成28年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)	全体	48,661 / 61,010 = 79.8 %	
	被保険者	38,409 / 40,818 = 94.1 %	
	被扶養者	10,252 / 20,192 = 50.8 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)	全体	749 / 8,923 = 8.4 %	
	被保険者	692 / 8,175 = 8.5 %	
	被扶養者	57 / 748 = 7.6 %	

		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	121,615	1,750	113,035	1,618	110,035	1,617
	特定保健指導事業費	129,710	1,866	145,610	2,085	147,710	2,170
	保健指導宣伝費	119,607	1,721	253,100	3,624	318,200	4,675
	疾病予防費	670,438	9,647	660,958	9,463	669,788	9,841
	体育奨励費	11,700	168	7,858	112	7,858	115
	直営保養所費	178,577	2,569	194,607	2,786	185,397	2,724
	その他	38,050	547	39,019	559	39,019	573
	小計 …a	1,269,697	18,269	1,414,187	20,246	1,478,007	21,717
	経常支出合計 …b	41,311,347	594,408	40,769,282	583,677	42,216,613	620,294
	a/b×100 (%)	3.07		3.47		3.50	

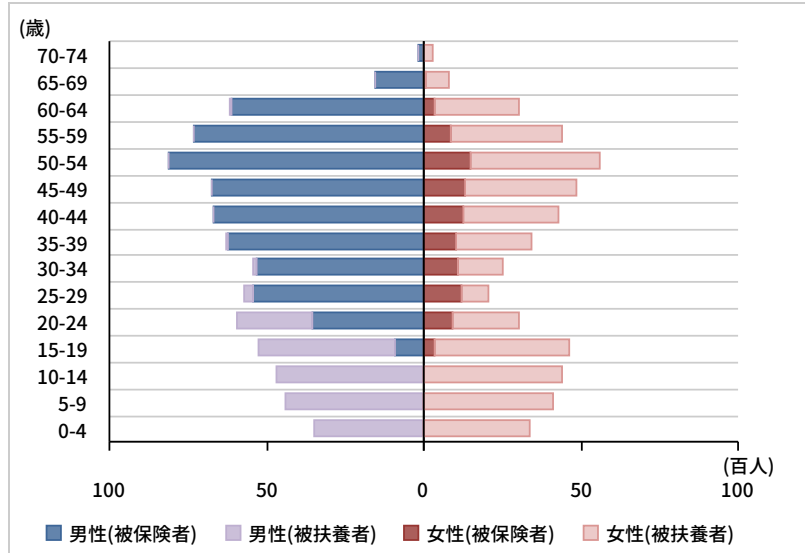
令和3年度



令和4年度



令和5年度



男性（被保険者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人
10～14	0人	15～19	526人	10～14	0人	15～19	831人	10～14	0人	15～19	907人
20～24	3,065人	25～29	5,203人	20～24	3,494人	25～29	5,219人	20～24	3,522人	25～29	5,445人
30～34	5,686人	35～39	6,433人	30～34	5,159人	35～39	6,432人	30～34	5,302人	35～39	6,254人
40～44	6,867人	45～49	8,377人	40～44	6,731人	45～49	7,445人	40～44	6,699人	45～49	6,764人
50～54	8,226人	55～59	7,386人	50～54	8,525人	55～59	7,411人	50～54	8,114人	55～59	7,322人
60～64	5,922人	65～69	1,392人	60～64	5,882人	65～69	1,291人	60～64	6,136人	65～69	1,521人
70～74	115人			70～74	140人			70～74	162人		

女性（被保険者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人
10～14	0人	15～19	145人	10～14	0人	15～19	227人	10～14	0人	15～19	317人
20～24	822人	25～29	1,073人	20～24	916人	25～29	1,093人	20～24	912人	25～29	1,187人
30～34	1,073人	35～39	1,187人	30～34	1,062人	35～39	1,117人	30～34	1,104人	35～39	1,047人
40～44	1,308人	45～49	1,542人	40～44	1,223人	45～49	1,479人	40～44	1,232人	45～49	1,328人
50～54	1,273人	55～59	709人	50～54	1,395人	55～59	795人	50～54	1,500人	55～59	876人
60～64	264人	65～69	28人	60～64	289人	65～69	35人	60～64	326人	65～69	54人
70～74	2人			70～74	1人			70～74	0人		

男性（被扶養者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	3,877人	5～9	4,784人	0～4	3,699人	5～9	4,621人	0～4	3,489人	5～9	4,422人
10～14	4,867人	15～19	4,606人	10～14	4,807人	15～19	4,486人	10～14	4,698人	15～19	4,368人
20～24	2,767人	25～29	321人	20～24	2,528人	25～29	289人	20～24	2,398人	25～29	276人
30～34	129人	35～39	51人	30～34	109人	35～39	61人	30～34	111人	35～39	60人
40～44	15人	45～49	16人	40～44	16人	45～49	11人	40～44	19人	45～49	17人
50～54	17人	55～59	16人	50～54	20人	55～59	18人	50～54	22人	55～59	15人
60～64	33人	65～69	22人	60～64	40人	65～69	23人	60～64	43人	65～69	17人
70～74	26人			70～74	25人			70～74	24人		

女性（被扶養者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	3,728人	5～9	4,458人	0～4	3,549人	5～9	4,302人	0～4	3,377人	5～9	4,117人
10～14	4,548人	15～19	4,483人	10～14	4,503人	15～19	4,359人	10～14	4,385人	15～19	4,304人
20～24	2,497人	25～29	909人	20～24	2,264人	25～29	879人	20～24	2,095人	25～29	884人
30～34	1,797人	35～39	2,821人	30～34	1,597人	35～39	2,591人	30～34	1,427人	35～39	2,403人
40～44	3,503人	45～49	4,460人	40～44	3,320人	45～49	4,043人	40～44	3,026人	45～49	3,517人
50～54	4,168人	55～59	4,093人	50～54	4,199人	55～59	3,819人	50～54	4,091人	55～59	3,544人
60～64	2,589人	65～69	672人	60～64	2,619人	65～69	671人	60～64	2,702人	65～69	758人
70～74	352人			70～74	318人			70～74	281人		

基本情報から見える特徴

- 1）大規模な健康保険組合（被保険者7万人、被扶養者7.1万人）特定健康診査対象は64千人で全体の47%を占める
- 2）前期高齢者は1,650人で比率は1.2%である。（被保険者と被扶養者の割合は4対6）
- 3）特定保健指導対象者は非メタボや服薬者も含め日産基準の10段階リスク判定値を用いて選定し、指導メニューは動機づけ支援並みで実施している。（国の基準ではないため、報告の実施率は目減りする）
- 4）関連企業が多く、全国に事業所が点在するため統一が難しい

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴		
1) 家族の特定健診受診率が向上しているが80%以上を目指す。 ⇒・事業所とのコラボで前期高齢者の家族は効果がみられる。・未健診者の把握を早い段階で行いフォローを行う。		
2) 特定保健指導は10階層化で重症化防止を目的に対象者を選定しているが、国基準への移行を行っていく。		
3) 保健事業としての福利厚生の実施を目的に、インセンティブの仕組みなど新しい施策を考案する。		

事業の一覧

職場環境の整備		
疾病予防	メンタルヘルス支援	I-④
疾病予防	電話による健康相談	I-④
直営保養所	福利厚生（直営保養所・外部リゾート施設契約）	Ⅲ-⑤⑥
予算措置なし	健康白書	Ⅳ-⑤
予算措置なし	事業主の会議体への参加	Ⅳ-⑥
加入者への意識づけ		
特定健康診査事業	健診結果の自宅送付（けんこう宅配便）	Ⅲ-①
特定保健指導事業	講演会やセミナー開催	Ⅲ-⑧⑨、Ⅳ-④
保健指導宣伝	健康作りインセンティブ制度	Ⅲ-④
保健指導宣伝	機関誌発行（けんぽニュース）	V-①
保健指導宣伝	健保の情報提供	V-①
保健指導宣伝	前期高齢者の健康作り支援（けんこう宅配便）	V-④
疾病予防	事業所コラボ活動	Ⅳ-④
体育奨励	健康作り支援（スポーツジム契約）	Ⅲ-⑦
個別の事業		
特定健康診査事業	☆特定健診（被保険者）	Ⅱ-①
特定健康診査事業	☆特定健診（被扶養者）	Ⅱ-①
特定健康診査事業	家族の未健診者フォロー	Ⅱ-⑤
特定保健指導事業	☆特定保健指導（被保険者）	Ⅲ-②
特定保健指導事業	☆特定保健指導（被扶養者）	Ⅲ-②
保健指導宣伝	育児支援	Ⅲ-⑪
保健指導宣伝	データヘルス計画推進システムの構築	Ⅲ-⑫
疾病予防	歯科健診の促進	Ⅱ-④、Ⅳ-③
疾病予防	ドック健診（がん検診）	Ⅱ-②、Ⅳ-②
疾病予防	シニアすこやかサポート活動（被扶養者・前期高齢者保健指導）	Ⅲ-③
疾病予防	ジェネリックの利用促進	V-②
疾病予防	不適切な受診者へ照会案内送付	V-③
疾病予防	禁煙活動	Ⅲ-⑮
疾病予防	レディース健診	Ⅱ-②、Ⅳ-②
その他	安心して治療に専念できる環境づくり（付加給付の充実）	I-①②③
予算措置なし	利用者の満足度向上（４事業）	Ⅲ-⑭
事業主の取組		
1	安全衛生委員会の開催	
2	新入社員研修	
3	定期健康診断&特殊健康診断	
4	雇用時健診	
5	海外赴任前、一時帰国、帰国時健診	
6	健康診断事後措置に伴う個別指導	
7	胃・大腸がん受診率の向上	

8	メンタル休業者防止&再休業者防止
9	メンタルヘルスセミナー
10	休業者の復職診断
11	フィジカル休業者率
12	筋骨格系傷病休業者の削減
13	非メタボ者の健康者率向上
14	受動喫煙防止活動
15	高負荷勤務者の面談

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
疾病予防	1,6	メンタルヘルス支援 Ⅰ-④	【目的】メンタル疾患者の患者本人・家族・その他関係者等の不安解消と疾病の重症化防止 【概要】電話相談や面談支援を行う窓口を設置（同一人物の利用は5回までと制限している）	被保険者被扶養者	全て	男女	0～（上限なし）	全員	1,932	利用者数：H29実績 電話299件（対象者：147千人・被保険者利用率0.4%）H29/9月～H30/3月は激減している。	相談件数は年々減少傾向となっているが対象者の不安解消や重症化抑制には貢献できていると推測している（個人情報入手していないため個別状況は把握していない）	・IoTの発達と普及でニーズは減少しているため、面談相談についてはH26～自己負担へ切替えたが今後も事業の継続には見直しが必要か	2
	6	電話による健康相談 Ⅰ-④	【目的】緊急時や困り事の相談を行うことにより不安解消を図る 【概要】国内や海外勤務者の医療相談や育児支援の窓口を24Hフリーダイヤルで受け付ける	被保険者被扶養者	全て	男女	0～（上限なし）	全員	4,000	利用者数：H29実績 国内：663件（対象者：147千人・被保険者利用率1％）海外：38件（月内0～8人利用） ・利用実績は15年間記録があり利用推移がわかる	・電話相談は緊急時に相談でき、海外で言葉の心配がある方へのサービスも提供できる。 ・健康相談の利用者数は年々増加傾向がある。	・直近5カ年は利用率1％以下（对被保険者） ・HPの閲覧回数や利用時間帯など調べることで効果検証できるか ・費用対効果は期待できるか	2
直営保養所	1	福利厚生（直営保養所・外部リゾート施設契約）Ⅲ-⑤⑥	【目的】安価に利用可能な施設を保有することで、従業員および家族とOBにも心のリフレッシュを提供する 【概要】①直営保養所 3施設 ②契約施設 法人契約 2社 ③そのほか宿泊施設やレジャー施設など法人個別契約40か所以上	被保険者被扶養者	全て	男女	-～（上限なし）	基準該当者	114,758	H29年度実績 ①直営保養所 部屋稼働率：75％（5879人/7796人）満足度：91％（5点評価の5点採点者 2820人/3116人） ②法人契約施設 利用率：利用率100％利用 ③その他契約施設（ビスタリゾート・星野リゾートなど）2年更新で契約見直し	・直営保養所および法人契約は満足度が高い ・直営は休前日とトップシーズンはメンバーだけの抽選となるが抽選確立が50倍という日もある。 ・直営は利用者アンケートに基づいて運営の改善を常に意識し行っている。 ・法人契約施設も利用状況など細かく報告があり利用枠いっぱいでの利用実績がある	・直営は設備の老朽化により存続には大規模な営繕計画が必要である ・制度の浸透が不十分で固定客の利用がめだつ	-
予算措置なし	1	健康白書 Ⅳ-⑤	【目的】事業所ごとの健康課題を理解してもらう。 【概要】事業所の健康管理課や総務＆人事へ直接訪問し、対面で健診結果や医療費の分析を行い、現状把握やこんごの課題を示し将来的には健康経営に導く。	被保険者	全て	男女	-～-	基準該当者	-	・事業所訪問数（健康白書提示数）：45事業所 ・事業主健診後に保健指導の実施打ち合わせ時に健康白書を用いて提示を行う	事業所ごとの課題を理解し、健保事業への理解を深めていただき、社員の健康維持・改善への協力体制を整える。	窓口が担当者レベルで終わってしまうと事業所全体のリテラシーの向上は期待できない。	-
	1	事業主の会議体への参加 Ⅳ-⑥	【目的】健保事業の理解を高め、組合員の健康づくりを協働して行うための協力をもとめる。 【概要】①センター長会議（A5S・健保事務局） ②産業職会議（A5S・健保事務局） ③AFL会議 ④情報交換会	被保険者	全て	男女	18～（上限なし）	全員	-	①毎月実施（健保本部内） ②毎月実施（健保本部内） ③不定期 ④不定期	①＆②定期開催により情報共有はできている ③＆④開催は不定期で、発言は短時間であったり発言なしであったりするが、ステークホルダーの集まりなので課題を理解してもらえれば大きく前進する。	①＆②各々持ち場が確立しているため発展性がない ③＆④健保事業への理解が最も低い	-
加入者への意識づけ													
特定健康診査事業	2	健診結果の自宅送付（けんこう宅配便）Ⅲ-①	【目的】生活習慣改善への動機づけを図る。リスクに応じた何をすべきであるか見える化を行い、健康行動変容へつなげる 【概要】健診実施者全員へ3カ年の健診結果をグラフ化し、リスク度評価、インセンティブ、医療費予測、今後の結果予測などの冊子を自宅へ送付。内製で作成している。	被保険者被扶養者	全て	男女	40～74	基準該当者	16,008	約50,000人へ送付 健保独自の階層化（10階層）を行い過去歴、ドック健診履歴、医療費予測、健診結果予測を行いリスク有者へは生活習慣改善のコメントで動機づけを図った。また改善（リスク評価が良くなった方）した方へインセンティブで表彰している。 O／P指標（満足度：目標72％→結果77％）	・自宅送付することで本人と家族双方で共有し生活習慣改善の動機づけを図る。 ・中身はグラフ、イラストを多くして見やすい紙面を工夫した。 ・10階層化により立ち位置の明確化と将来予測により意識改善を促した。 ・改善した方へはインセンティブで表彰しモチベーション向上を図った。 ・10階層化の判定を内製で実施できるようになった。 ・紙面の満足度調査を実施している。	・制度の認知が不十分（宅配便を知らない） ・健診結果の到着が遅い医療機関がある。 ・自宅配送は費用がかかる。 ・アンケート調査はWeb対応のみに変更したところ、回収が激減した。	4

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象 事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
特定保健指導事業	5,8	講演会やセミナー開催 Ⅲ-⑧⑨、Ⅳ-④	【目的】 情報提供を通じ話題作りや生活習慣改善へ誘導する。ストレス軽減やメンタル予防にも効果を求める。 【概要】 直営健診施設（日産メディカル）にて健康づくりセミナーを年間計画に基づいて開催する。	被保険者被扶養者	全て	男女	18～（上限なし）	全員	2,892	自営の健診施設：受講者数 C:120名 T:170名 O/P指標（実施率：100% 実施件数/計画件数） H29実績：計画実施率 100% 9件/9件	話題性を持たせたテーマで集客を考慮して計画している。	・健康意識の低い層へのアプローチが課題 ・継続した健康活動へつなげたい	2
保健指導宣伝	8	健康作りインセンティブ制度 Ⅲ-④	【目的】 継続した健康作りと生活習慣改善への意識向上に繋げる。 【概要】 ①40歳以上は健診結果のリスク度改善者と低リスク維持者を表彰（健診結果と一緒に自宅送付） ②40歳未満は年間医療費が0円の方へ表彰	被保険者被扶養者	全て	男女	18～（上限なし）	基準該当者	13,096	①40歳以上：健診結果のリスク度改善者：13474人（日産/関連/家族に分類し個別管理 目標値は総合で C:30%、T:32%） ②40歳未満：医療費なし ：3,143人 O/P指標（29年度は健康度UP率へ変更し指標管理）	・2015年度まではリスク度の削減率を指標にしていたが、健康度をみる活動へ変更した ・家族は健康者率が高い ・改善者はモチベーション向上に繋がっている（一部の事業所からの声とアンケート調査より）	②40歳以下の医療費0円者へのインセンティブは課題	4
	5	機関誌発行（けんぽニュース） Ⅴ-①	【目的】 健保情報の周知や健診案内で受診に繋げる。 【概要】 健保サービス情報、健康作り情報、事業紹介、予算決算などを掲載(8P)し、会社経由で送付（2回／年）・Webのみの提供もあり	被保険者被扶養者	全て	男女	0～（上限なし）	全員	1,373	2回／年：（1回：47500部発行）PDF（社内イントラ用）提供：15事業所 …H29年度の2回目（春号）は特別版（増ページ）で自宅配布	・紙での配布、HP掲載、メルマガPR、社内イントラ掲載、イベント配布、関係部署への周知、診療所・保養荘設置など ・母体企業での紙配布は母体企業の配布物へ同窓している	・コスト低減のためIoTの利用による情報提供を強化したいが、Web上は情報が溢れているため逆に浸透が難しい。 ・HPの充実や定期的に閲覧するための仕掛けが必要 ・健保事業を加入者い100%認知してもらいたい。アンケートの実施などで実態調査の必要がある ・自宅配布は宅配便では住所変更対応していないので配布率が落ちる。 ・自宅配布は健保台帳情報は不備が多いことが判明した。	3
	5	健保の情報提供 Ⅴ-①	【目的】 タイムリーな情報提供を行いサービス向上と健保活動の認知を深める。 【概要】 ①ホームページ ②メルマガ ③健康イベント	被保険者被扶養者	全て	男女	0～（上限なし）	全員		①HP（内製）の更新：5～10回／月 ②メルマガ発信：32回／年（15千人／1回の送付件数） ③健康イベント：7回／年 参加人数：3000人	①&②は活動の質を高めるため委員会組織で活動を推進した ②組合員の生の声を聞くにはメルマガのプレゼント企画が有効 ③これまでは無料の配布物と用いて参画していたが「肺年齢測定器」を購入して年間を通じて“禁煙活動”に特化した	①ホームページの活用度アップ ②・メルマガの登録者数の拡大 ・プレゼント応募者が激減した要因をつきとめ改善を行う ・肺年齢に特化せず健保活動の認知を深める活動へシフトチェンジする	3
	2,5	前期高齢者の健康作り支援（けんこう宅配便）Ⅴ-④	【目的】 健康作りの情報提供により生活習慣改善への取り組みに繋げる 【概要】 ①健康作り情報や生活習慣改善の取り組みを4回／年を自宅へ送付 対象者65～74の前期高齢者（本人・家族）および、60～64の家族のいる世帯へ1冊 ②診療所・健診ホール・保養所でも読み物として設置	被保険者被扶養者	全て	男女	60～74	基準該当者	1,525	①リーフレットを自宅へ送付。（対象者：3600人。送付時期：4回／年） ②健診センター・診療所・保養所など15カ所へ配布	・リーフレットの内容は、時節や関心の高そうな情報を掲載し、情報を詰め込みすぎず見易さ重視で作成している ・自健保情報を必ず1つ作成し気づきを促す。 ・毎月ファイリングしている方あり	・専門知識が必要な記事のため原稿は委託している	3
疾病予防	1,5	事業所コラボ活動 Ⅳ-④	【目的】 事業所と協働で健康づくり活動をすることで、より効果の高い保健事業を行う 【概要】 ①会社主催の健康イベントへ健保も協賛して講演会やセミナーを開催する ②スポーツジムなどの専門業者と連携して効果的なイベントを計画する	被保険者	全て	男女	18～（上限なし）	基準該当者	6,532	生活習慣病・歯科疾患・メンタル・がんに関する内容で、発症の予防・改善が期待できる取組みに対し、費用の補助や企画のアドバイスのサポートを実施する。 O/P指標 事業所コラボ 新規コラボ事業所の開拓 C:3事業所 T:5事業所 実績：5事業所	・各事業所のニーズに合わせ、具体的なプランを提示するなど、アドバイス強化したことで、実施事業所を拡大した。 ・費用対効果を明確にするため、効果検証方法を実施前に申請してもらうなど、より成果の見える活動になった。 ・効果の出るプログラムを利用する用、サポートを行った。	・効果検証方法の設定が難しいイベントも多く、判断に迷うため、成果を積み上げていき、ルールを明確にしたい。 ・担当者の変更など引き継ぎが十分でない計画がとん挫する可能性がある	3

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
体育奨励	8	健康作り支援（スポーツジム契約）Ⅲ-⑦	【目的】自主的に運動習慣を身に付け健康の維持向上を支援する 【概要】①スポーツジム3社と法人契約し年会員や都度会員として利用する ②専門業者と連携して効果的なイベントを計画する	被保険者被扶養者	全て	男女	18～（上限なし）	全員	3,045	月平均利用数： コナミ 1392人、セントラル 93人、ルネサンス 1038人（対象者：147千人） O/P指標（利用率の維持向上）	・全国規模で展開できるジムを選定して組合全員へ運動できる機会を提供できた。 ・ジム利用の案内は機関誌、メルマガ、HP掲載を中心に機関限定の割引などでPRしている。	・制度の認知不足含め利用者が伸び悩んでいる。 ・健康フェスタなど行って割引券など配布しているが利用実績は少ない。 ・地方のスポーツクラブ不足のため、契約ジムの拡大を検討していく	2
個別の事業													
特定健康診査事業	3	☆特定健診（被保険者）Ⅱ-①	【目的】特定健診による生活習慣病リスク判断 【概要】適用条件で分けた目標設定で管理する ①日産／本人 ②関連事業所／本人	被保険者	全て	男女	40～74	基準該当者	159	事業主健診 モニタリングKPI ①日産本人：C:95% T:96% 実績：95% 19245人/20232人 ②関連本人 C:92% T:93% 実績：92% 20648人/22468人 予算は関連事業所からXMLデータを提供してもらう費用を計上 …実績は5月登録分まで反映	診療所および事業所との連携により健診データを入手している	・国内外外向者・中途者など把握が不十分 ・健診率の母数から外す作業が必要 ・XML費用負担軽減策が必要	-
	3	☆特定健診（被扶養者）Ⅱ-①	【目的】特定健診による生活習慣病リスク判断 【概要】適用条件（受診券での受診者）で分けた目標設定で管理する	被扶養者	全て	-	40～74	基準該当者	13,157	特定健診の受診券利用者（健保連共同事業の集合契約A&Bの利用者）：1639人	・かかりつけ医などで利用可能なため需要がある ・受診券を直接郵送することで利用率が上がる ・経年で受診券の利用者がいる（定着）	・特定健診以外の検診（がん検診）につながらにくい ・市区町村発行の利用券利用者の把握ができない	-
	3	家族の未健診者フォローⅡ-⑤	【目的】家族の健診受診促進を行い健康状態を確認する 【概要】①健診案内の自宅送付 ②健診リマインド葉書を自宅送付 ③誕生月に受診券を自宅送付 ④60歳以上は、事業主経由で従業員に受診勧奨通知送付 ⑤日産メディカル（健診センター）の未受診者フォロー	被扶養者	全て	男女	40～74	基準該当者	1,623	家族：2回／年、前期高齢者：3回／年 ①3月中に翌年度の健診案内を自宅送付する（2万人） ②前年度受診月の2か月前にリマインド葉書を自宅配送する。 ③前年未健診者へ特定健診受診券を自宅送付する。 ④11月ころ60歳以上の未健診者を抽出し事業主経由にて従業員あてにご家族の未健診をフォローするよう案内する。 O/P指標（家族の受診率 目標：49% H29結果：50.5%	①毎年同じ時期に健診案内を自宅配送することで認知度は高い。 ②リマインド葉書により気づきを促す ③未健診者には直接受診券を送付する ④シニアは従業員あてに未健診を伝え健診受診へつなげる 家族（40-74）の健診推進は広報活動で周知していく ⑤60歳以上（前期高齢者含む）は事業所と協働して未健診フォローを被保険者経由で行う。	・治療と健診が混同している方への理解不足解消 ・拒絶者への理解促進（特に被保険者へのアプローチ） ・介護施設の入所など情報を入手していない	4
特定保健指導事業	4	☆特定保健指導（被保険者）Ⅲ-②	【目的】リスクに応じた保健指導を行うことで、限られた予算を有効に使い結果（重症化防止）につなげる 【概要】保健指導実施率と指導後の行動変容率改善率を指標とする ①日産／本人 診療所単位で環境に応じた指導を行う ②関連／本人 服薬なしのリスク7-8の前年より悪化したものを指導対象とする	被保険者	全て	-	40～74	基準該当者	66,932	①自健保基準の目標値 ・日産/本人：C:90%、T:95% H29実績：100% ・関連/本人：C:87%、T:92% H29実績：87% ①国基準のモニタリングKPI ・日産/本人：C:0.8%、T:2.75% ・関連/本人：C:0.8%、T:2.75%	①・診療所ごとに目標値を定め月次報告 ・保健指導の効果検証の1つとして、行動変容率を取り入れた。 ・関連事業所の保健指導は指導会社と事業所訪問し、担当者の協力を得て行う ・関連事業所の保健指導は委託業者の実施状況を現地調査（帯同）し指導会社の評価を行っている	①・リスクが少なく保健指導を必要としない層からもハイリスクへ悪化する傾向がある ・保健指導対象者層以外に対して、ポピュレーションアプローチの強化が必要 ・①は国基準に則していないため公表される実施率（②）は非常に少ない ・国基準に則する必要がある	-

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	4	☆特定保健指導（被扶養者）Ⅲ-②	【目的】 リスクに応じた保健指導を行うことで、限られた予算を有効に使い結果（重症化防止）につなげ、指導後の行動変容を指導前と比べ改善率を追う 【概要】 ① 40歳～59歳／家族 リスク7～10 訪問指導を行う ② 40歳～59歳／家族 国基準の支援対象者へ1CTの保健指導をトライアルする ③ 40歳～74歳／家族 保健指導後の行動変容改善率で効果検証する	被扶養者	全て	-	40～74	基準該当者	10,134	①40-59歳/家族 リスク7-10 H29実績：22%（317人/1460人） ②40-59歳/家族 積極的・動機づけ支援者 H29実績：7人（実績）/69人（案内送付） ③40-74歳 保健指導後の行動変容改善率（年度の流れ込みを含む） C:50% T:55% H29年度実績：59%	・タイムリーに指導案内をするしくみがある（けんこう宅配便にサポート案内同封） ・指導後の行動変容を計測できるしくみがある ・保健指導のICTの実績をトライアルした	①・国基準に則していない対象者としているため、報告する実績率は非常に低い ・辞退者や拒否者・無関心層へのアプローチが必要（拒否の理由などは集計あり） ②ICTのトライアルは委託先の環境が不十分であり実施者が少なかった ③保健指導後の行動変容の測定は指導終了後に時間がかかるため指標としてはタイムリーに計測できない	-
保健指導宣伝	5	育児支援Ⅲ-⑪	【目的】 初産者への子育て支援 【概要】 育児書を送付することで子育ての情報提供と健保との繋がりを継続させる	被保険者被扶養者	全て	男女	18～（上限なし）	基準該当者	2,104	初産者へ育児書を毎月送付（1歳になるまで）：約575人／年 O/P指標（アンケートの満足度：95%）	初産者の育児書の活用はアンケート結果により高い。また健保からの送付で休職中における安心感が醸成される。	アンケートをさらに多角的に活用していきたい。	4
	-	データヘルス計画推進システムの構築Ⅲ-⑫	【目的】 効果的な保健事業を行うため、保有データを有効活用する分析システムを導入する 【概要】 レセプトと健診データ、適用情報など工数をかけずに分析を行う	被保険者被扶養者	全て	男女	0～（上限なし）	全員	6,236	・2018年度から利用可能とするため、情報収集を行い、相見3社以上検討の上で、システムの決定を行う。 ・導入には専門部署や専門知識者の協力が不可欠のため実施スケジュールを明確にし調整を行う。	・個人情報保護の問題やツール導入の際の阻害要因など、知識者の協力を得て進めることができた。 ・計画通り進捗はしなかったが年度内でデータベースの構築まで行えたためH30年度から利用可能となった。	・分析にはデータソースをしっかりと見極めなければならない。 ・健康白書や診療所単位の分析などで活用を広げていく。	-
疾病予防	3	歯科健診の促進Ⅱ-④、Ⅳ-③	【目的】 早期発見、早期治療により重症化を防止し医療費の抑制を図る 【概要】 ①無料健診の利用者を増やす。 ②事業所で健診時に出張歯科健診を行う ③事業所で健診時に歯科スクリーニング検査を導入して歯科検診へ行動変容を促す ④受診勧奨者へのフォローを行う	被保険者被扶養者	全て	男女	0～（上限なし）	全員	23,715	①年2回の口腔検査・歯石除去の費用補助。 ②職場出張歯科健診の費用補助。 ①と②の合計 実績：8240人 ③スクリーニング 実績：4163人 ④②および③実施者の通院率 C:15%以上、T:25%以上 実績：23.5%	健診案内冊子やけんぽニュースで啓発活動を実施した。	治療が必要な方への受診勧奨を今後も継続し早期治療を促進し重症化防止する	3
	3	ドック健診（がん検診）Ⅱ-②、Ⅳ-②	【目的】 早期発見により重症化防止を図る 【概要】 ①被保険者：事業主健診に「大腸がん検診」「胃がん検診」「職場マンモグラフィー検査」「職場子宮がん検査」に費用補助を行い、早期がんを発見する ②被扶養者：直接契約の医療機関、巡回健診、出張健診など選択の幅を広げたがん検診を案内する。 ③有所見者はがん検診後のフォローを個別に行い、治療に結びつける ④新規がん罹患者を追い、罹患率の推移を調べる	被保険者被扶養者	全て	男女	30～74	全員	145,995	①と②人間ドック：5067人 ③がん精検受診率 C:30%、T:50% 実績：本人/53.5%、家族/56%（がんは5部位の精検実施率をそれぞれプロットする） ④がんレセ新規罹患者の入院日数 C:16日 T:14日 実績：12日	①と② 契約医療機関での受診者が前年より4%増加した（149人） 単独で行うがん検診の受診者も増加している（29人→41人）	・健診（がんを含め）の効果として、早期発見となっているのか？を検証するための方法を検討する（新分析システムで検討する） ・制度を変更することにより医療機関数の増加、予約方法の簡素化を検討の上、受診者数を増やす	2

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	4	シニアすこやかサポート活動（被扶養者・前期高齢者保健指導）Ⅲ-③	【目的】 60歳以上全員に保健指導を行う。重症化を予防・予防し入院や高額医療者の削減を図る 【概要】 ①60－73歳／家族 健診実施者全員サポート活動（保健指導） ②前期高齢者重症化対策 入院・高額医療患者数推移 ③60－73歳／家族 未健診者重症化対策 レセプトから重症化を予測し調剤薬局を用いて保健指導を行う ④前期高齢者医療費推移 加入者一人当たり医療費の月別推移を把握し、増減の分析を追及する	被扶養者	全て	男女	60～73	基準該当者	14,210	①60－73歳/家族 リスク1-4 電話保健指導実績 52%（250人/483人）、リスク5-10 訪問指導実績 33%（299人/907人）：合計39% ②入院＋高額者発生率 目標12%以下実績 10% ③60-73歳/家族 未健診者 調剤薬局での保健指導 実績18%（48人/272人） ④加入者一人当たり/シニア年間医療費 O/P 指標（目標485千円→結果392千円）	①・タイムリーに保健指導案内をするしくみがある（けんこう宅配便にサポート案内同封） ・指導後の行動変容を計測できるしくみがある ・前期高齢者になる前（60歳～）に保健指導を行うことで早目の生活改善による重症化を防止する狙いがある。 ③前年トライアルしたことで案内など改善し、実施率の向上へ導いた。 ④・前期高齢者医療費は減少傾向でさまざまな対策によるものと推測している。 ・今年度はBMより少ない結果となった	①・国基準に則していない対象者としているため報告実施率は非常に低い ・辞退者や拒否者への制度の理解不足 ②重症化の傾向はみられないが何が原因で改善しているのかがつかみきれない ③未健診者が健診に移行する実績がほしい ④・医療費は改善しているが原因はつかめていない	4
	8	ジェネリックの利用促進 V-②	【目的】 調剤費の抑制を行い医療費の適正化を図る 【概要】 500・700・800・1000円以上の削減効果者を対象に差額通知を送付する	被保険者被扶養者	全て	男女	0～（上限なし）	基準該当者	1,895	送付者件数：12,607件／年（4回／年） 対象者：142千人 O/P指標（ジェネリック利用率：目標41%→結果40.78%）	院内処方箋からも抽出した	対象者拡大の検討	4
	4	不適切な受診者へ照会案内送付 V-③	【目的】 不適切な受診行動を抑制し医療費の適正化を図る 【概要】 ①時間外利用者：医療機関受診時に加算額があった方へ通知を行い、加算額のない時間帯を案内 ②柔整利用者：柔整版医療費通知の送付 ・長期受療者へは照会や外注による審査を行う ・所見者へは正しい受療について案内を送付	被保険者被扶養者	全て	男女	0～（上限なし）	基準該当者	3,344	①時間外利用者へ案内送付：12980件/年2回 O/P指標（改善率： 目標：増加率4%以下→結果：▲3.8%以下） ②柔整版医療費通知の送付：1323件/年1回 O/P指標（加入者1人あたり医療費： 目標1198円以下→結果1134円）	①1回でも加算が発生した人へ送付を行い、対象者の拡大を図った。 ②柔整治療を6ヶ月継続している人を対象とし効果を確認できた	①広く情報発信を行い、制度を認知してもらう ②該当者に合わせた内容の案内が必要	4
	1,5	禁煙活動 Ⅲ-⑮	【目的】 喫煙率を削減し健康へのリスクを低減する活動を行う 【概要】 目標設定し活動を進める。また事業所単位でも目標設定し競争意識を持たせる 関連／本人	被保険者	全て	男女	20～（上限なし）	基準該当者		関連/本人：40歳以上、喫煙率を健診結果から把握する O/P指標（喫煙率 C:35% T:34% 実績：35%） 遠隔禁煙外来をトライアル実施し47名の成功者があった	9月～3月に遠隔禁煙外来をトライアル実施し効果があった（脱落者は2名のみ）	・遠隔禁煙外来を拡大する。（予算の計上を行う：29年は試行） ・事業所の職制や健康関係の担当者の意識改革が必要 ・活動の周知には組織力が弱い	-
	3	レディース健診 Ⅱ-②、Ⅳ-②	【目的】 早期発見により重症化防止を図る 【概要】 ①直接契約の医療機関、巡回健診、出張健診など選択の幅を広げた基礎健診またはがん検診を案内する。 ②有所見者は、がん検診後のフォローを個別に行い、治療に結びつける ③新規がん罹患者を追い、罹患率の推移を調べる	被保険者被扶養者	全て	女性	18～74	基準該当者	209,247	①レディースドック受診者 H29実績：12774人（内数 巡回主婦健診：922人、職場巡回健診（女性がん）：992人） ②がん精検受診率 C:30%、T:50% 実績：本人/53.5% 家族/56%（がんは5部位の精検実施率をそれぞれプロットする） ③がんレセ新規罹患者の入院日数 C:16日 T:14日 実績：12日	①巡回主婦健診、職場巡回健診ともに前年より5～10%伸びている ニーズにあった健診方法と考えられる	・健診（がんを含め）の効果として、早期発見となっているのか？を検証するための方法を検討する（新分析システムで検討する） ・制度を変更することにより婦人科部分を無料化し受診者拡大を狙う	-

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
その他	1	安心して治療に専念できる環境づくり（付加給付の充実）Ⅰ-①②③	【目的】安心して治療に専念できる環境づくり 【概要】①付加給付金の充実 ②休業補償の補てん ③休業補償期間の延長	被保険者	全て	男女	～（上限なし）	基準該当者	-	①付加給付・同一月に同一医療機関（入院・通院別）で保険診療を受けた際の自己負担額が25000円を超えた時、25000円を差し引いた金額を100円未満切り捨てて支給 ②傷病手当付加金：傷病手当金受給期間となる1年6ヶ月について標準報酬額の約13%を上乗せして支給 ③延長傷病手当付加金：傷病手当終了3日から6ヶ月について標準報酬月額60%を支給	・病中は安心して治療に専念してもらう	・継続して健全な運営を行う必要がある	-
予算措置なし	1,2,3,5,8	利用者の満足度向上（4事業）Ⅲ-⑭	【目的】4つの事業における満足度を調査しそれぞれの目標と合計満足度を管理する 【概要】満足度5段階評価の5点のみ評価（5非常に満足） ①日産診療所利用者満足度 ②日産メディカル（健診センター）満足度 ③保養所利用者満足度 ④けんこう宅配便（健診結果通知）満足度	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～（上限なし）	全員	-	①日産診療所満足度 C:80%、T:85% 結果：80.2% ②日産メディカル満足度 C:80%、T:85% 結果：81.7% ③直営保養所満足度 C:90%、T:95% 結果：90.5% ④けんこう宅配便満足度 C:80%、T:85% 結果：77.2%	・ホームページやメルマガ、機関誌、労働組合の機関紙などを通じPR活動を積極的に行っている。 ・利用者満足度指標により常にお客様目線でサービスを行っている。 ・アンケート結果の振り返りを毎月行い、改善を実施している また利用者満足度指標により常にお客様目線でサービスを行っている。	・忙しい時間や人手不足の現場は満足度が低い	4

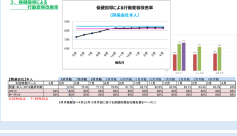
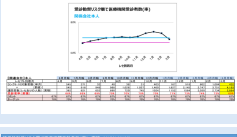
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 訪問指導 8. その他

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
安全衛生委員会の開催	安全衛生における計画の策定と活動の承認	被保険者	男女	18～74	中央安全衛生委員会：毎年2月開催（会社代表＋労働組合代表＋産業医代表） 安全衛生委員会：事業所ごと毎月実施（参加者は同上） 部・課の安全衛生委員会：上位方針や活動計画の展開や活動報告など	①全社の方針がトップダウンで展開されている。 ②活動計画の進捗が毎月確認され報告されている。	母体および関係会社への健保代表者を未だ送り込めていない	有
新入社員研修	目的）元気で働くための健康習慣の取得 概要）研修を通じメンタル、栄養、たばこ、運動、睡眠など生活習慣の意識付け	被保険者	男女	18～25	各事業所の実施状況 7事業所	若いうちから良い生活習慣の知識を取得することで、生活習慣病の予防意識を高める	・若年層は、生活習慣病への危機感が薄く、如何に意識を継続的に持たせることが出来るか ・全事業所として取り組めていない	有
定期健康診断＆特殊健康診断	目的）安衛法に基づき実施	被保険者	男女	18～74	定期健診：約14事業所、法定特殊健診：約14事業所、指導勸奨特殊健診：14事業所	安衛法や指導勸奨に基づき実施	特になし	無
雇用時健診	目的）安衛法に基づき雇い入れ時に実施	被保険者	男女	18～74	8事業所	安衛法に基づき実施	特になし	無
海外赴任前、一時帰国、帰国時健診	目的）環境違いに於ける適用判断と健康維持の情報提供	被保険者	男女	18～74	海外赴任前：7事業所、一時帰国：8事業所、帰国時：8事業所	会社からの情報により計画的に実施（赴任辞令交付時）、併せて海外赴任セミナーを開催し海外生活の健康管理を学習した	特になし	無
健康診断事後措置に伴う個別指導	目的）精検や治療の指導と生活習慣改善の支援を行い重症化防止を図る	被保険者	男女	18～74	実施：14事業所	産業医の呼び出しにより治療の指導や生活習慣改善の保健指導を行う	検査結果が改善されない重症者へ就業制限などへのヘルシーの検討が必要 （残業、休日出勤、夜勤や海外出張など）	有
胃・大腸がん受診率の向上	目的）事業所内で行うことで受診率の向上を図り早期発見・早期治療に繋げる 概要）胃バリ、便鮮血検査を年齢で選定して実施	被保険者	男女	30～74	胃がん検診：、大腸がん検診： ～O/P指標（胃がん検診率：90%、大腸がん検診率：90%）	事業所との協働により個々人のフォローを確実にし受診率向上に繋げている。 また下剤もバリウム混合から錠剤へ変更しライン業務の影響を考慮した。	①有所見者の精検率を向上させ早期治療へ繋げる。 ②未受診者への継続フォロー	有
メンタル休業者防止＆再休業者防止	目的）メンタル疾患の休業者削減 概要）ストレスチェック、メンタル相談、復職プログラムの支援を適時実施	被保険者	男女	18～74	ストレスチェック者：14事業所、職場懇談会：30回、復職プログラム： O/P指標（休業者率や再発率で指標管理）	①ストレスチェックにより本人からの相談促進を図った。 ②職場懇談会により職場風土改善に取り組んだ。 ③復職プログラムによる再発防止を重点に支援を図った。（トレーニングセンターを開設）	ストレス疾患の原因が家庭にある場合は会社の対応だけでは限界がある。 今後は家族の支援についても検討が必要。	無
メンタルヘルスセミナー	目的）管理者に対し部下の不調を早期に発見し早期治療を促す 概要）専門講師（外部委託）によるセミナーを管理者向けに実施	被保険者	男女	18～74	マネジメント研修を7事業所でe-Learning6,800名、集合研修100名を実施	①労務管理の基本と部下の「心を強くする」マネジメントスキルの修得 ②課題を抱えた部下への対応ノウハウの修得	継続 ①ストレスに強くなるセミナー等の開催 ②上司と部下のコミュニケーション作り	無
休業者の復職診断	休業から復職する場合の適正配置や就業制限の措置を指示し再発防止を図る	被保険者	男女	18～74	実施者：14事業所（職場復帰者：人） ～O/P指標（再発率や30日以上休業者率など事業所が管理）	面談は本人＋職場上司＋人事担当の3者で行い業務強度を考慮したり勤務制限を付けて再発防止に努めた。（復職診断の基準は再発防止の観点で従来より厳しくなっている）	再発防止は一定の成果が見られるが休職期間が増加する傾向になり健保としては傷病手当金の増加が懸念される。	無
フィジカル休業者率	-	-	-	-	-	-	-	-
筋骨格系傷病休業者の削減	目的）筋骨格系の休業者を削減し労働機会損失の改善を図る 概要）腰痛防止の体操やセミナーを開催	被保険者	男女	18～74	①ラジオ体操の普及：5事業所 ②運動セミナーの開催：11事業所 O/P指標（筋骨格系傷病の休業者削減）	事業所ごとに職場実態に合ったメニューを選定することで参加者の意欲に繋がった	継続的な活動としての定着	有
非メタボ者の健康者率向上	目的）非メタボ者の健康作り支援 概要）非メタボ者へセミナー、健康教室、ウォーキング等のイベントを開催	被保険者	男女	18～74	～実施(79活動)	事業所の勤務形態、業務内容に応じ参加しやすい活動を計画し健康意欲の醸成に努めた	①瞬間的なイベントから継続したイベントへの検討の継続 ②参加辞退者へのフォロー活動	有
受動喫煙防止活動	目的）受動喫煙防止を行い非喫煙者の健康維持を図る 概要）事業所内の環境整備（喫煙所削減や屋外化）	被保険者	男女	20～74	母体企業として2016年に事業所敷地内全面禁煙に向け環境改善を行った。 ①就業時間内禁煙の実施 O/P指標（喫煙率）	母体企業のトップから『喫煙対策宣言』発令により全社一体の活動になった	事業者内に駐在する関係企業の合意形成が必要	有
高負荷勤務者の面談	目的）高負荷勤務者の疾病防止を図る 概要）長時間勤務者と産業医の面談により心身状況を確認し重症化を防止する	被保険者	男女	18～74	高負荷勤務者（残業時間で管理）の面談を実施（対象者約31,000人） ①45h/月以上： ②100h/月以上： ③160h/2か月合計：	100h/月と160h/2か月合計者は翌月に45h以下の社内基準を発動し高負荷勤務者の抑制を図った。	各職場における自主管理の定着が必要	無

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

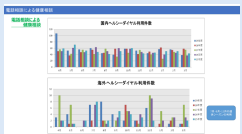
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		特定健診受診率 家族	特定健診分析	-
イ		がん検診精検受診率（関連会社本人）	健康リスク分析	-
ウ		健康度UP率	健康リスク分析	-
エ		保健指導による行動変容改善率	特定保健指導分析	-
オ		受診勧奨リスク層で医療機関受診者数（率） 関係会社本人	健康リスク分析	-
カ		受診勧奨リスク層で医療機関受診者数（率） 家族	健康リスク分析	-
キ		保健指導実施率（40-74歳）日産基準 本人	特定保健指導分析	-
ク		事業所コラボ	その他	-

ケ		喫煙率（関係会社本人）	健康リスク分析	-
コ		出張歯科検診・歯科クリーニングアサート後の通院率	健康リスク分析	-
サ		健康意識調査 お客様満足度	その他	-
シ		加入者の（生活+薬）医療費／一人	医療費・患者数分析	-
ス		前期高齢者の総医療費／一人	医療費・患者数分析	-
セ		前期高齢者の入院・高額医療患者数(率)の削減	医療費・患者数分析	-
ソ		シニアサポート実施率（当該年度）	特定保健指導分析	-
タ		保健指導による行動変容改善率（流れ+当該年） 40-74歳 家族	特定保健指導分析	-
チ		シニア健診受診率（流れ+当該年）	特定健診分析	-

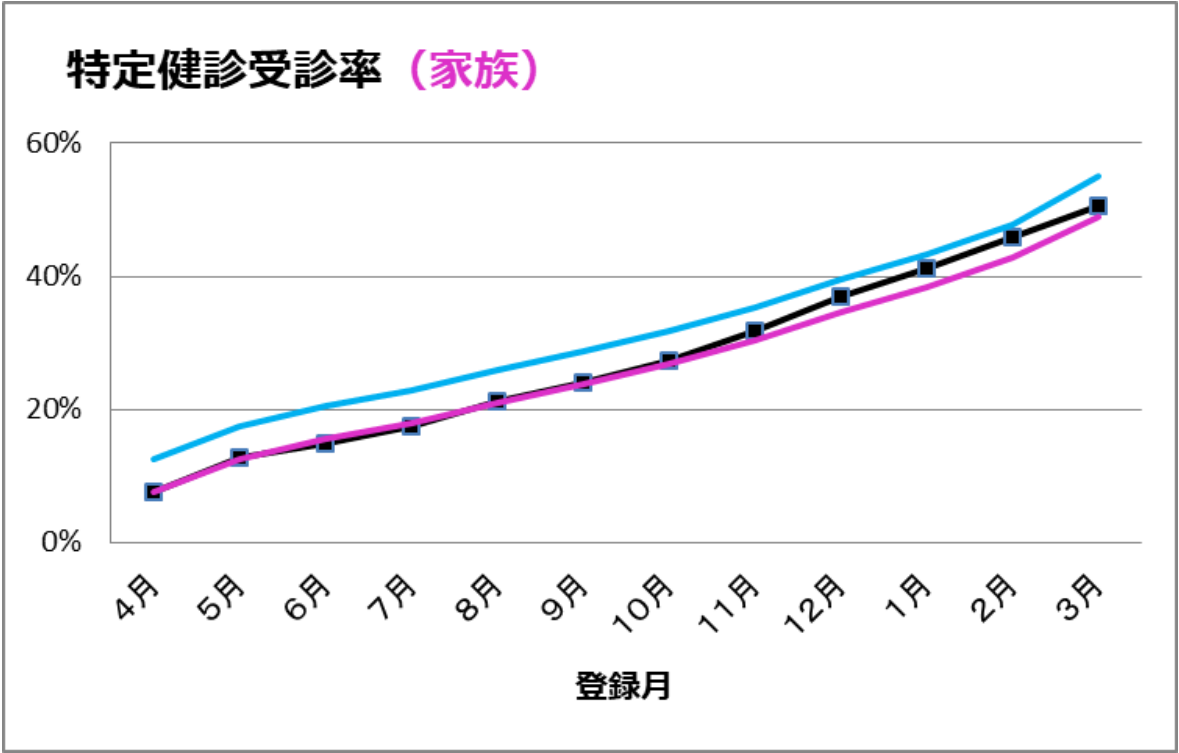
ツ		前期高齢者健診受診率（流れ＋当該年）	特定健診分析	-
テ		家族サポート実施率（当該年度）	特定保健指導分析	-
ト		モニタリングKPI（国基準に照らし合わせる） 特定健診受診率40-74	特定健診分析	-
ナ		モニタリングKPI（国基準に照らし合わせる） 保健指導の対象者の減少率40-74	特定保健指導分析	-
ニ		健康セミナー受講者数 20175-20183（実施月）	その他	-
ヌ		胃がん検診 精検受診率(合計)	健康リスク分析	-
ネ		大腸がん検診 精検受診率(合計)	健康リスク分析	-
ノ		保健指導による行動変容改善率	特定保健指導分析	-
ハ		40-74保健指導実施率	特定保健指導分析	-

ヒ		糖尿病系重点対象者層の保健指導実施率(合計)	健康リスク分析	-
フ		健康増進活動への参加率(合計)	その他	-
ヘ		専門教育の受講(合計)	その他	-
ホ		利用者アンケート満足度 (合計)	その他	-
マ		G E 医薬品の利用率	後発医薬品分析	-
ミ		柔整療養費適正化 ※あはき含む	医療費・患者数分析	-
ム		医療機関受診に伴う、時間外利用者	医療費・患者数分析	-
メ		< 柔整関係 > 不支給実績 (累計)	医療費・患者数分析	-
モ		第三者行為求償による医療費回収 (累計)	医療費・患者数分析	-

ヤ		不適切	医療費・患者数分析	-
ユ		保養荘部屋稼働率	その他	-
ヨ		保養荘満足度	その他	-
ラ		機関誌発行（けんぽニュース）	その他	-
リ		けんぽの情報提供 メールマガジン	その他	-
ル		けんぽの情報提供 ホームページとイントラネット	その他	-
レ		65歳以上の健康冊子（健康かわら版）	その他	-
ロ		育児支援	その他	-
ワ		データヘルス計画推進システムの構築	その他	-

ヲ		メンタルヘルス支援	その他	-
ン		電話相談による健康相談	その他	-
アア		安心して治療に専念できる環境づくり（付加給付の充実）	その他	-
アイ		健康白書	その他	-
アウ		医療費貢献ポイント（全体）	その他	-

7. 特定健診受診率

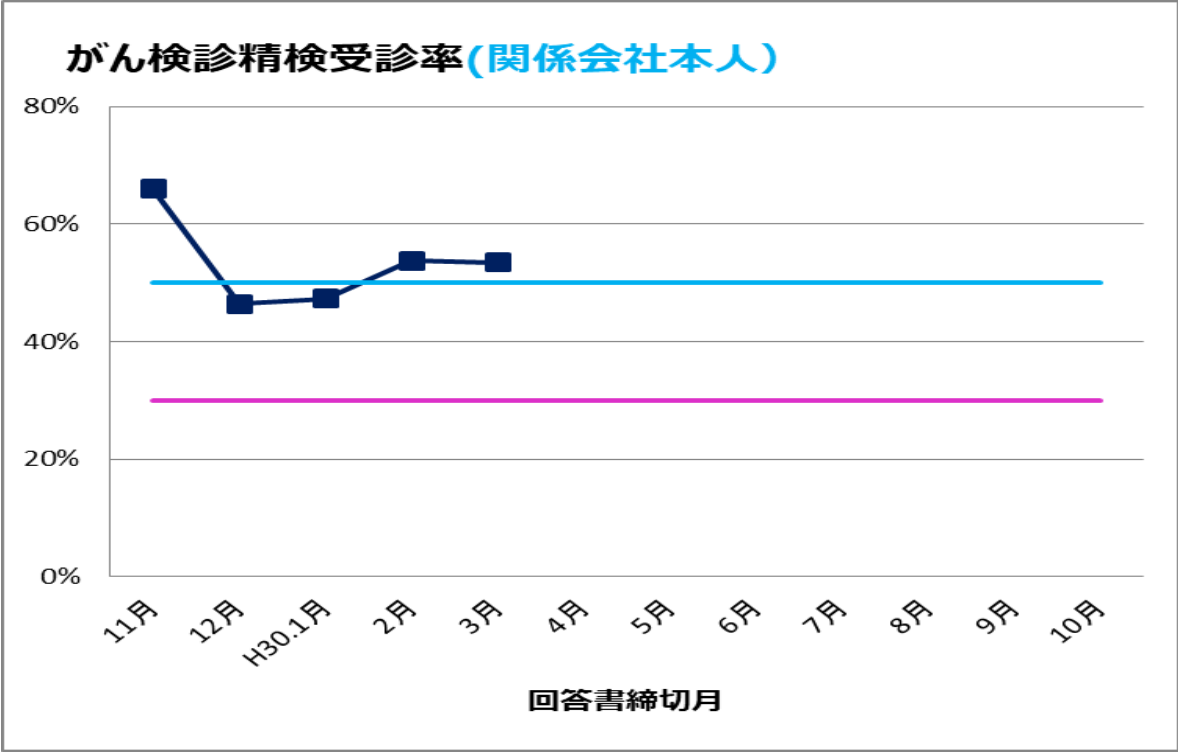


家族・任継家族

	登録月	6月月報 4月	6月月報 5月	7月月報 6月	8月月報 7月	9月月報 8月	10月月報 9月	11月月報 10月	12月月報 11月	1月月報 12月	2月月報 1月	3月月報 2月	4月月報 3月
<家族> 受診者数(単月)		1,566	1,030	443	496	784	584	660	900	1,059	835	947	971
〃 (累積)		1,566	2,596	3,039	3,535	4,319	4,903	5,563	6,463	7,522	8,357	9,304	10,275
<任継家族> 受診者数(単月)		67	51	26	30	38	2	33	51	45	36	48	26
〃 (累積)		67	118	144	174	212	214	247	298	343	379	427	453
<合計> 受診者数(単月)		1,633	1,081	469	526	822	586	693	951	1,104	871	995	997
〃 (累積)		1,633	2,714	3,183	3,709	4,531	5,117	5,810	6,761	7,865	8,736	9,731	10,728
受診率(累積)		7.7%	12.8%	15.0%	17.4%	21.3%	24.1%	27.3%	31.8%	37.0%	41.1%	45.8%	50.5%
コミット		7.6%	12.5%	15.6%	17.9%	21.0%	23.8%	26.8%	30.4%	34.5%	38.4%	42.8%	49.0%
ターゲット		12.6%	17.5%	20.6%	22.9%	26.0%	28.8%	31.8%	35.4%	39.5%	43.4%	47.8%	55.0%
		×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

C:49%以上 T:55%以上

6. がん検診精検受診率

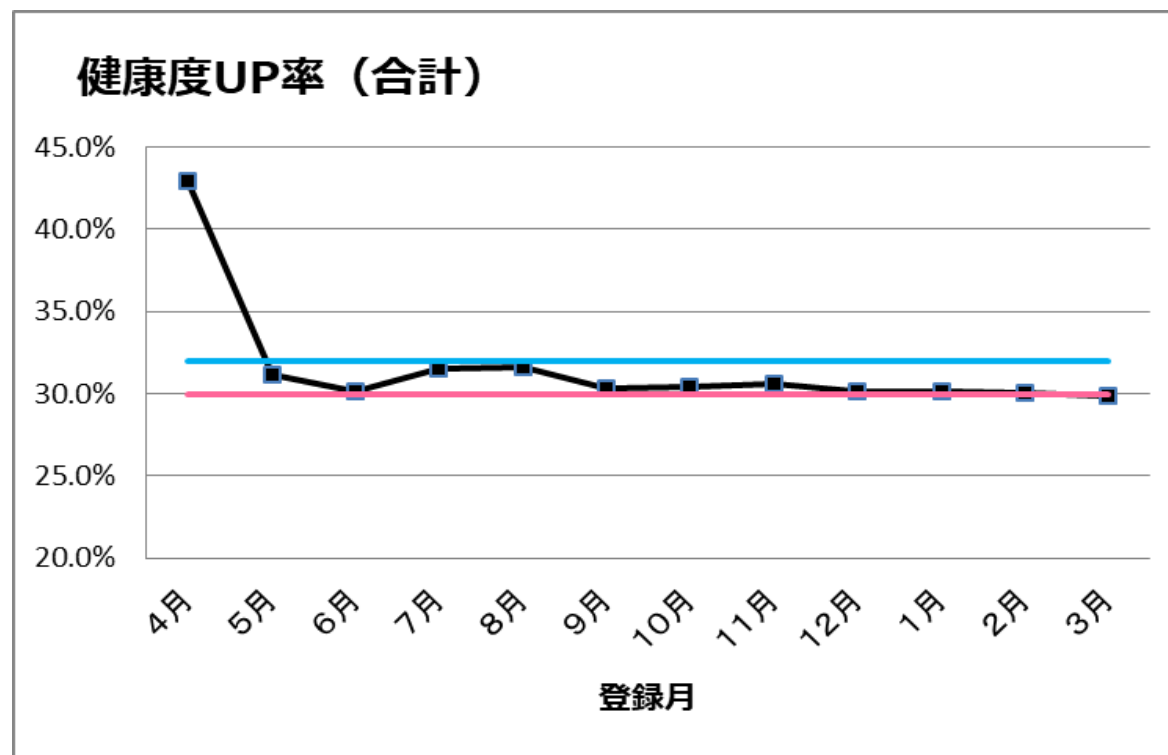


【関連/本人】

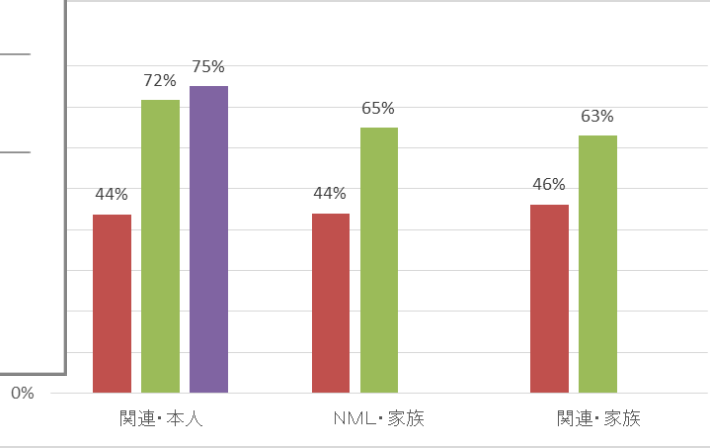
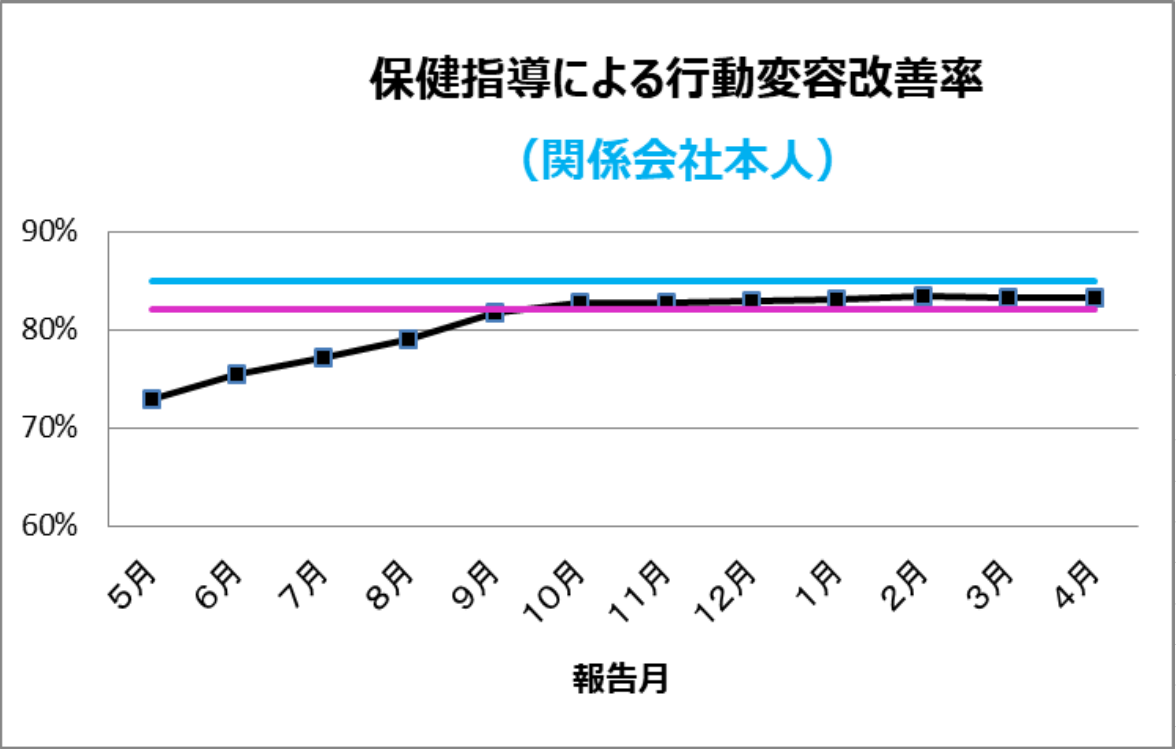
健診受診月	翌年度											
	4月 12月月報	5月 H30.1月月報	6月 2月月報	7月 3月月報	8月 4月月報	9月 5月月報	10月 6月月報	11月 7月月報	12月 8月月報	1月 9月月報	2月 10月月報	3月 11月月報
レセ確認月(CUBE)→回答書締切	11月	12月	H30.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
有所見者報告数(健診月・累計)	94	698	812	870	888							
内、通院者(健診月・単月)												
通院者(年度累計)	0	324	384	468	475							
通院率(健診月・単月)												
通院率累計(年度)	66.0%	46.4%	47.3%	53.8%	53.5%							
コミット	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%
ターゲット	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%

C:30%以上 T:50%以上

1. 健康度UP率

[illegible]

3. 保健指導による
行動変容改善率



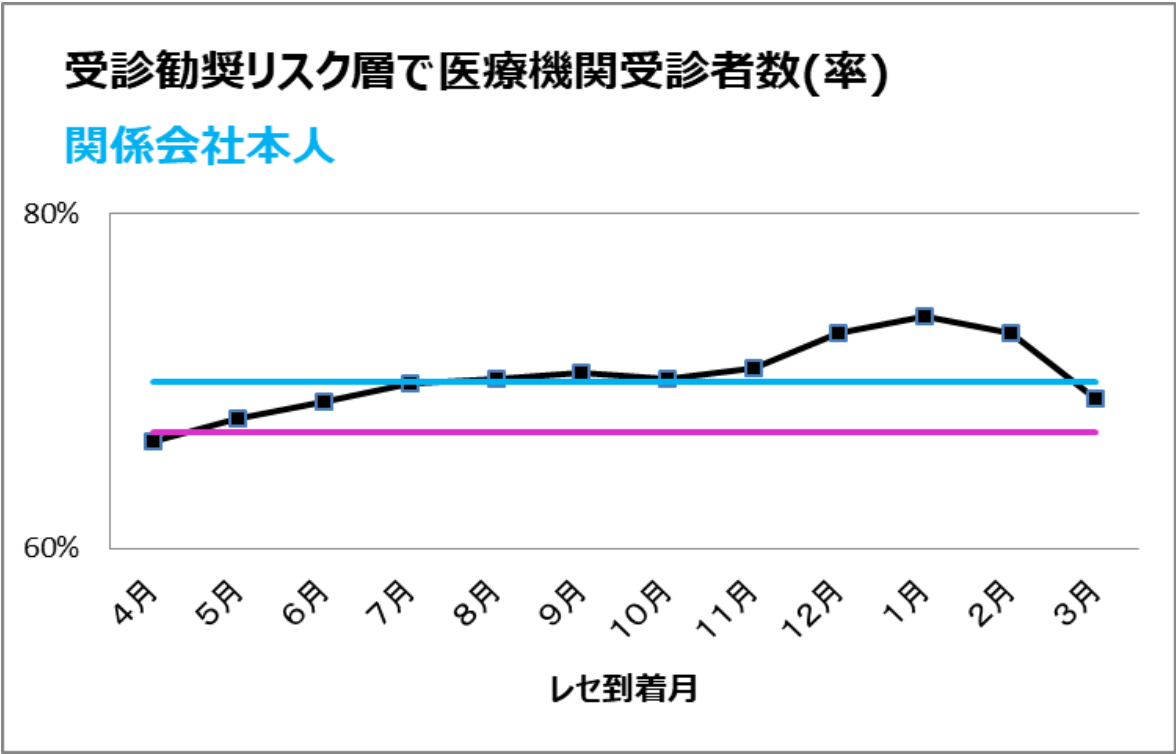
【関連会社】本人

【関連会社】本人		6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報	
判定時期ベース	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
関連・本人(2016最終判断)		72.9%	75.4%	77.1%	79.0%	81.7%	82.7%	82.8%	82.9%	83.1%	83.4%	83.3%	83%
コミット	82%	82%	82%	82%	82%	82%	82%	82%	82%	82%	82%	82%	82%
ターゲット	85%	85%	85%	85%	85%	85%	85%	85%	85%	85%	85%	85%	85%

C:82%以上 T:85%以上

6月月報報告=4月と5月(6月月頭に受ける保健指導会社報告書をベースに)

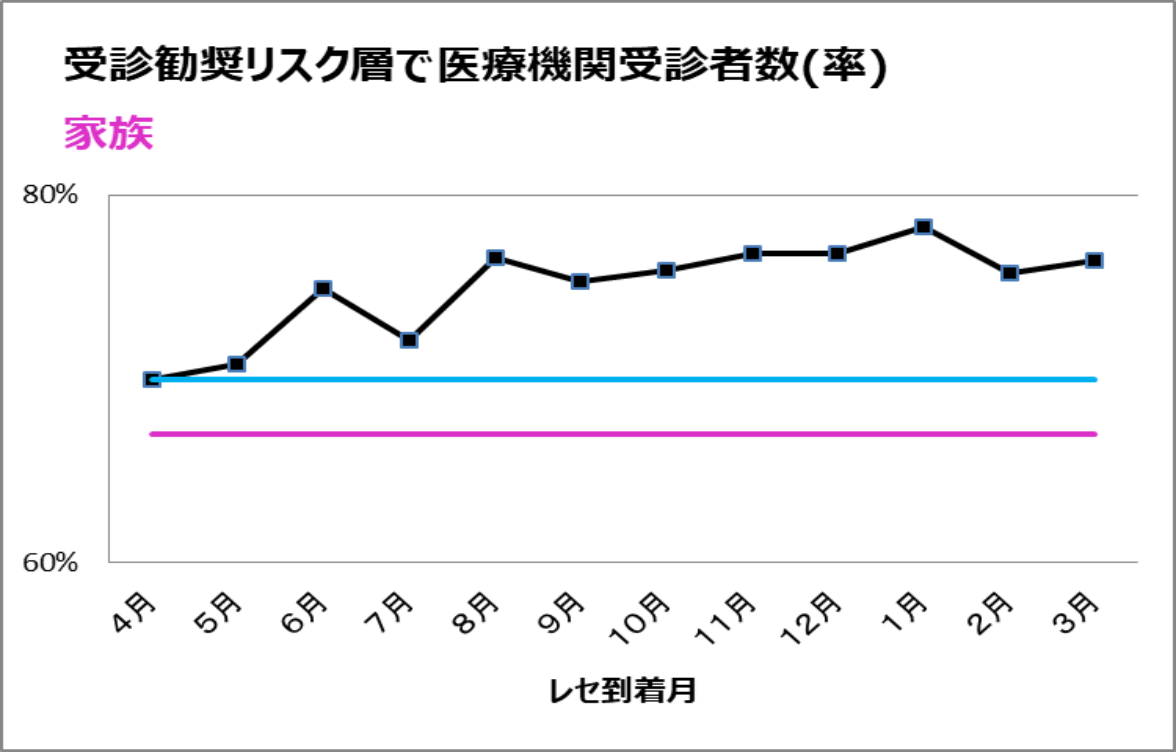
4. 受診勧奨リスク層で医療機関受診者数(率) 関連会社本人



【関連会社】本人

	6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報	(4月月報)
レセプト到着月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ランク9・10対象者数(単月)	545	371	32	40	38	31	403	167	518	602	1,004	432
〃 (累積)	545	916	948	988	1,026	1,057	1,460	1,627	2,145	2,747	3,751	4,183
通院者数(レセありの人数)(累積)	362	621	652	690	720	745	1024	1152	1564	2,030	2,734	2,884
受診者率(累積)	66%	68%	69%	70%	70%	70%	70%	71%	73%	74%	73%	69%
コミット	67%	67%	67%	67%	67%	67%	67%	67%	67%	67%	67%	67%
ターゲット	70%	70%	70%	70%	70%	70%	70%	70%	70%	70%	70%	70%

4. 受診勧奨リスク層で医療機関受診者数(率) 家族

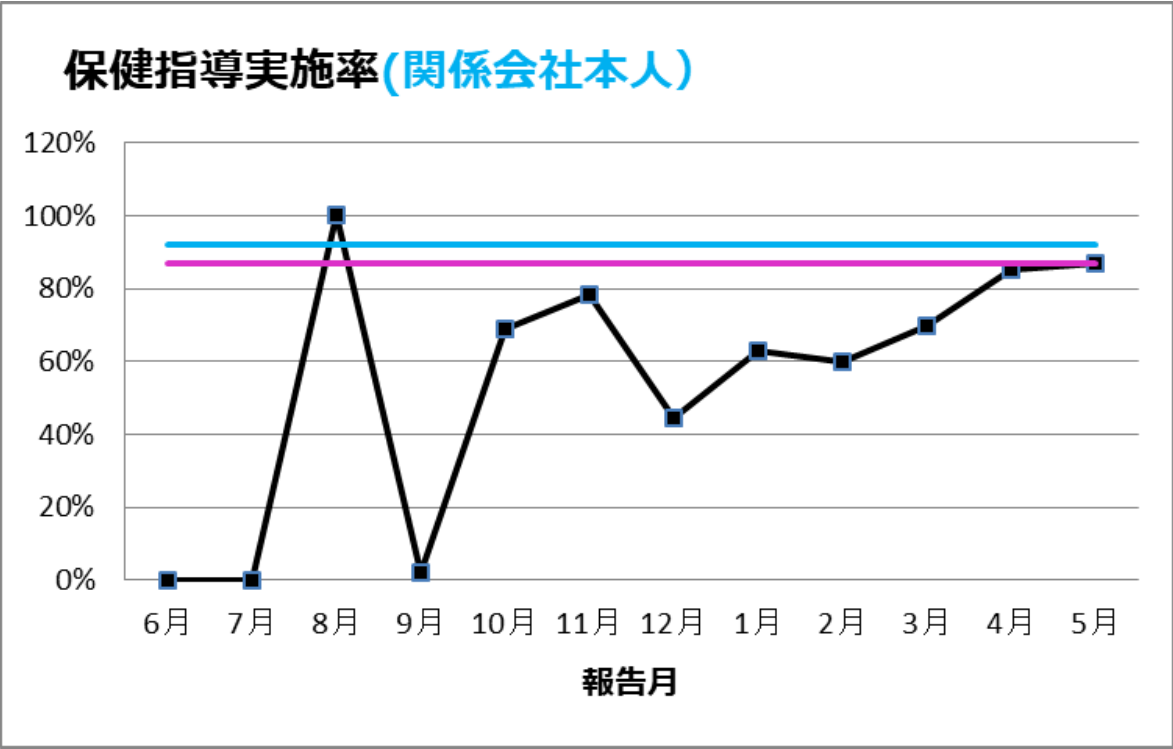


【家族全員】		6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報	(4月月報)
レセプト到着月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ランク9・10対象者数(単月)		60	77	74	76	131	233	26	14	56	50	41	58
〃 (累積)		60	137	211	287	418	651	677	691	747	797	838	896
通院者数(レセありの人数)(累積)		42	97	158	207	320	490	514	531	574	624	635	685
受診者率(累積)		70%	71%	75%	72%	77%	75%	76%	77%	77%	78%	76%	76%
コミット	67%	67%	67%	67%	67%	67%	67%	67%	67%	67%	67%	67%	67%
ターゲット	70%	70%	70%	70%	70%	70%	70%	70%	70%	70%	70%	70%	70%

C:67%以上 T:70%以上

※10月月報:6月報告分より遡って集計方法変更しました。

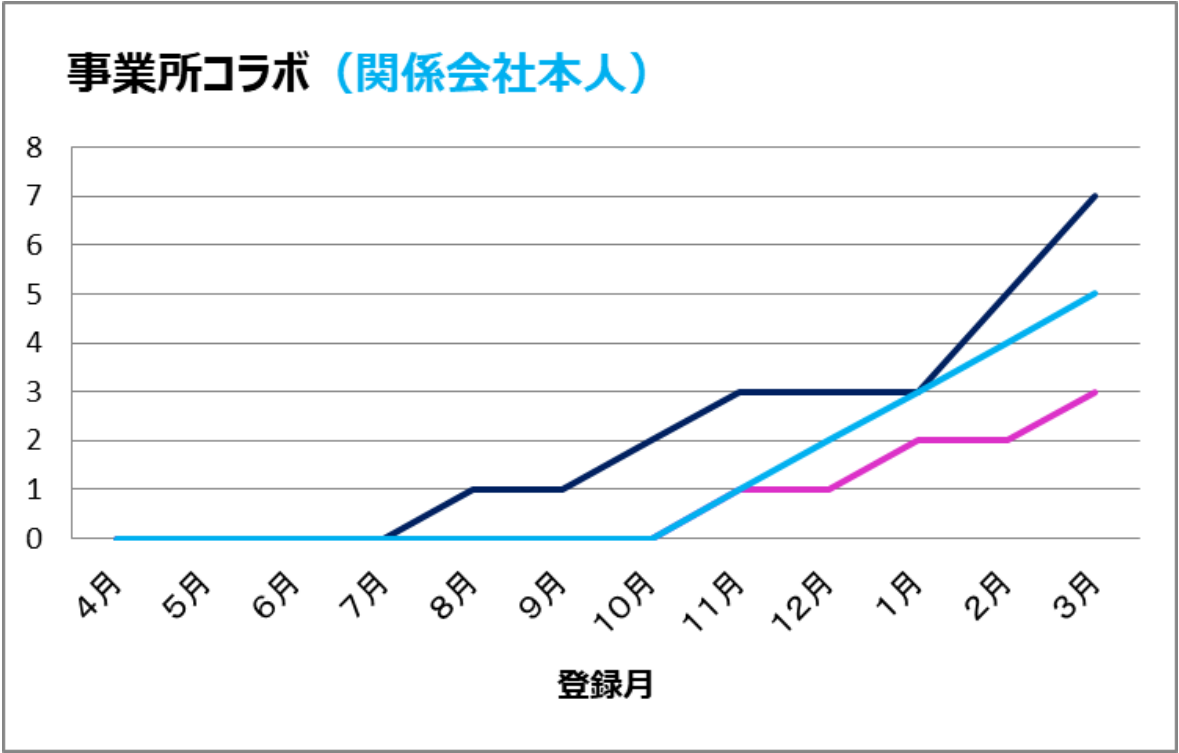
5. 保健指導実施率
(40-74歳)日産基準



【関連会社】本人		6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報	(4月月報)
報告月		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
本人対象者数 (単月)													
〃 (累積)		0	0	6	269	305	328	1,136	1,355	1,674	1,706	2,264	2,264
指導実施者数 (単月)													
〃 (累積)		0	0	6	6	210	257	504	852	1005	1194	1915	1968
実施率(累積)		0%	0%	100%	2%	69%	78%	44%	63%	60%	70%	85%	87%
コミット	87%	87%	87%	87%	87%	87%	87%	87%	87%	87%	87%	87%	87%
ターゲット	92%	92%	92%	92%	92%	92%	92%	92%	92%	92%	92%	92%	92%

C:87%以上 T:92%以上 初回面談実施日

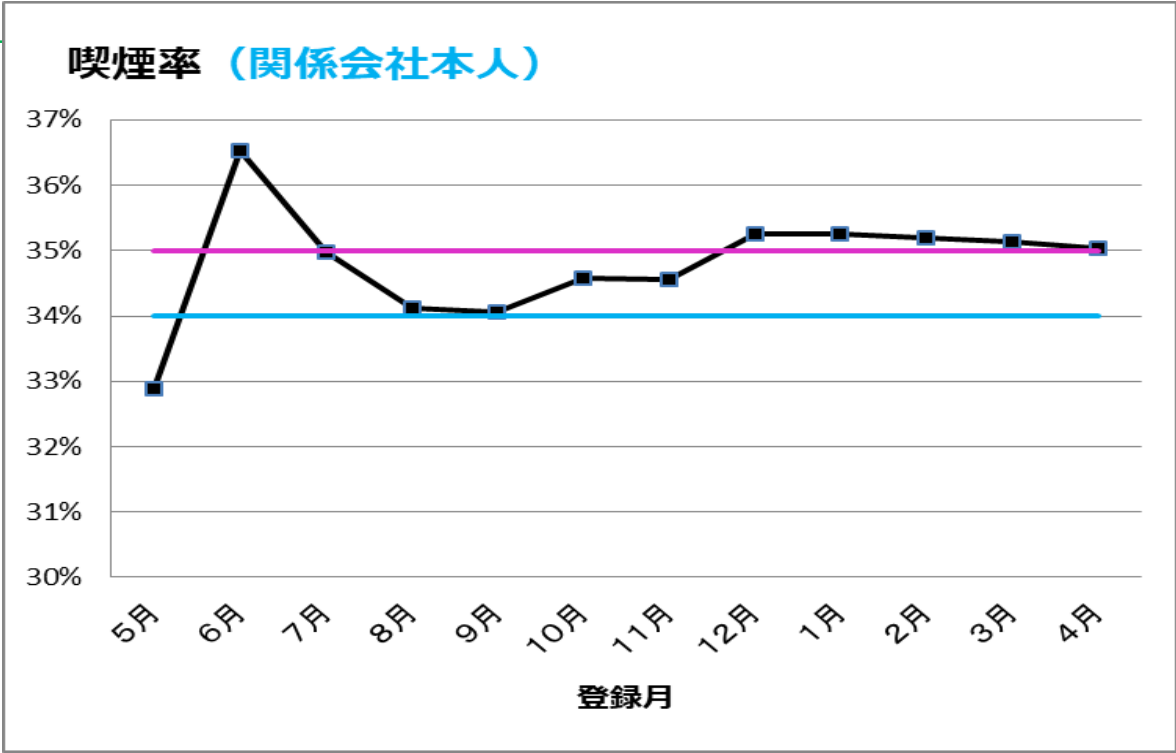
9. 事業所コラボ



		6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報
実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
達成事業所数（単月）	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	2	2
〃（累積）	0	0	0	0	1	1	2	3	3	3	5	7
コミット	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	3
ターゲット	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	4	5

C:新規3事業所 T:新規5事業所

8. 喫煙率（関係会社本人）

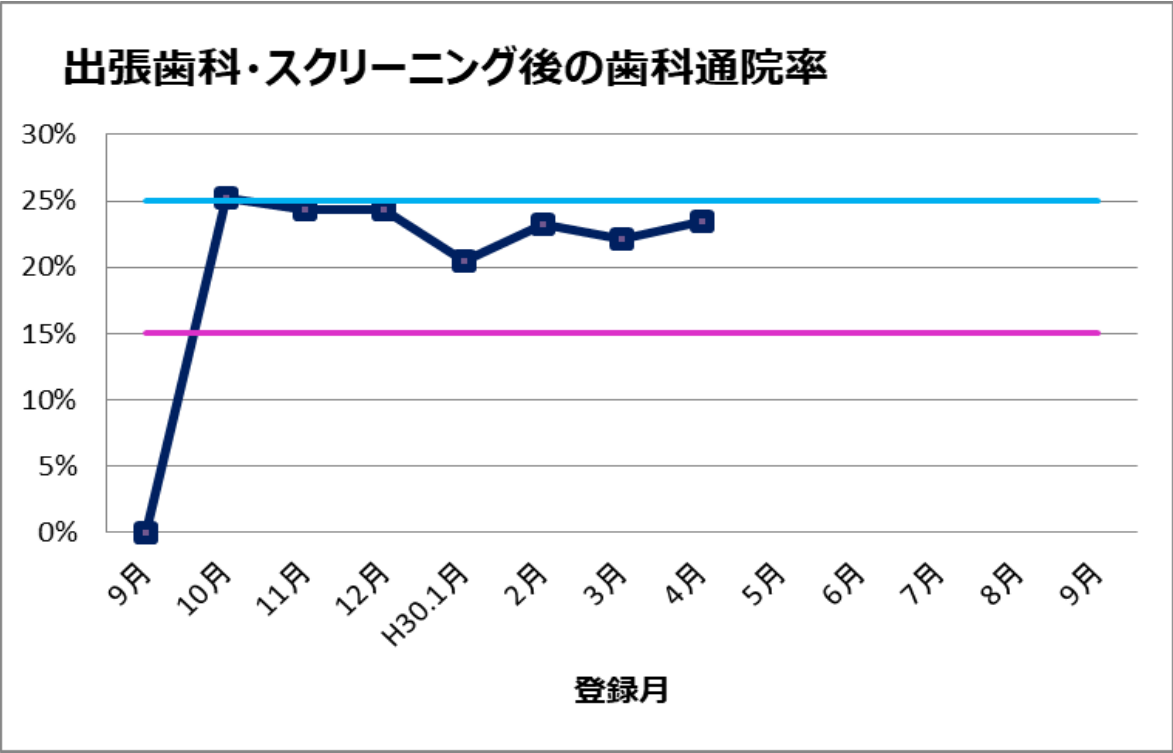


【関連会社】本人

		6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報	見込み
登録月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
受診者数		523	2310	2634	1186	6030	1231	503	4062	438	634	421	100
受診者数(累積)		523	2833	5467	6653	12683	13914	14417	18479	18917	19551	19972	20072
喫煙者数		172	863	877	358	2051	490	171	1532	155	210	139	15
喫煙者数(累積)		172	1035	1912	2270	4321	4811	4982	6514	6669	6879	7018	7033
喫煙率(単月)		32.9%	37.4%	33.3%	30.2%	34.0%	39.8%	34.0%	37.7%	35.4%	33.1%	33.0%	15.0%
〃 (累積)		32.9%	36.5%	34.97%	34.1%	34.1%	34.6%	34.6%	35.3%	35.3%	35.2%	35.1%	35.0%
コミット	35%	35%	35%	35%	35%	35%	35%	35%	35%	35%	35%	35%	35%
ターゲット	34%	34%	34%	34%	34%	34%	34%	34%	34%	34%	34%	34%	34%

C:35%以下 T:34%以下

10. 出張歯科健診
・歯科スクリーニング
アンケート後の通院率

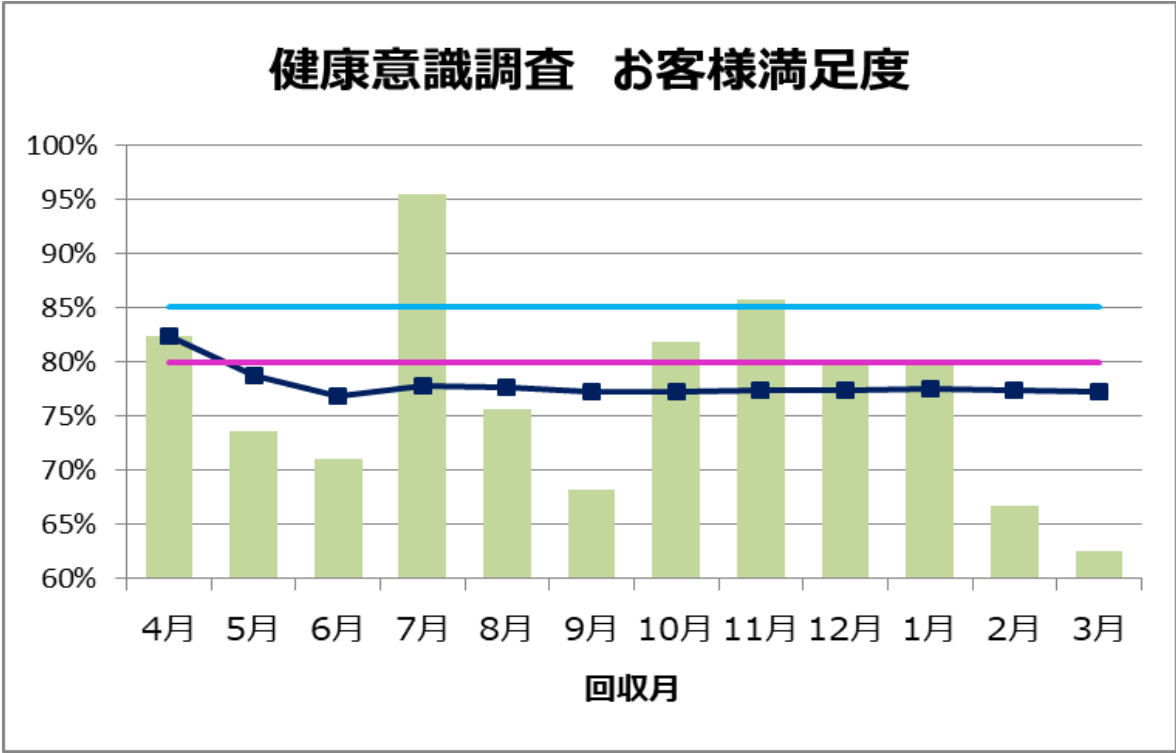


	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報	5月月報	6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報
レセ確認月(CUBE)	9月	10月	11月	12月	H30.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
受診勧奨者(判明月・単月)	1	1028	156	0	256	263	609	288					
受診勧奨者(年度累計)	1	1029	1185	1185	1501	1764	2373	2661					
通院者(判明月・単月)													
通院者(年度累計)	1	260	289	289	328	409	525	625					
通院率(判明月・単月)													
通院率累計(年度)	0%	25.3%	24.4%	24.4%	20.5%	23.2%	22.1%	23.5%					
コミット	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%
ターゲット	25%	25%	25%	25%	25%	25%	25%	25%	25%	25%	25%	25%	25%

C:15%以上
T:25%以上

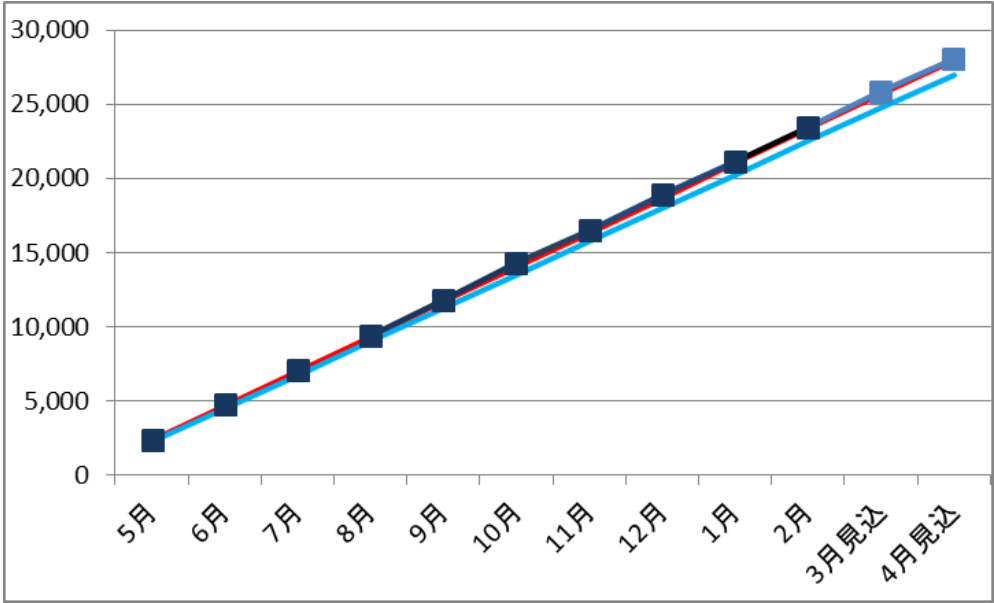
※10月月報分(初回報告)より遡って集計方法変更しました。(ハイリスク受診勧奨の考え方に合わせる。4/5内満さん)

1 1. 健康意識調査
お客様満足度

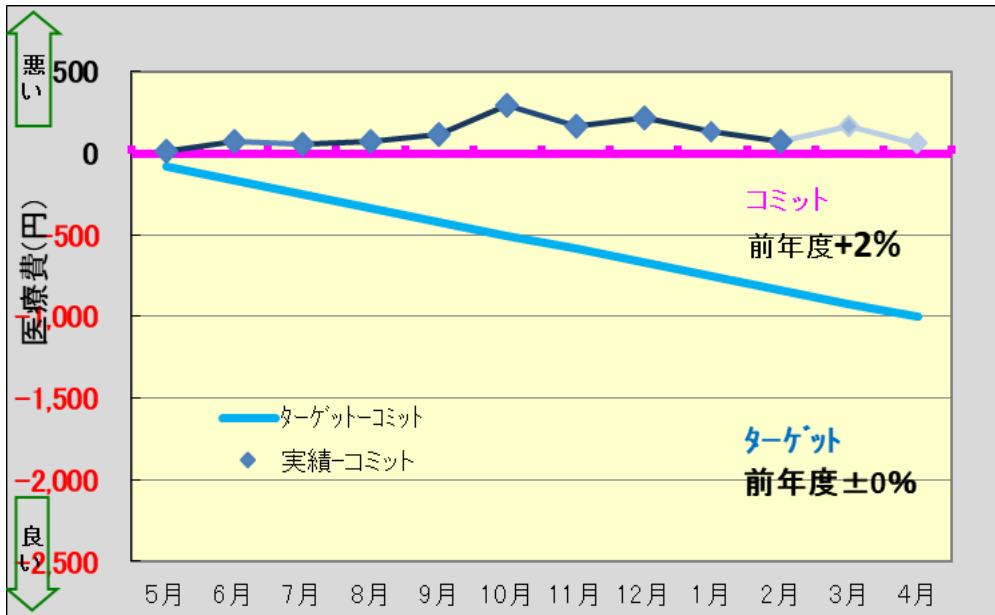


	6月月報		7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報
回収月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5点&4点評価者	164	106	76	21	31	15	9	6	4	8	2	5
5点&4点評価者累積	164	270	346	367	398	413	422	428	432	440	442	447
評価者数	199	144	107	22	41	22	11	7	5	10	3	8
評価者数累積	199	343	450	472	513	535	546	553	558	568	571	579
単月満足度	82%	74%	71%	95%	76%	68%	82%	86%	80%	80%	67%	63%
累積満足度	82%	79%	77%	78%	78%	77%	77%	77%	77%	77%	77%	77%
コミット	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%
ターゲット	85%	85%	85%	85%	85%	85%	85%	85%	85%	85%	85%	85%

<1> 加入者の(生活+薬)医療費／一人



(コミット目標との差額拡大図)



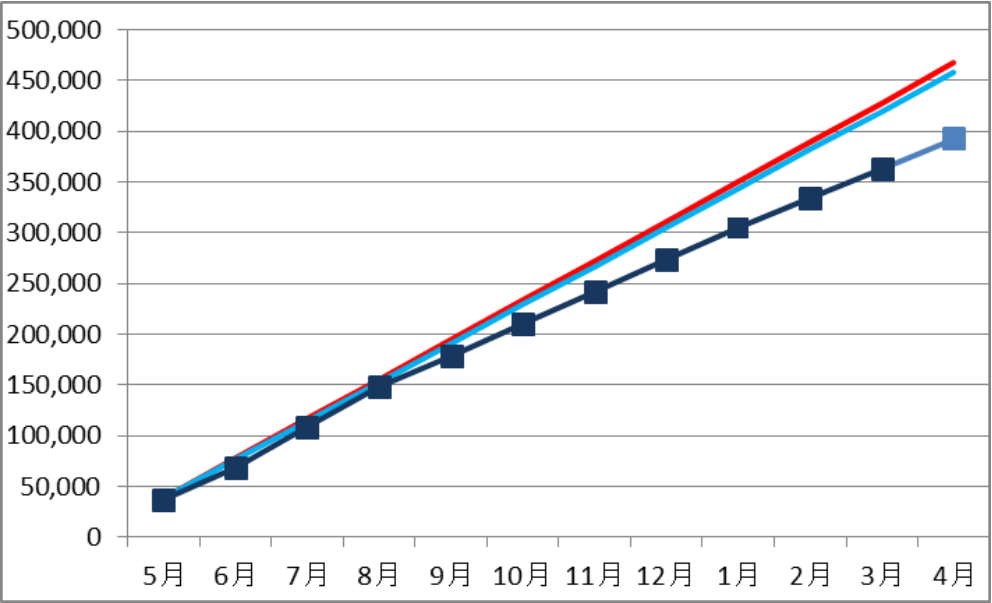
<1> 加入者の(生活+薬)医療費／キューブ

	0	331,561,938	338,218,137	326,368,483	332,148,504	335,624,203	355,285,724	311,945,894	336,477,989	318,568,232						
		7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報	4月月報	4月月報	4月月報	4月月報	(円)
<担当:栗原>		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月見込	4月見込	4月見込	目標	
04【医科】内分泌・栄養、代謝		93,399,004	184,334,060	275,818,581	365,492,028	458,729,011	554,726,807	640,880,715	730,197,099	827,957,868	917,923,798	1,016,869,282	1,101,487,102			
09【医科】循環器系疾患		107,381,319	230,664,344	336,765,854	453,160,293	569,163,261	702,576,171	803,767,976	929,960,898	1,025,396,992	1,137,438,347	1,260,984,211	1,370,788,413			
14【医科】腎尿路生殖器系疾患		48,181,204	88,320,009	134,821,197	178,876,797	220,791,066	264,372,109	308,517,811	345,848,361	383,569,469	421,812,208	458,997,775	495,106,284			
04【調剤】内分泌・栄養、代謝		40,172,181	78,859,257	115,757,119	152,451,485	193,009,316	231,725,102	268,573,659	306,536,171	346,345,738	384,921,195	423,520,423	459,909,596			
09【調剤】循環器系疾患		31,653,984	68,567,523	104,175,040	140,776,681	175,911,935	210,943,811	245,290,643	282,770,513	321,842,498	354,066,358	391,156,644	429,368,911			
14【調剤】腎尿路生殖器系疾患		10,774,246	19,034,882	28,810,767	37,539,778	46,316,676	54,862,989	64,122,079	72,317,830	81,086,539	91,286,631	99,297,587	108,885,315			
生活習慣病+薬の医療費		331,561,938	669,780,075	996,148,558	1,328,297,062	1,663,921,265	2,019,206,989	2,331,152,883	2,667,630,872	2,986,199,104	3,307,448,537	3,650,825,924	3,965,545,619			
加入者数(月初)		141,358	141,232	140,962	141,256	141,256	141,285	141,283	141,441	141,422	141,321	141,547	141,533	141,462		
加入者数(月初平均)		141,358	141,295	141,184	141,202	141,213	141,225	141,233	141,259	141,277	141,282	141,306	141,325			
加入者一人当たり生活+薬		2,346	4,740	7,056	9,407	11,783	14,298	16,506	18,885	21,137	23,410	25,836	28,060			
コミット値		2,333	4,667	7,001	9,335	11,669	14,003	16,337	18,671	21,005	23,339	25,673	28,000			
ターゲット値		2,250	4,500	6,750	9,000	11,250	13,500	15,750	18,000	20,250	22,500	24,750	27,000			

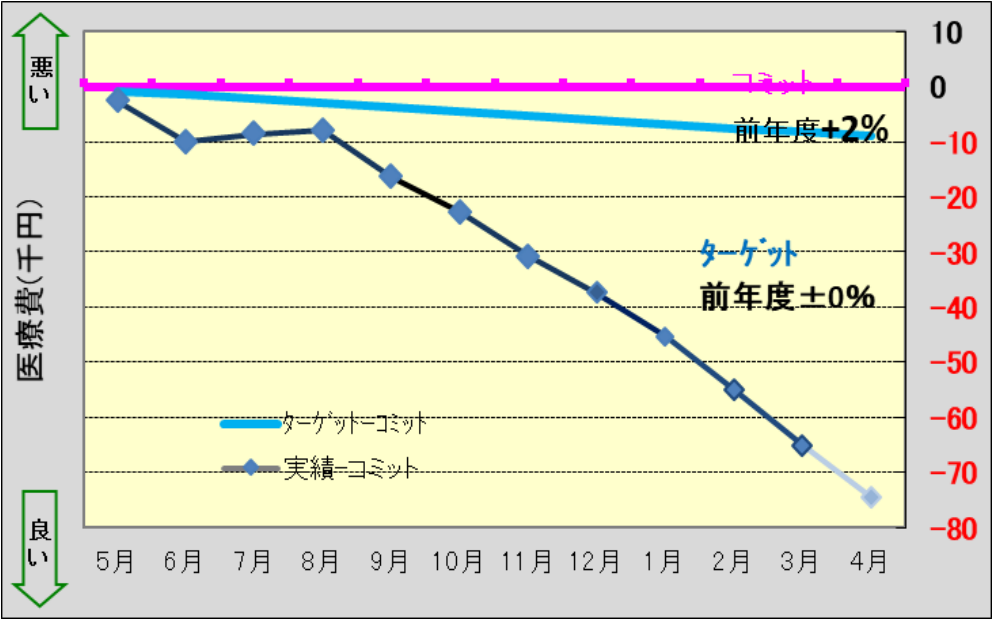
2015/11/12修正

①報告は前々月(7月であれば5月分到着 3月診療) ②医療費は累積(5月到着～累積)で出力 ③人員は前々月の月末。平均値は使わず単月1人当たりを累積する。

<2> 前期高齢者の総医療費／一人



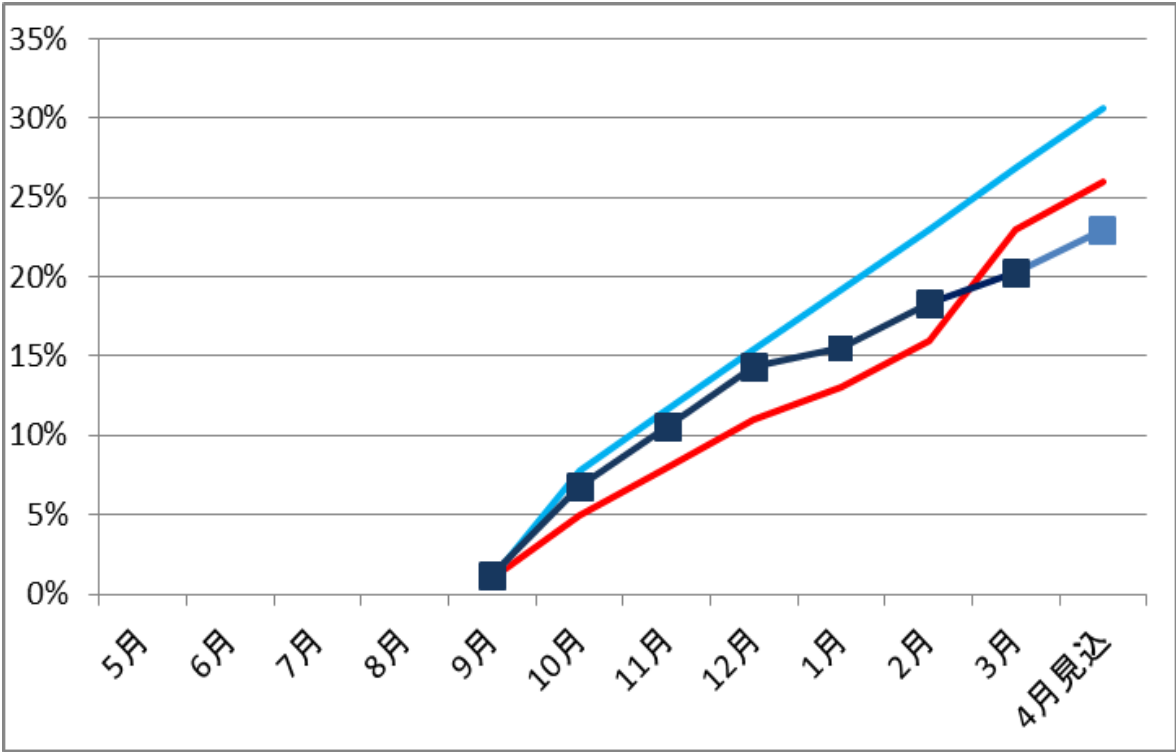
(コミット目標との差額拡大図)



WAVE	65-74歳	6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報	5月月報	(円)
<担当:栗原>		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	目標
総医療費の累積		59,965,100	113,102,770	181,142,750	248,382,970	300,857,300	356,719,820	410,726,610	467,548,700	522,170,650	574,927,410	627,066,680	680,341,161	
前期高齢者数(月初)	1,646	1,650	1,683	1,691	1,699	1,718	1,715	1,743	1,762	1,759	1,788	1,799	1,799	→仮数字
前期高齢者数(月初平均)		1,650	1,667	1,675	1,681	1,688	1,693	1,700	1,708	1,713	1,721	1,728	1,734	
前期高齢一人医療費		36,342	67,868	108,166	147,781	178,212	210,744	241,624	273,801	304,769	334,105	362,905	392,391	406,364
コミット値		38,917	77,833	116,749	155,665	194,581	233,497	272,413	311,329	350,245	389,161	428,077	467,000	
ターゲット値		38,167	76,333	114,499	152,665	190,831	228,997	267,163	305,329	343,495	381,661	419,827	458,000	
①報告は前月 ②医療費は5月到着(3月診療)から累積で出力 ③人員は当該月の月初で平均値 ④年齢は65-74歳で														54,006,790
														56,822,090
														54,621,950
														52,756,760
														52,139,270
														53,274,481

①報告は前月 ②医療費は5月到着(3月診療)から累積で出力 ③人員は当該月の月初で平均値 ④年齢は65-74歳で月初

< 4 > シニアサポート実施率 (当該年度)



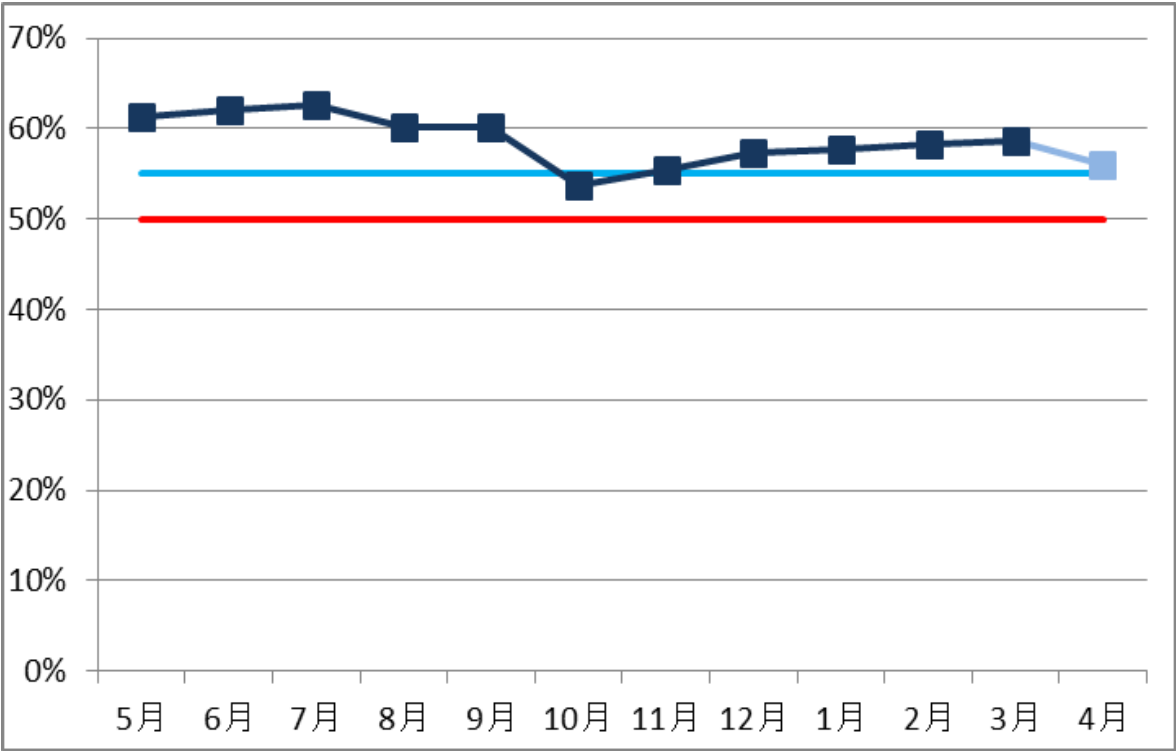
任継を除く&ALS最終回収を変更 家族(60歳～74歳)

		5月	6月	7月	8月	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報	5月月報	(円)
<担当:栗原>						9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月見込	目標
A:実施者累積						4	30	60	102	131	178	228	292	
B:対象者						347	442	565	711	846	972	1,123	1,274	
シニアサポート実施率						1%	7%	11%	14%	15%	18%	20%	23%	
コミット値						1%	5%	8%	11%	13%	16%	23%	26%	
ターゲット値						1%	8%	12%	15%	19%	23%	27%	31%	

※Bは固定人数 FY16は連絡確認書の到着枚数を加算していた

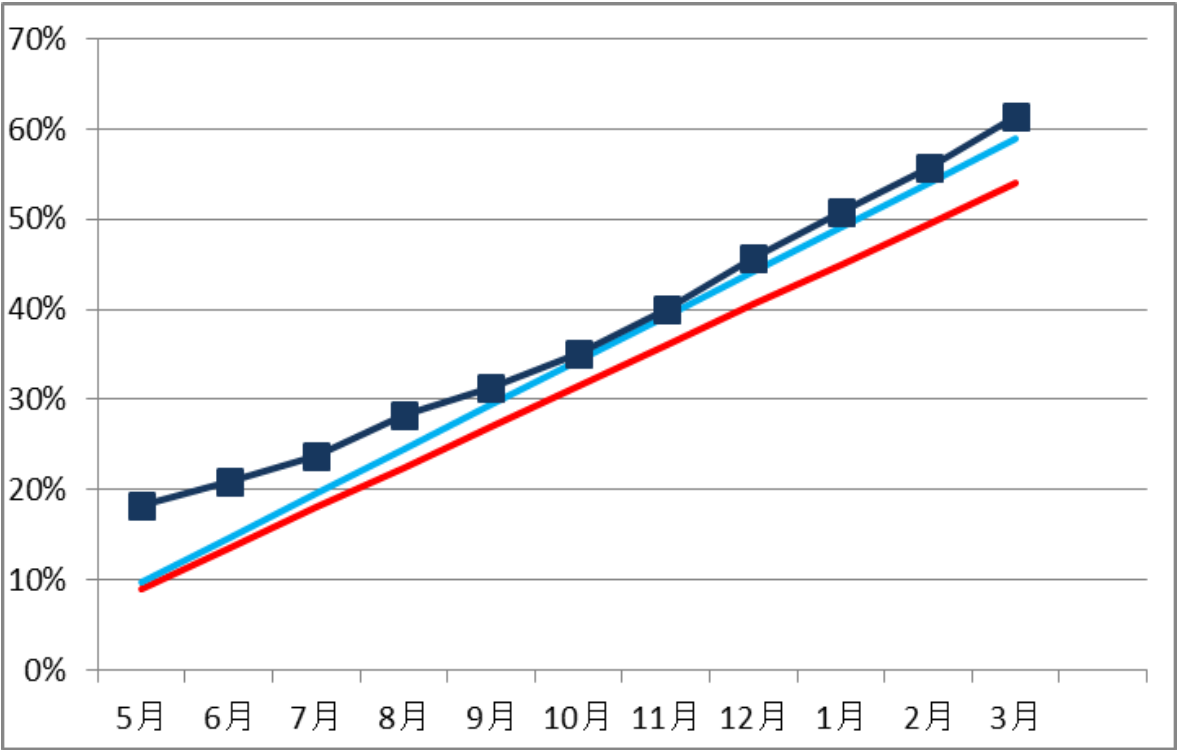
◎ ○ ○ ○ ○ ○ × ×

<5> 保健指導による行動変容改善率 (流れ+当該年)
40-74歳家族



家族(40歳～74歳)	6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報	5月月報	(円)	
<担当:栗原>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	目標
A:行動変容ステージ最終UP者(人数)		147	210	258	296	332	427	507	589	634	687	707	784	
B:支援修了者		240	338	412	492	552	795	916	1,027	1,098	1,177	1,204	1,400	
行動変容改善率(%)		61%	62%	63%	60%	60%	54%	55%	57%	58%	58%	59%	56%	
コミット値		50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	
ターゲット値		55%	55%	55%	55%	55%	55%	55%	55%	55%	55%	55%	55%	
※改善率＝(保健指導終了時の行動変容割合が向上した人数)／保健指導実施者合計														
A、Bの人数は累積していく		◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

< 6 > シニア健診受診率 (流れ+当該年)

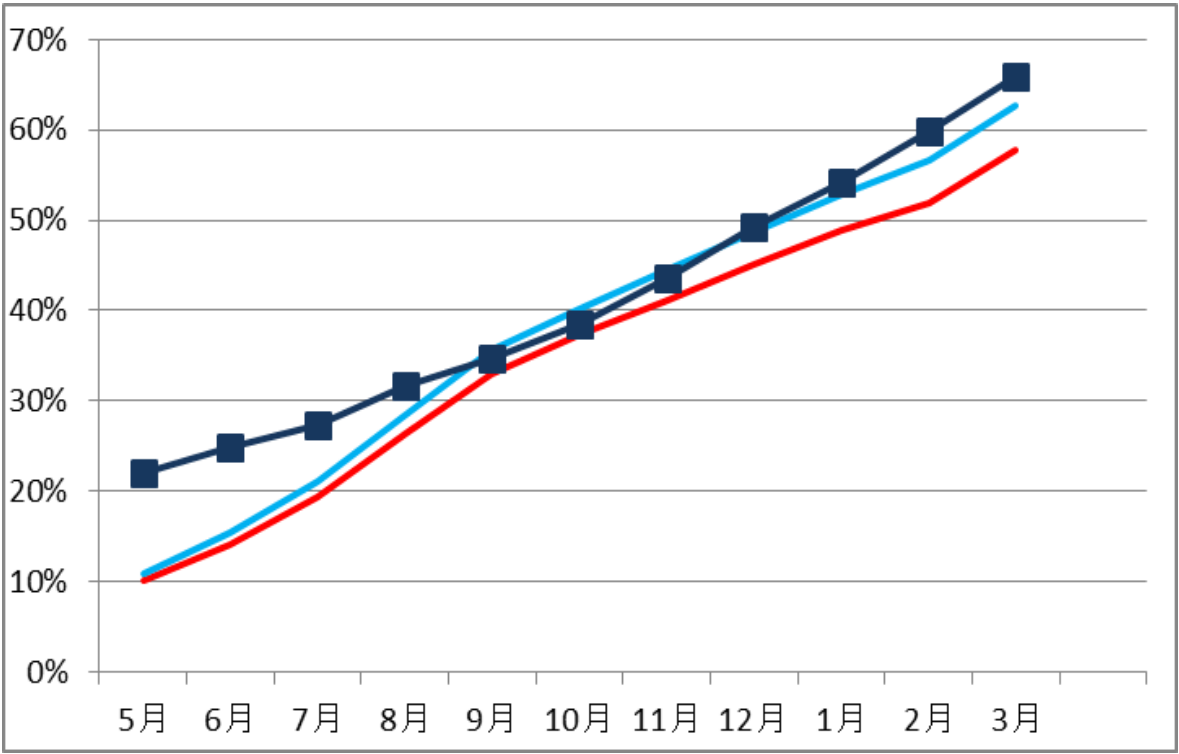


	家族(60歳～74歳)	6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報	(円)
<担当:栗原>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標
A:健診者累積		564	645	733	874	964	1,079	1,233	1,406	1,563	1,717	1,889	
B:対象者	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	
シニア健診受診率		18%	21%	24%	28%	31%	35%	40%	46%	51%	56%	61%	
コミット値	5%	9%	14%	18%	23%	27%	32%	36%	41%	45%	50%	54%	
ターゲット値	5%	10%	15%	20%	25%	29%	34%	39%	44%	49%	54%	59%	

※Bは固定人数 FY16は見込み受診者を加算していた

◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎

< 7 > 前期高齢者健診受診率 (流れ+当該年)

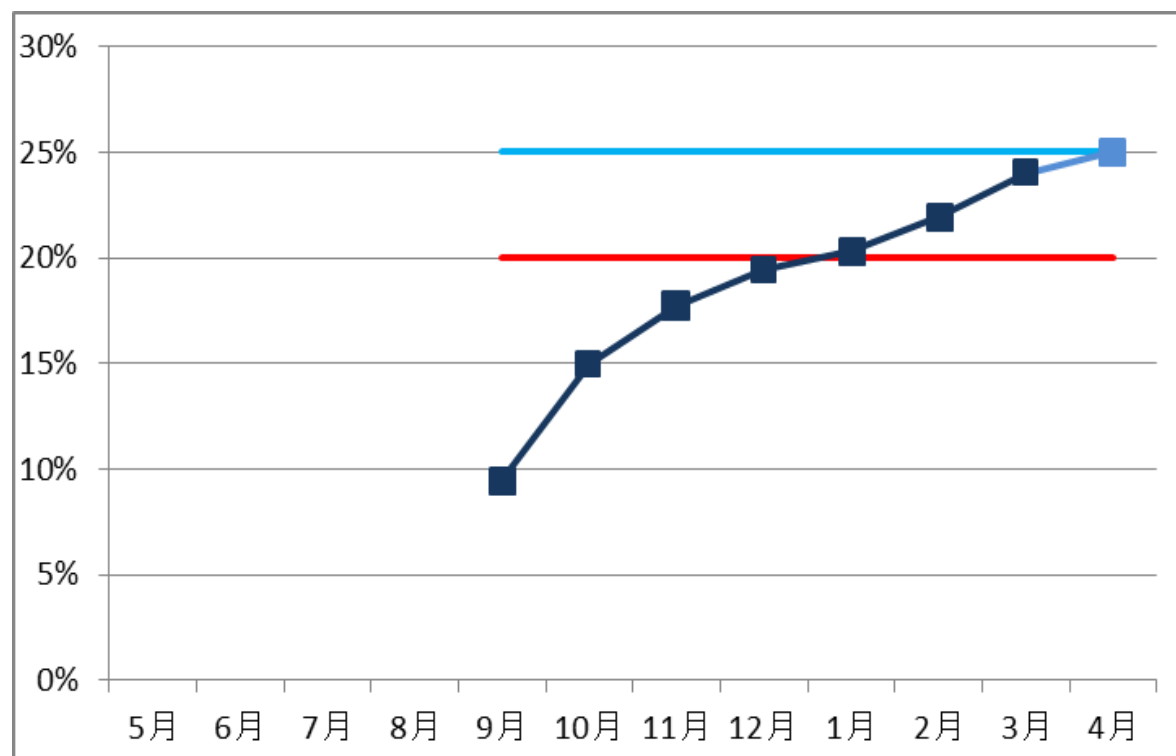


	家族(65歳～74歳)	6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報	(円)
<担当:栗原>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標
A:健診者累積		220	248	273	316	346	384	434	492	541	597	658	
B:対象者	997	997	997	997	997	997	997	997	997	997	997	997	
前期高齢健診受診率		22%	25%	27%	32%	35%	39%	44%	49%	54%	60%	66%	
コミット値	6%	10%	14%	19%	26%	33%	37%	41%	45%	49%	52%	58%	
ターゲット値	6%	11%	15%	21%	28%	36%	40%	44%	49%	53%	57%	63%	

※Bは固定人数 FY16は見込み受診者を加算していた



＜9＞ 家族サポート実施率（当該年度）

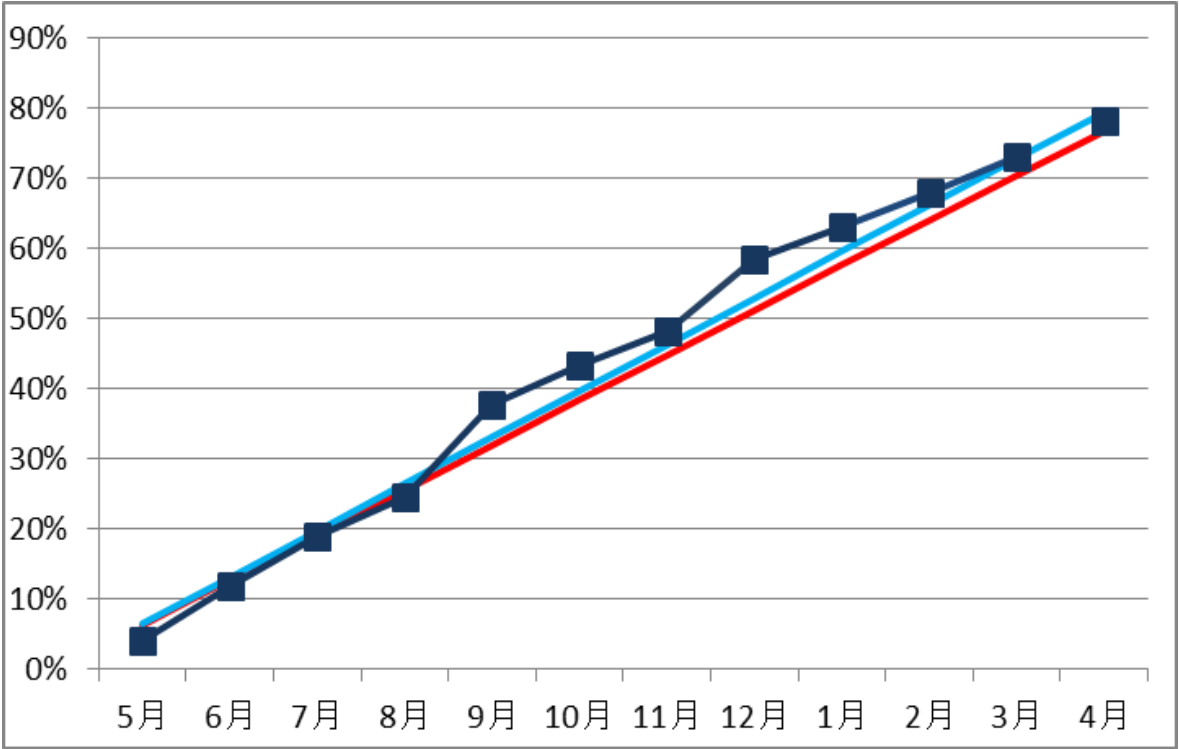


					9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報	4月月報	(%)
<担当:内満>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	目標
貢献ポイント(単月)					0	0	0	0	0	0	0	0	11,544	11,544
貢献ポイント(累積)					0	0	0	0	0	0	0	0	11,544	11,544
貢献ポイント改善(%)					0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.0%	8.0%
コミット値					0.0%	1.1%	2.2%	3.4%	4.5%	5.7%	6.8%	8.0%	8.0%	11,582
ターゲット値					0.0%	1.7%	3.4%	5.1%	6.8%	8.5%	10.2%	12.0%	12.0%	17,373

①職制会(企画会議)で承認されたポイントを計上

[illegible]

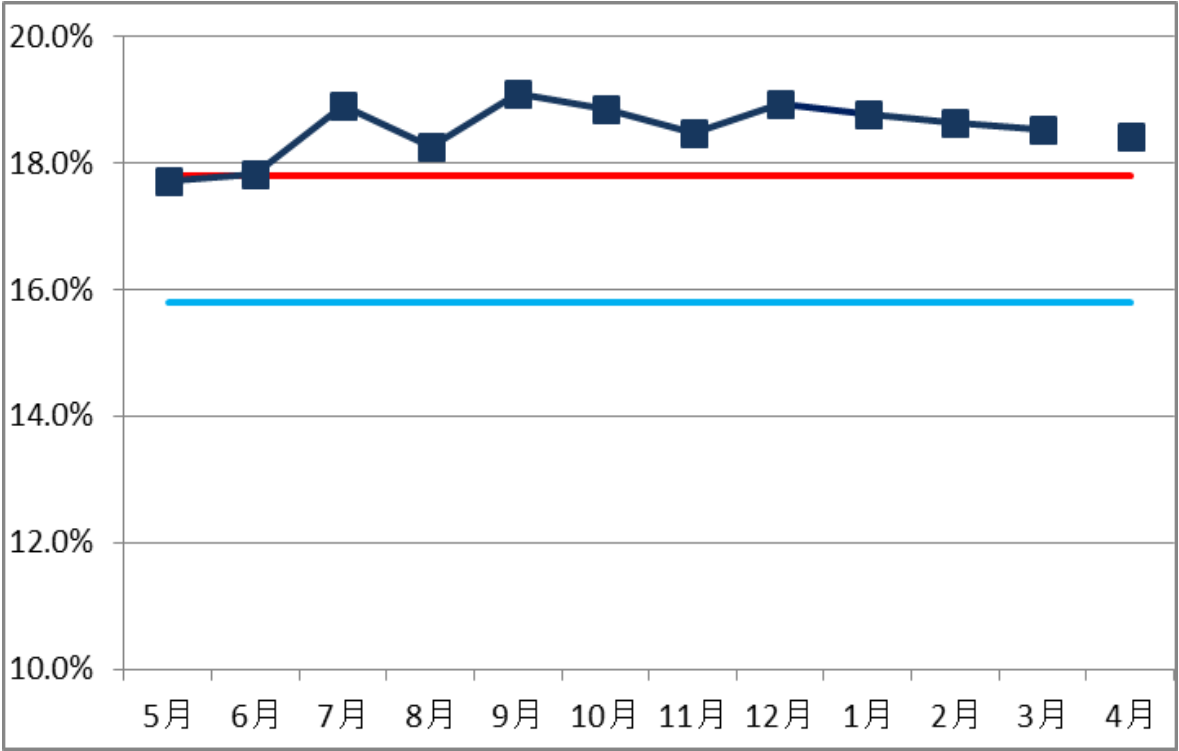
< 9 > モニタリング K P I (国基準に照らし合わせる)
特定健診受診率40-74



特定健診受診率40-74	63,955	←基準人員														(%)
<担当:内満>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	4月	目標	
日産本人		1,720	3,767	5,099	6,691	8,368	9,863	11,487	12,932	14,446	15,902	17,653	18,936			
関連本人		539	2,945	5,634	6,871	13,050	14,380	14,896	19,039	19,539	20,250	20,737	21,115			
家族全員		396	908	1,364	2,147	2,735	3,423	4,372	5,474	6,343	7,334	8,332	9,887			
特定健診実施率(%)		4.2%	11.9%	18.9%	24.6%	37.8%	43.3%	48.1%	58.5%	63.1%	68.0%	73.1%	78.1%			
コミット値		6%	13%	19%	26%	32%	38%	45%	51%	58%	64%	70%	77%			
ターゲット値		7%	13%	20%	26%	33%	40%	46%	53%	60%	66%	73%	79%			

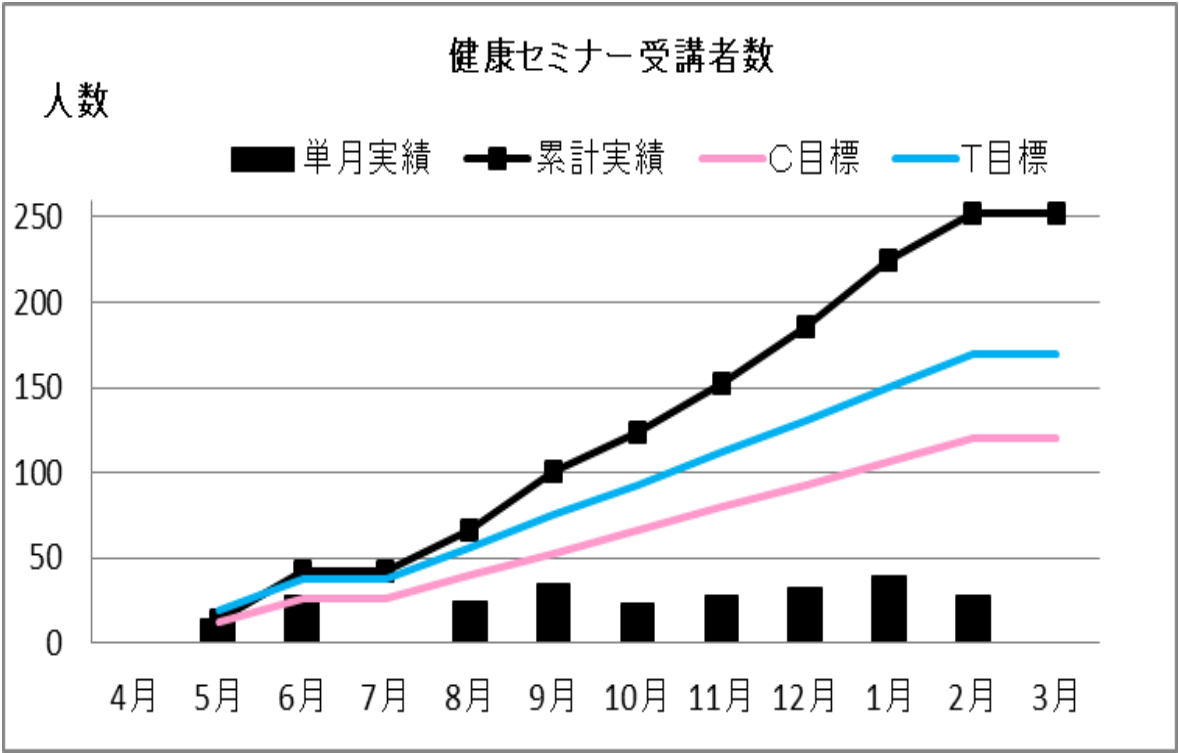
× × △ △ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎

< 9 > モニタリング K P I (国基準に照らし合わせる)
保健指導の対象者の減少率40-74



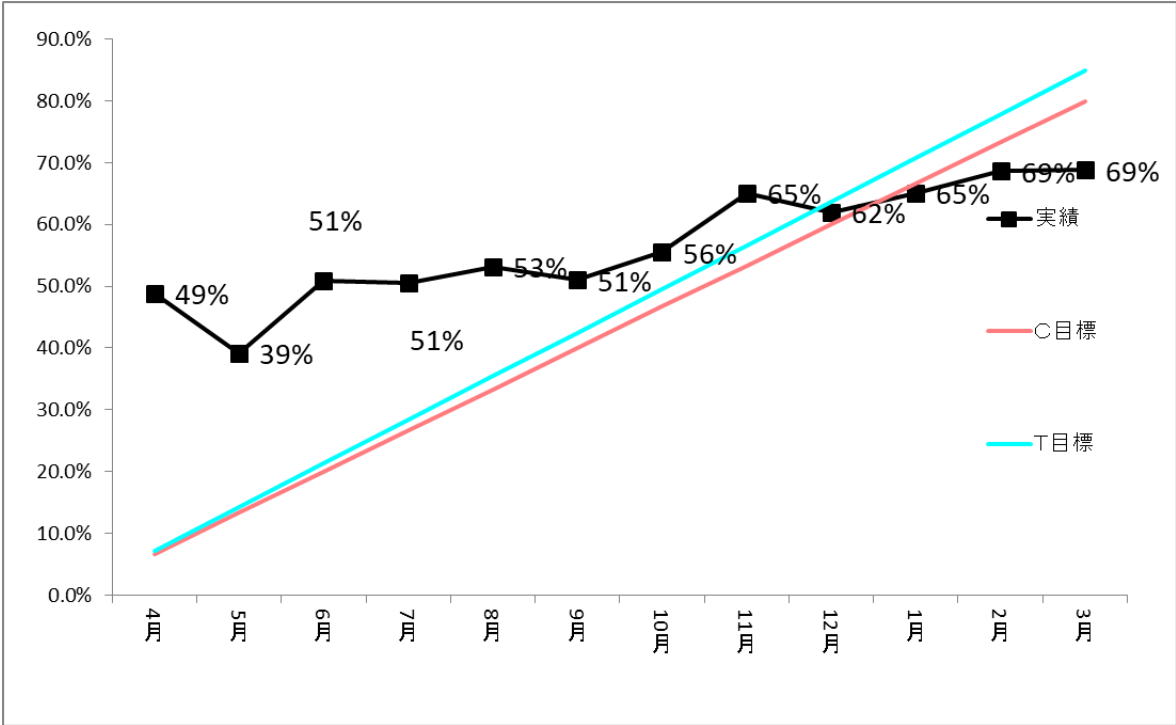
保健指導の対象者の減少率40-74		6月月報		7月月報		8月月報		9月月報		10月月報		11月月報		12月月報		1月月報		2月月報		3月月報		4月月報		(%)	
<担当:内満>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	目標											
日産本人対象者数		325	691	932	1,240	1,549	1,822	2,128	2,413	2,723	3,032	3,383	3,683												
関連本人対象者数		133	633	1,295	1,519	2,922	3,213	3,317	4,361	4,466	4,623	4,728	4,819												
家族全員対象者数		12	34	59	110	141	178	239	318	383	452	539	693												
健診実施者数		2,655	7,620	12,097	15,709	24,153	27,666	30,755	37,445	40,328	43,486	46,722	49,938												
保健指導対象者率		17.7%	17.8%	18.9%	18.3%	19.1%	18.8%	18.5%	18.9%	18.8%	18.6%	18.5%	18.4%												
コミット値		17.8%	17.8%	17.8%	17.8%	17.8%	17.8%	17.8%	17.8%	17.8%	17.8%	17.8%	17.8%												
ターゲット値		15.8%	15.8%	15.8%	15.8%	15.8%	15.8%	15.8%	15.8%	15.8%	15.8%	15.8%	15.8%												

9. 健康セミナー受講者数



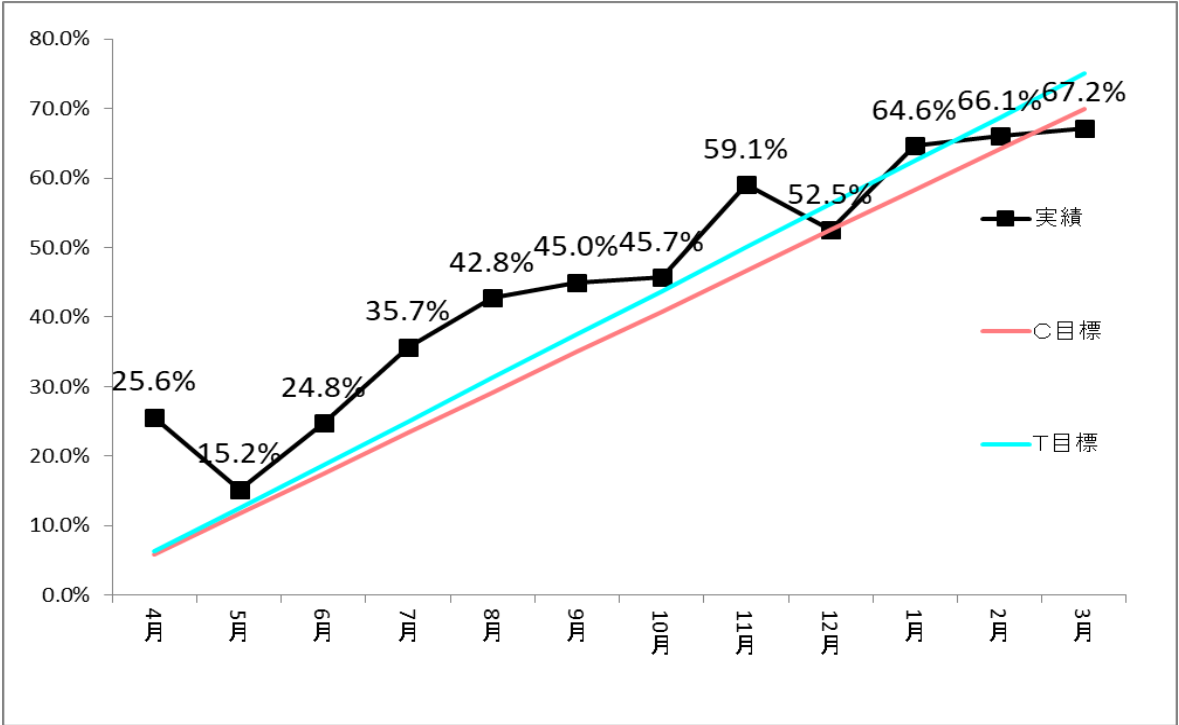
9. 健康セミナー受講者数	C:120名以上 T:170名以上												担当者	平川
月報報告月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
単月実績		14	28	0	24	35	23	28	33	39	28	0		
累計実績		14	42	42	66	101	124	152	185	224	252	252		
C目標		13	26	26	40	53	66	80	93	106	120	120		
T目標		19	38	38	56	75	93	112	131	150	170	170		
判断		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		

胃がん検診 精検受診率(合計)



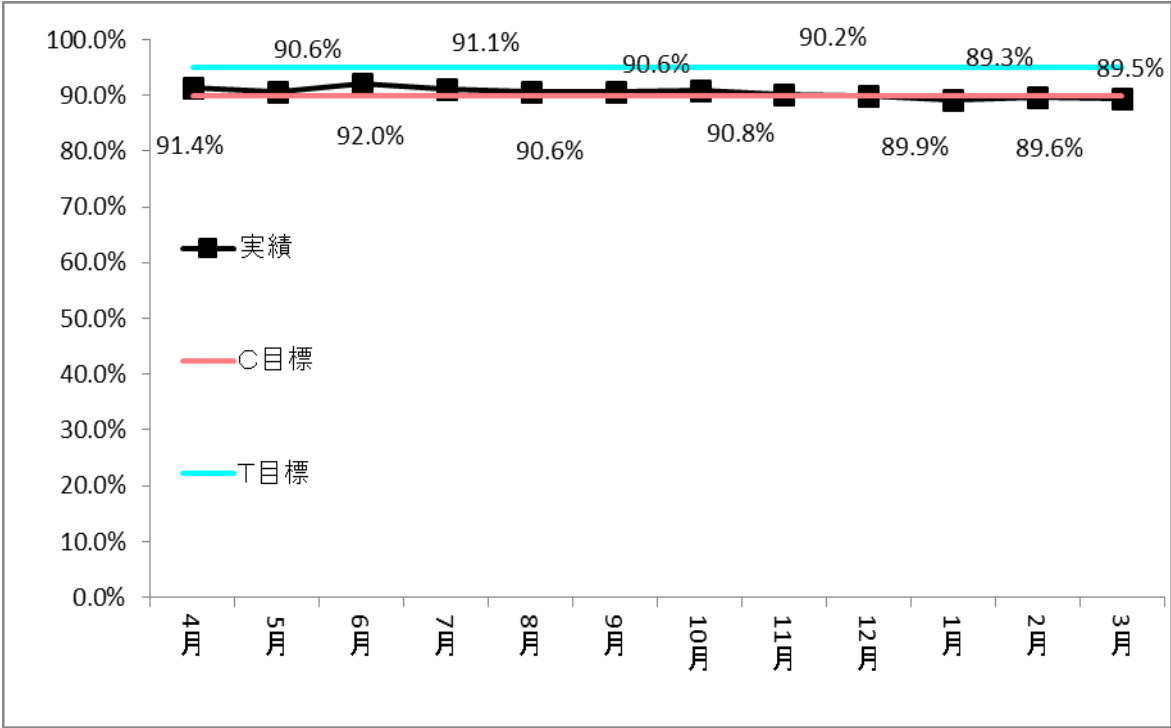
	6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報	5月月報分
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績	48.8%	39.2%	50.9%	50.6%	53.1%	51.0%	55.5%	65.1%	61.9%	65.1%	68.6%	68.8%
C目標	6.7%	13.3%	20.0%	26.7%	33.3%	40.0%	46.7%	53.3%	60.0%	66.7%	73.3%	80.0%
T目標	7.1%	14.2%	21.3%	28.3%	35.4%	42.5%	49.6%	56.7%	63.8%	70.8%	77.9%	85.0%
判断	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	×	×	×

大腸がん検診 精検受診率(合計)



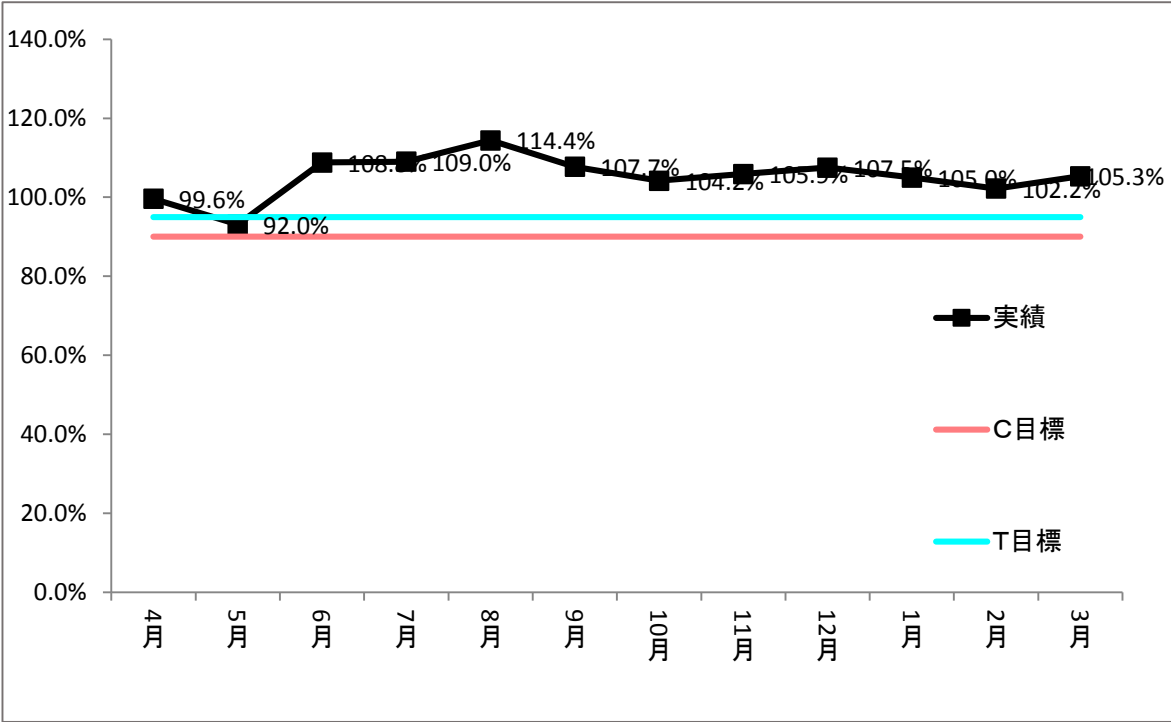
	6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報	5月月報分
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績	25.6%	15.2%	24.8%	35.7%	42.8%	45.0%	45.7%	59.1%	52.5%	64.6%	66.1%	67.2%
C目標	5.8%	11.7%	17.5%	23.3%	29.2%	35.0%	40.8%	46.7%	52.5%	58.3%	64.2%	70.0%
T目標	6.3%	12.5%	18.8%	25.0%	31.3%	37.5%	43.8%	50.0%	56.3%	62.5%	68.8%	75.0%
判断	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	○

保健指導による行動変容改善率



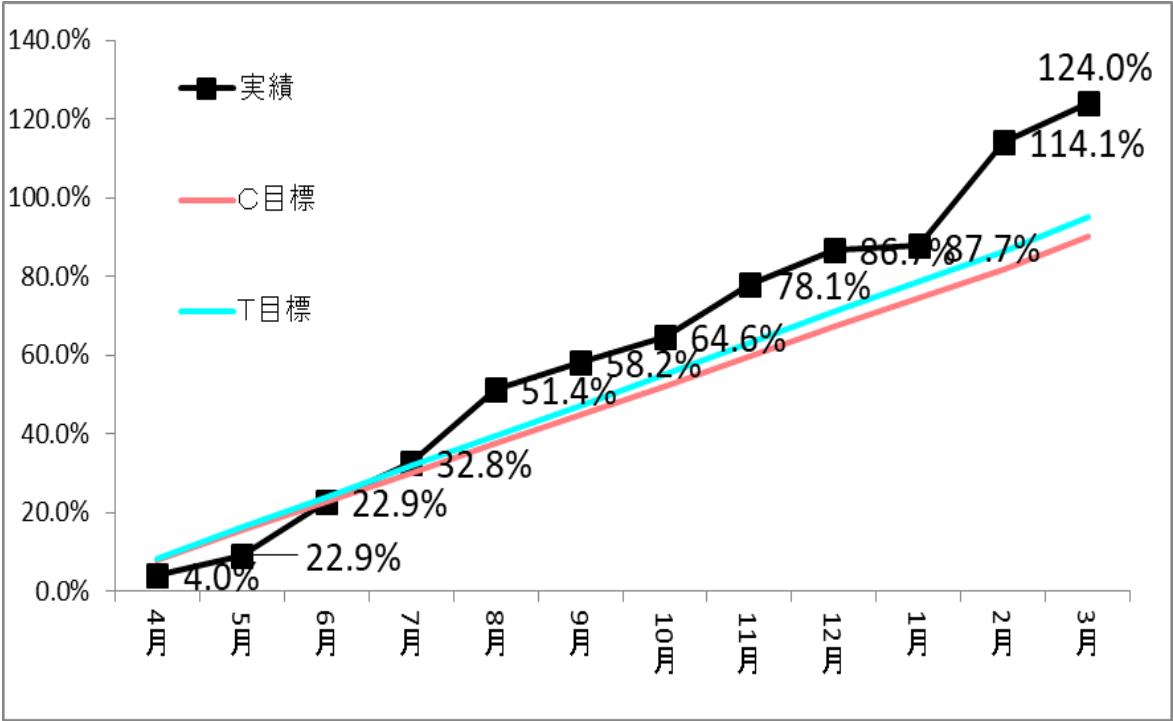
		6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績	91.4%	90.6%	92.0%	91.1%	90.6%	90.6%	90.8%	90.2%	89.9%	89.3%	89.6%	89.5%
C目標	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
T目標	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%
判断	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	△	△

40-74保健指導実施率



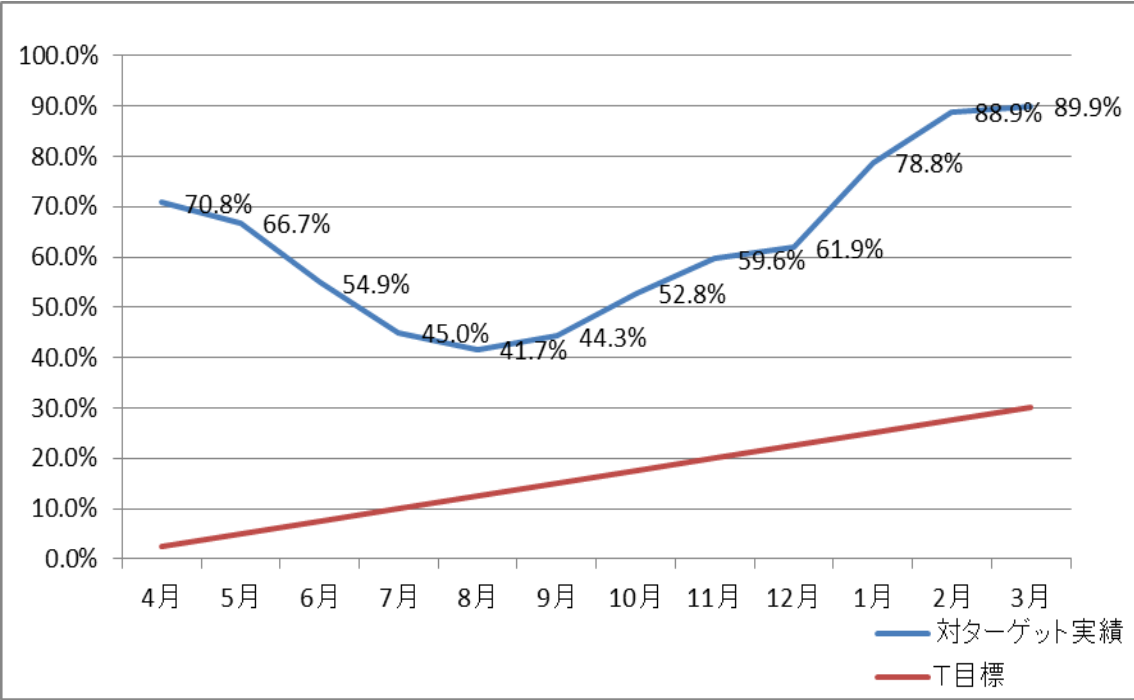
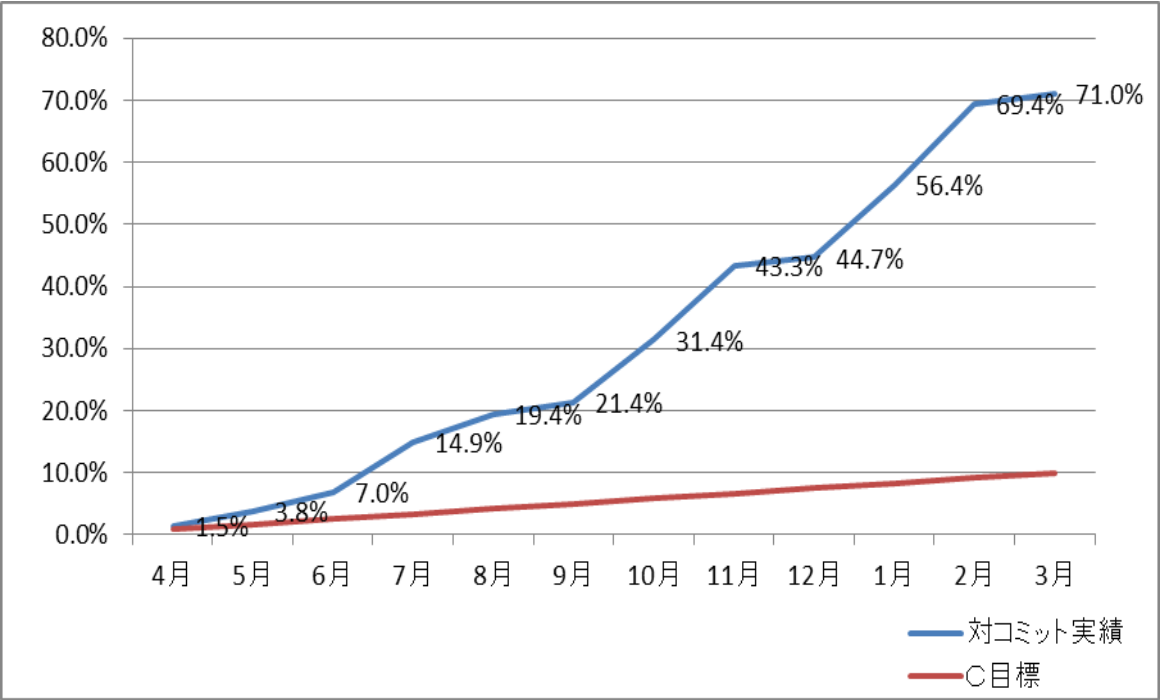
		6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績	99.6%	93.1%	108.8%	109.0%	114.4%	107.7%	104.2%	105.9%	107.5%	105.0%	102.2%	105.3%
C目標	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
T目標	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%
判断	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

糖尿病系重点対象者層の保健指導実施率(合計)



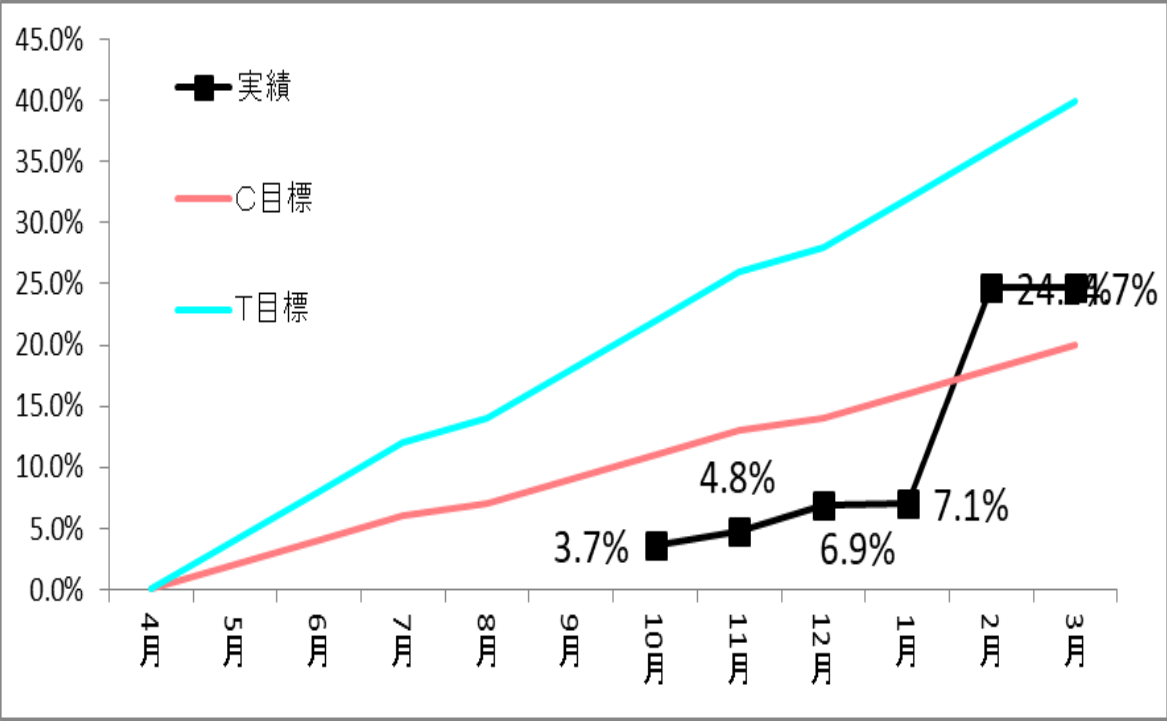
区(合計)		6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績	4.0%	9.2%	22.9%	32.8%	51.4%	58.2%	64.6%	78.1%	86.7%	87.7%	114.1%	124.0%
C目標	7.8%	15.4%	22.7%	30.1%	37.4%	44.8%	52.2%	59.7%	67.2%	74.6%	81.8%	90.0%
T目標	8.3%	16.2%	24.0%	31.8%	39.5%	47.3%	55.1%	63.0%	70.9%	78.7%	86.4%	95.0%
判断	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎

健康増進活動への参加率(合計)



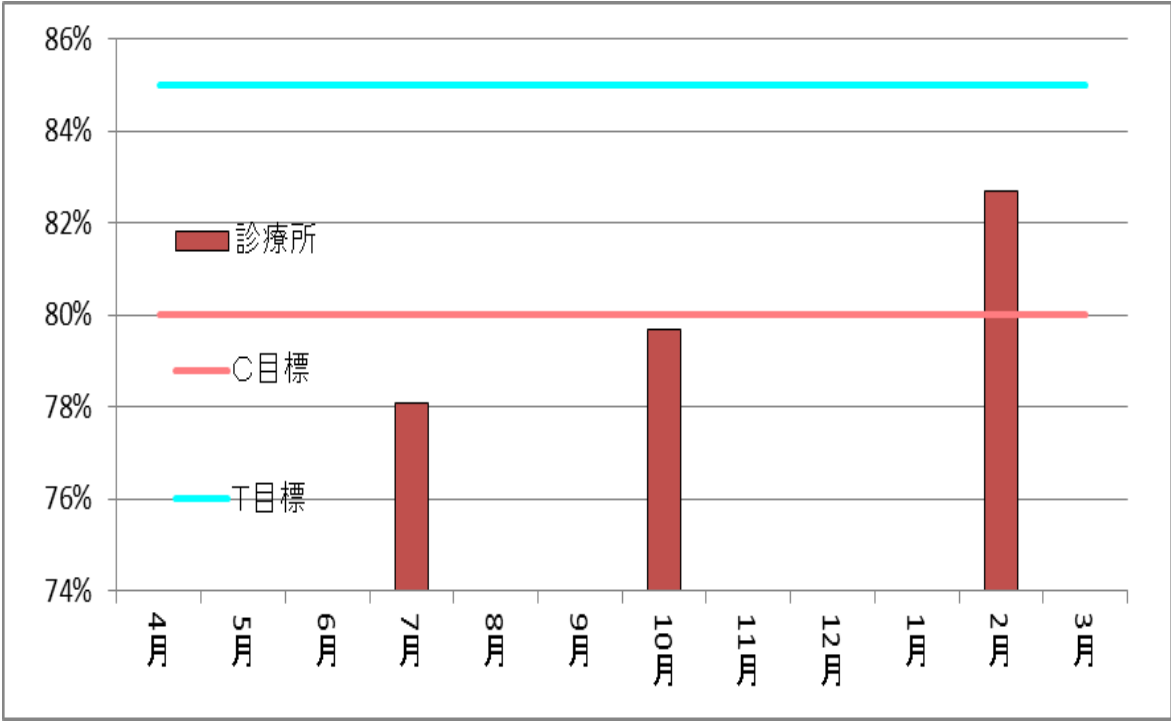
		6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
対コミット実績	1.5%	3.8%	7.0%	14.9%	19.4%	21.4%	31.4%	43.3%	44.7%	56.4%	69.4%	71.0%
対ターゲット実績	70.8%	66.7%	54.9%	45.0%	41.7%	44.3%	52.8%	59.6%	61.9%	78.8%	88.9%	89.9%
C目標	0.8%	1.7%	2.5%	3.3%	4.2%	5.0%	5.8%	6.7%	7.5%	8.3%	9.2%	10.0%
T目標	2.5%	5.0%	7.5%	10.0%	12.5%	15.0%	17.5%	20.0%	22.5%	25.0%	27.5%	30.0%
判断	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

専門教育の受講(合計)



区(合計)		6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績	4.0%	9.2%	22.9%	32.8%	51.4%	58.2%	64.6%	78.1%	86.7%	87.7%	114.1%	124.0%
C目標	7.8%	15.4%	22.7%	30.1%	37.4%	44.8%	52.2%	59.7%	67.2%	74.6%	81.8%	90.0%
T目標	8.3%	16.2%	24.0%	31.8%	39.5%	47.3%	55.1%	63.0%	70.9%	78.7%	86.4%	95.0%
判断	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎

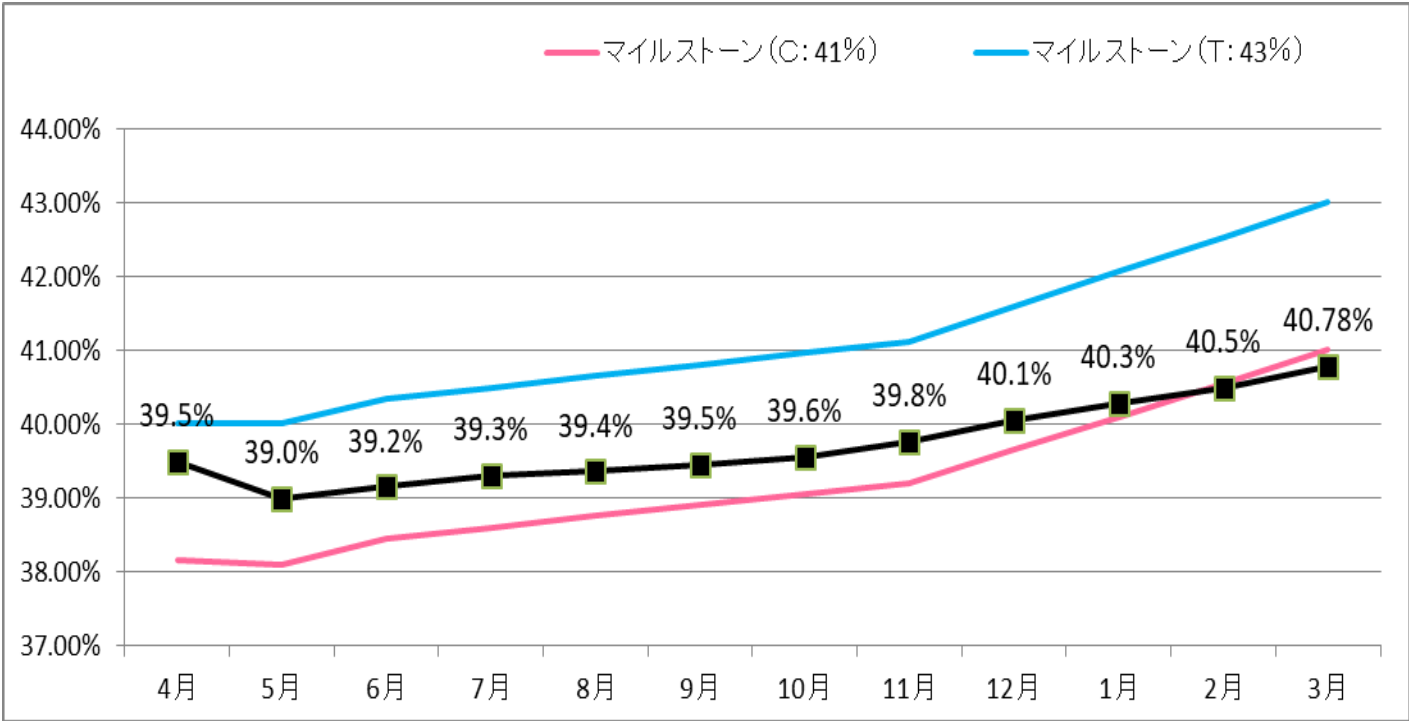
利用者アンケート満足度（合計）



区(合計)		6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績	4.0%	9.2%	22.9%	32.8%	51.4%	58.2%	64.6%	78.1%	86.7%	87.7%	114.1%	124.0%
C目標	7.8%	15.4%	22.7%	30.1%	37.4%	44.8%	52.2%	59.7%	67.2%	74.6%	81.8%	90.0%
T目標	8.3%	16.2%	24.0%	31.8%	39.5%	47.3%	55.1%	63.0%	70.9%	78.7%	86.4%	95.0%
判断	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎

1. GE医薬品の利用率 2017/4-2018/3(実績月)

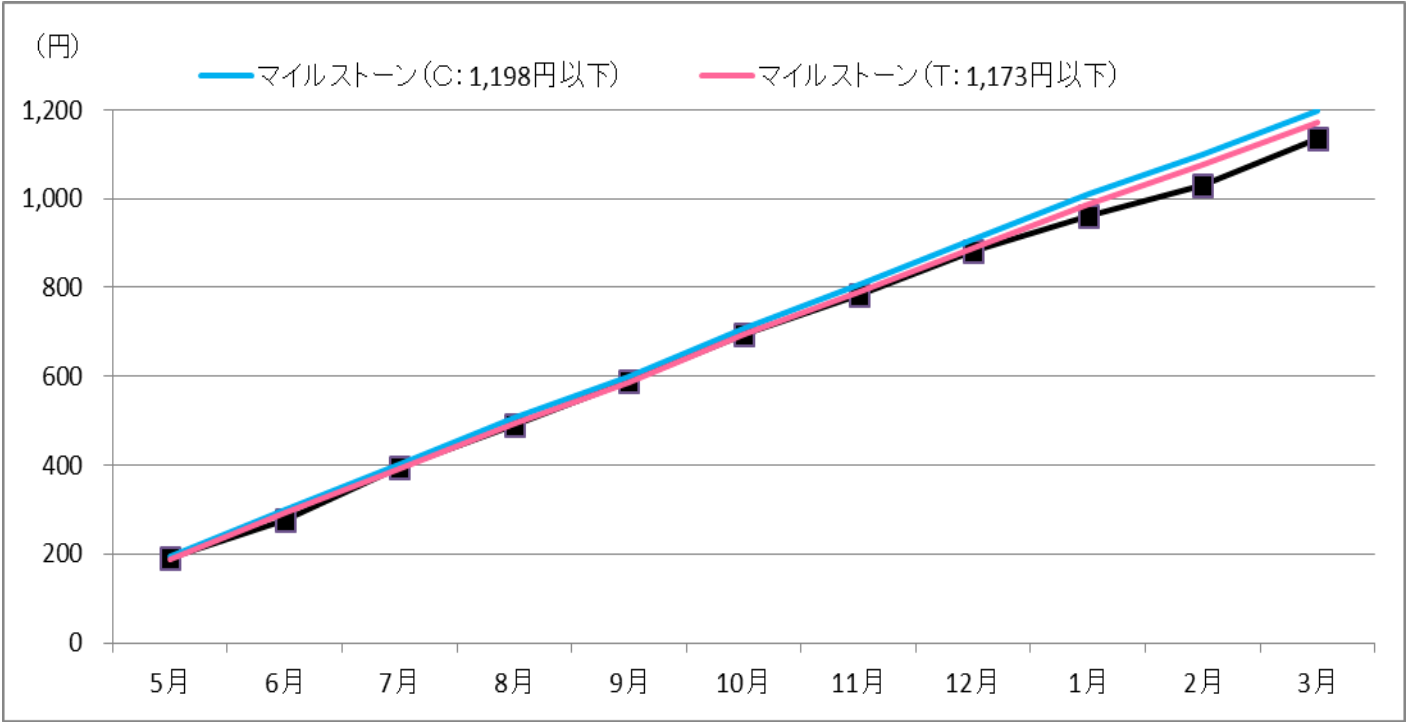
1. GE 医薬品の利用率



月報報告月	6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報	5月月報
対象月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
医薬品件数	201,355	211,331	176,408	182,973	173,817	174,000	161,156	173,635	188,742	189,314	205,565	211,913
医薬品累積		412,686	589,094	772,067	945,884	1,119,884	1,281,040	1,454,675	1,643,417	1,832,731	2,038,296	2,250,209
ジェネリック薬品件数	79,532	81,380	69,728	72,794	68,835	69,561	64,844	71,763	79,777	80,020	87,215	92,241
ジェネリック薬品累計		160,912	230,640	303,434	372,269	441,830	506,674	578,437	658,214	738,234	825,449	917,690
利用率実績(累積)	39.5%	39.0%	39.2%	39.3%	39.4%	39.5%	39.6%	39.8%	40.1%	40.3%	40.5%	40.78%
マイルストーン (C: 41%)	38.15%	38.10%	38.45%	38.60%	38.75%	38.90%	39.05%	39.20%	39.65%	40.10%	40.55%	41.00%
マイルストーン (T: 43%)	40.02%	40.00%	40.33%	40.49%	40.65%	40.81%	40.96%	41.12%	41.59%	42.06%	42.54%	43.01%

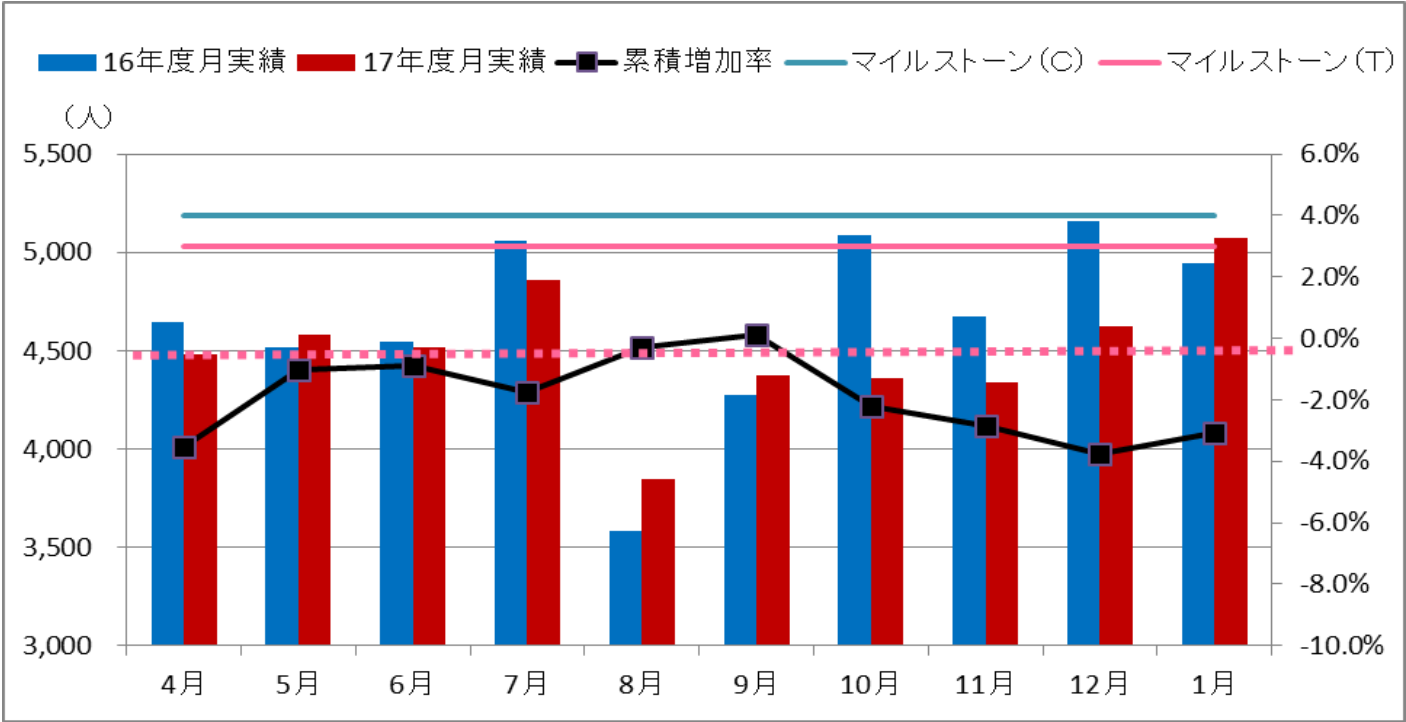
3. 柔整療養費適正化 ※あはき含む 2017/4-2018/3(実績月)

3. 柔整療養費適正化 ※あはき含む



月報報告月		6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
柔整療養費(累積)	12978679	26,905,401	38,968,019	55,765,158	69,224,615	83,383,098	97,823,527	110,562,465	124,537,156	135,762,236	145,475,508	160,265,054
加入者数(月初)	141358	141,232	140,962	141,071	141,256	141,285	141,283	141,441	141,422	141,321	141,547	141,533
加入者数(月初平均)		141,232	141,097	141,088	141,130	141,161	141,182	141,219	141,244	141,253	141,282	141,305
加入者一人当り療養費(累積)		191	276	395	491	591	693	783	882	961	1,030	1,134
マイルストーン(C: 1,198円以下)	99	193	299	400	505	599	709	805	908	1,010	1,100	1,198
マイルストーン(T: 1,173円以下)	97	189	292	392	495	586	694	788	889	989	1,077	1,173

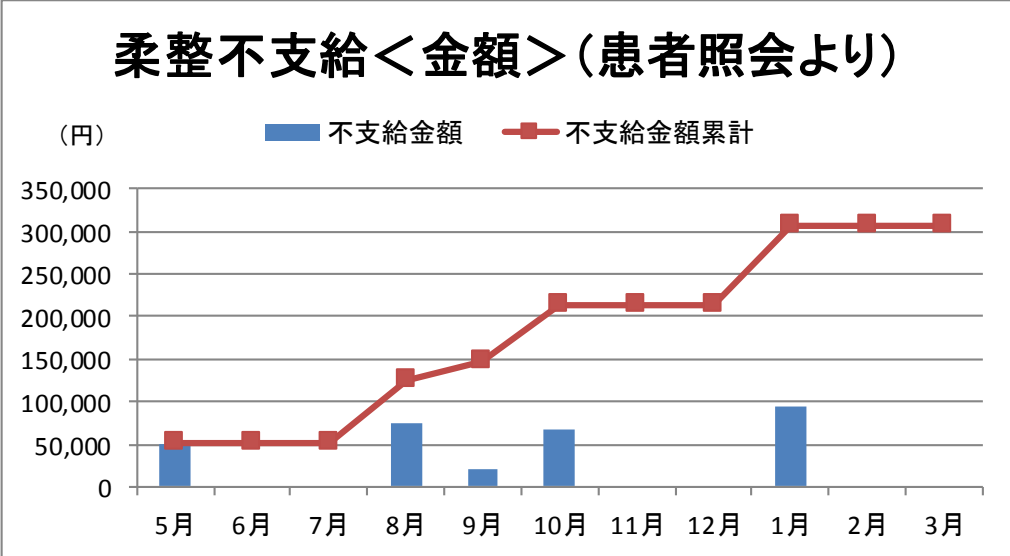
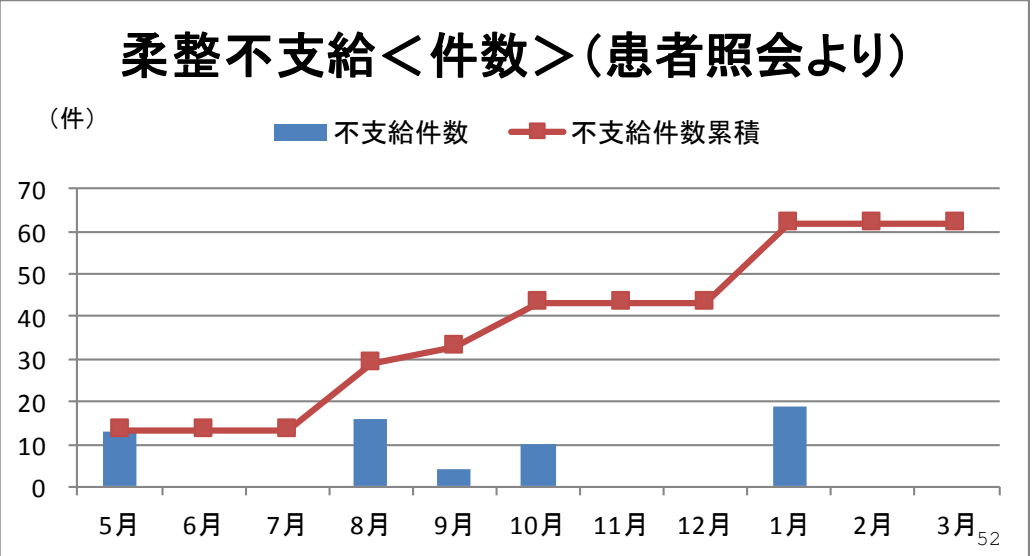
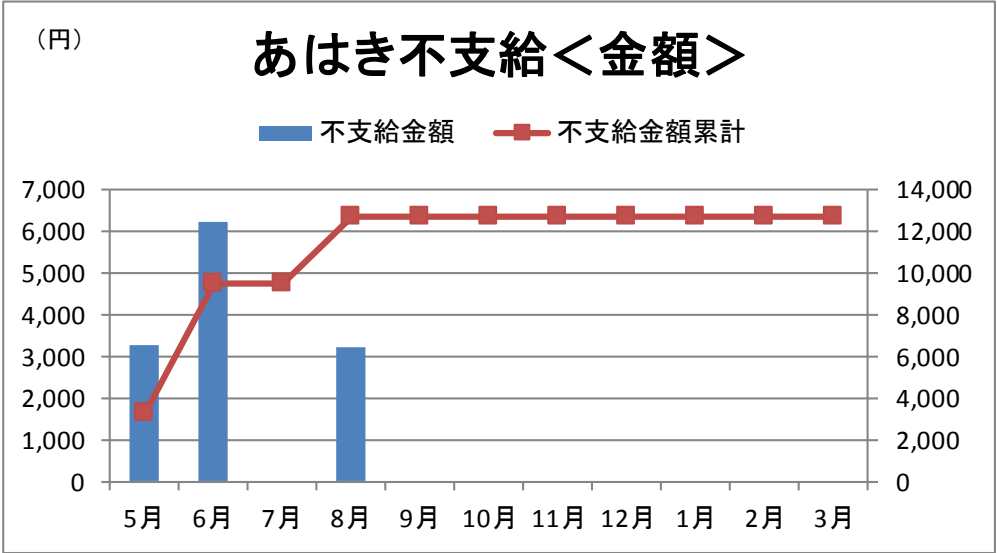
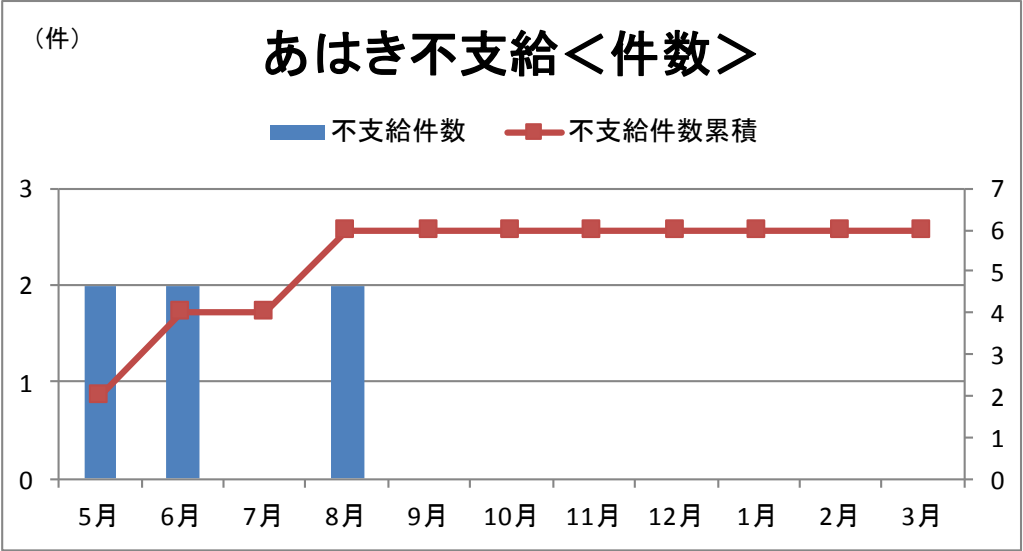
医療機関受診に伴う、時間外利用者



月報報告月		6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
柔整療養費(累積)	12978679	26,905,401	38,968,019	55,765,158	69,224,615	83,383,098	97,823,527	110,562,465	124,537,156	135,762,236	145,475,508	160,265,054
加入者数(月初)	141358	141,232	140,962	141,071	141,256	141,285	141,283	141,441	141,422	141,321	141,547	141,533
加入者数(月初平均)		141,232	141,097	141,088	141,130	141,161	141,182	141,219	141,244	141,253	141,282	141,305
加入者一人当り療養費(累積)		191	276	395	491	591	693	783	882	961	1,030	1,134
マイルストーン(C:1,	99	193	299	400	505	599	709	805	908	1,010	1,100	1,198
マイルストーン(T:1,	97	189	292	392	495	586	694	788	889	989	1,077	1,173

◆＜柔整関係＞不支給実績（累計）

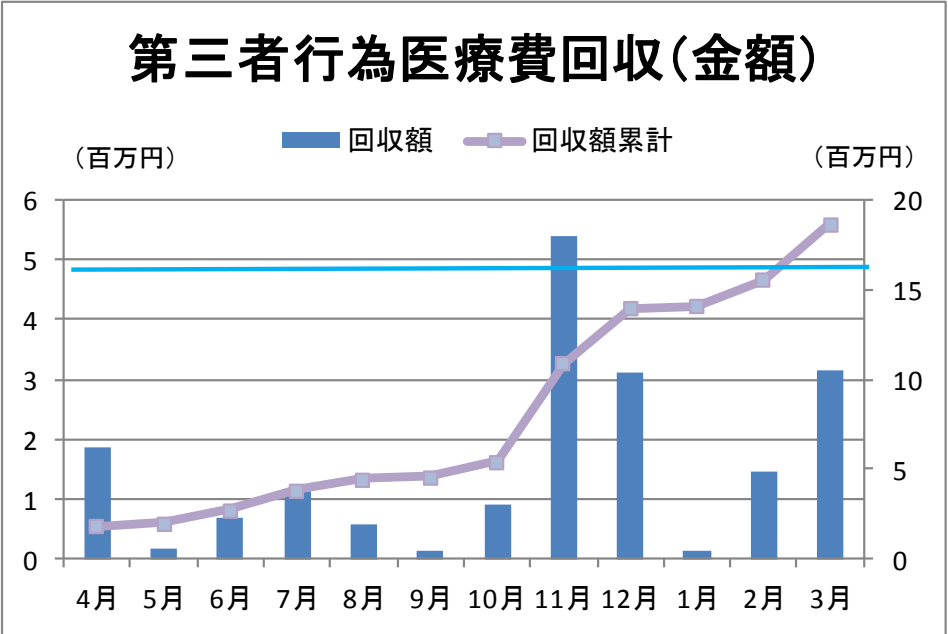
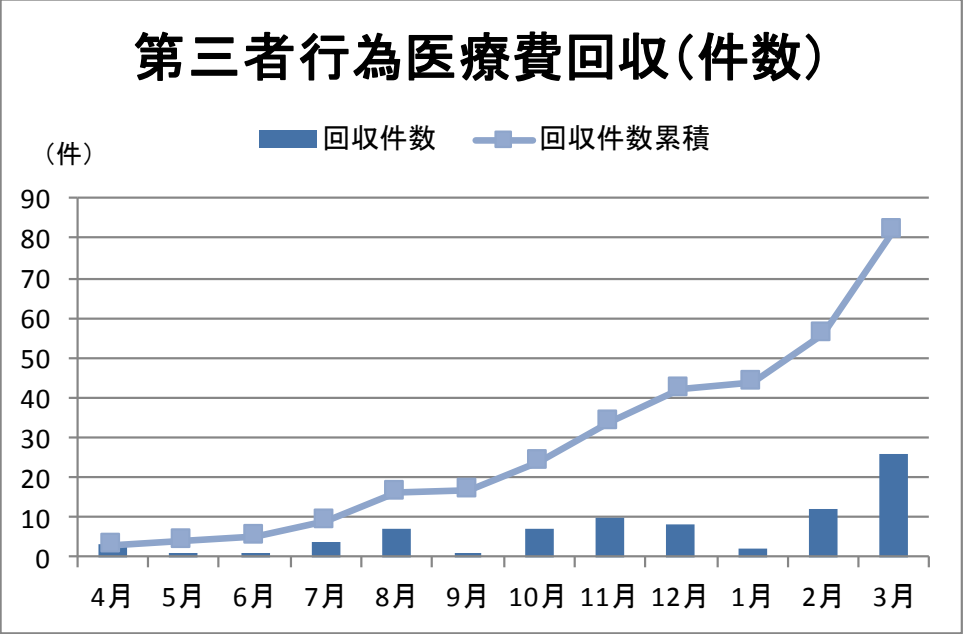
◆＜柔整関係＞不支給実績（累計）



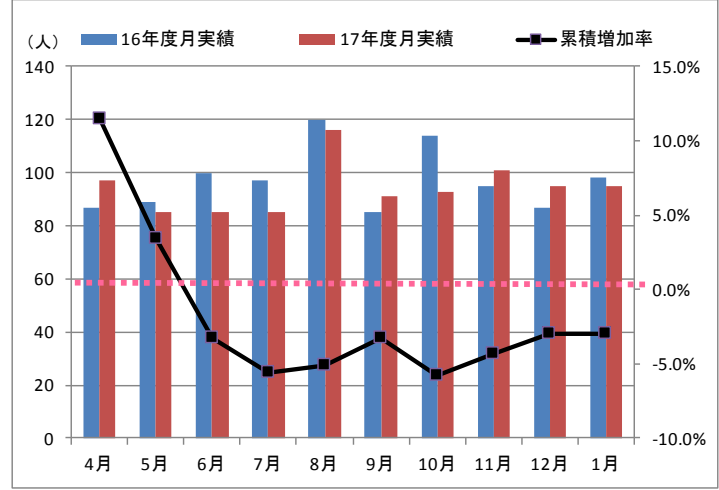
◆ 第三者行為求償による医療費回収(累計)

◆ 第三者行為求償による医療費回収(累計)

T目標回収額: 1,500万円以上

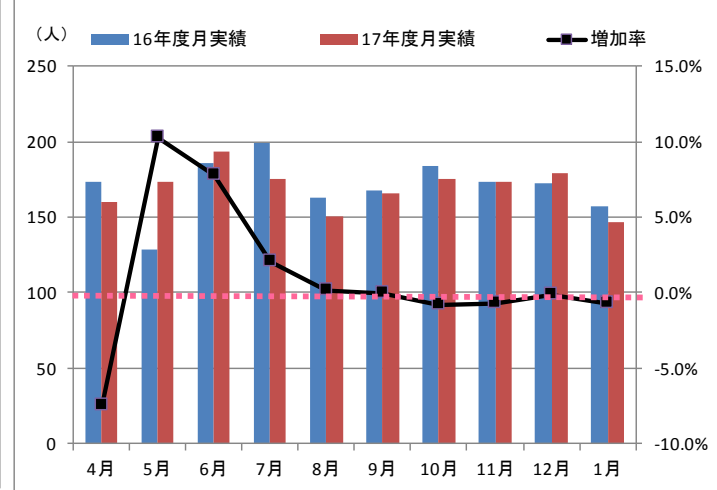


◆不適切
高額医療者(100万円以上)



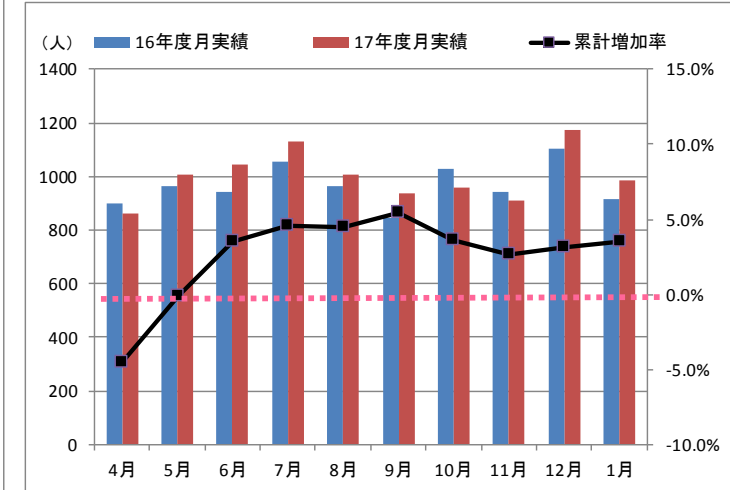
累積において前年より3%減少中。良好。

頻回受診(医療機関／薬局の利用頻度が高い)



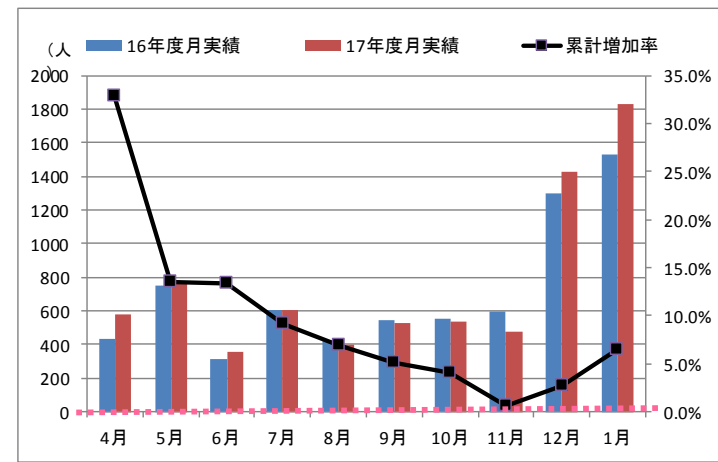
累積において前年と同等。

多受診(診療日数が多い)



累積において前年より3.1%増加。

休日加算

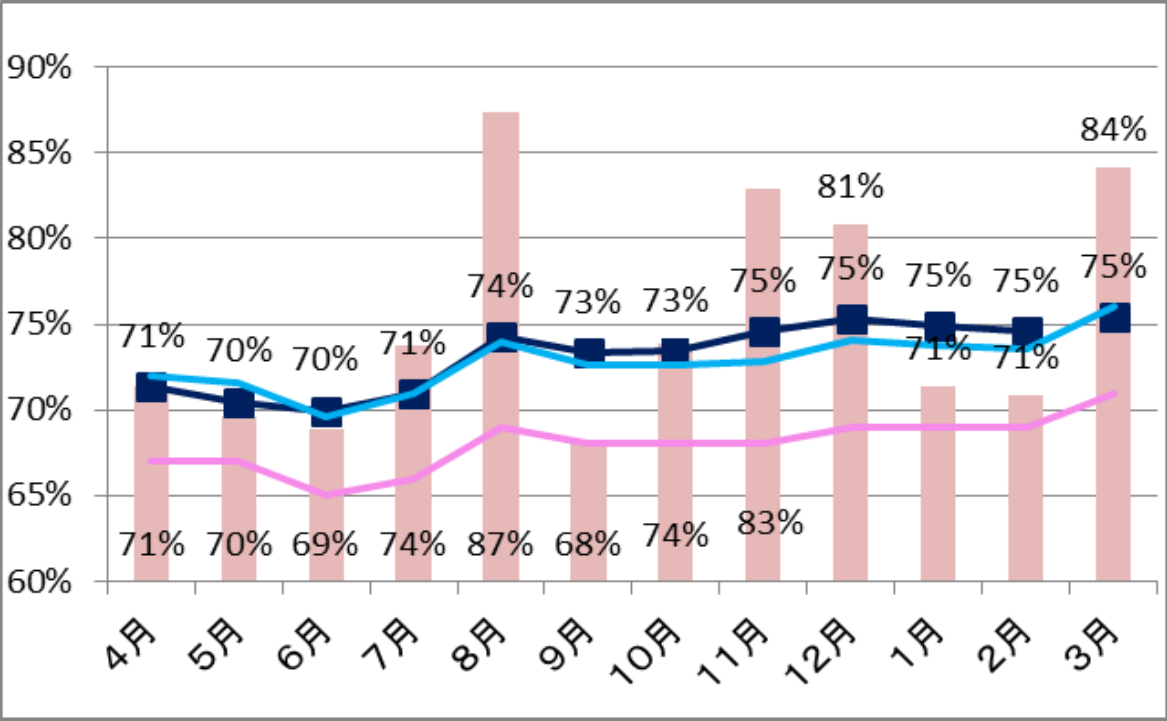


累積において2.7%増加。

平成29年度の傾向
時間外加算と高額医療者において昨年実績より減少

6、保養荘部屋稼働率 2017/4-2018/3(実績月)

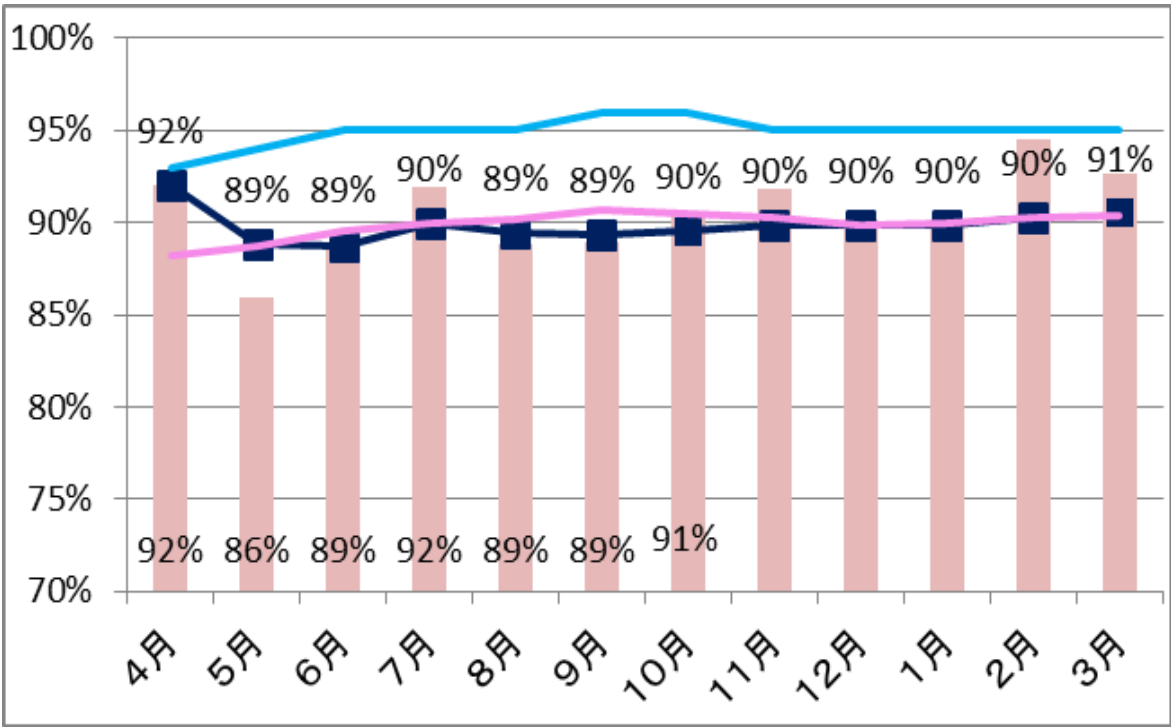
6、保養荘部屋稼働率



稼働率		6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報
利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用部屋数	457	479	431	497	590	422	478	522	545	466	408	584
利用部屋数累積	457	936	1367	1864	2454	2876	3354	3876	4421	4887	5295	5879
有効部屋数	640	688	626	674	675	619	647	630	674	653	576	694
有効部屋数累積	640	1,328	1,954	2,628	3,303	3,922	4,569	5,199	5,873	6,526	7,102	7,796
累積部屋稼働率	71%	70%	70%	71%	74%	73%	73%	75%	75%	75%	75%	75%
単月部屋稼働率	71%	70%	69%	74%	87%	68%	74%	83%	81%	71%	71%	84%
C目標: 71%	67%	67%	65%	66%	69%	68%	68%	68%	69%	69%	69%	71%
T目標: 76%	72%	72%	70%	71%	74%	73%	73%	73%	74%	74%	74%	76%
C: 71%、T: 76%	Tは那須を抜いた前年実績 CはT-5%											
	○	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○

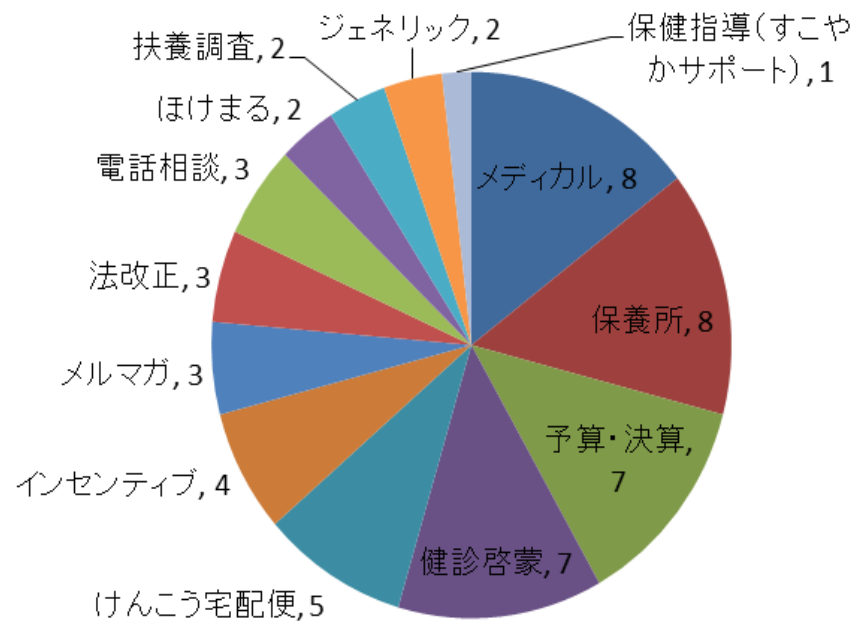
7、保養荘満足度 2017/4-2018/3(実績月)

7、保養荘満足度



		6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5点評価者	230	233	217	251	271	209	212	260	230	211	206	290
5点評価者累積	230	463	680	931	1202	1411	1623	1883	2113	2324	2530	2820
評価者数	250	271	245	273	305	235	234	283	255	234	218	313
評価者数累積	250	521	766	1039	1344	1579	1813	2096	2351	2585	2803	3116
累積大満足度	92%	89%	89%	90%	89%	89%	90%	90%	90%	90%	90%	91%
単月満足度	92%	86%	89%	92%	89%	89%	91%	92%	90%	90%	94%	93%
C目標:71%	88%	89%	90%	90%	90%	91%	91%	90%	90%	90%	90%	90%
T目標:76%	93%	94%	95%	95%	95%	96%	96%	95%	95%	95%	95%	95%
C:90%、T:95%	Cは那須を抜いた前年実績 TはC+5%											
	○	○	△	○	△	△	△	△	△	△	○	○

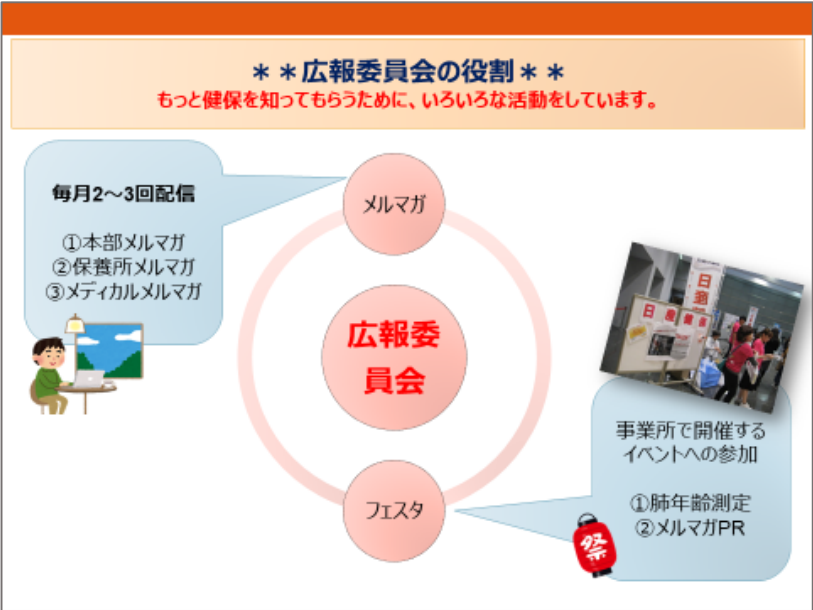
けんぽニュース（2回／年）



けんぽニュース発行部数履歴

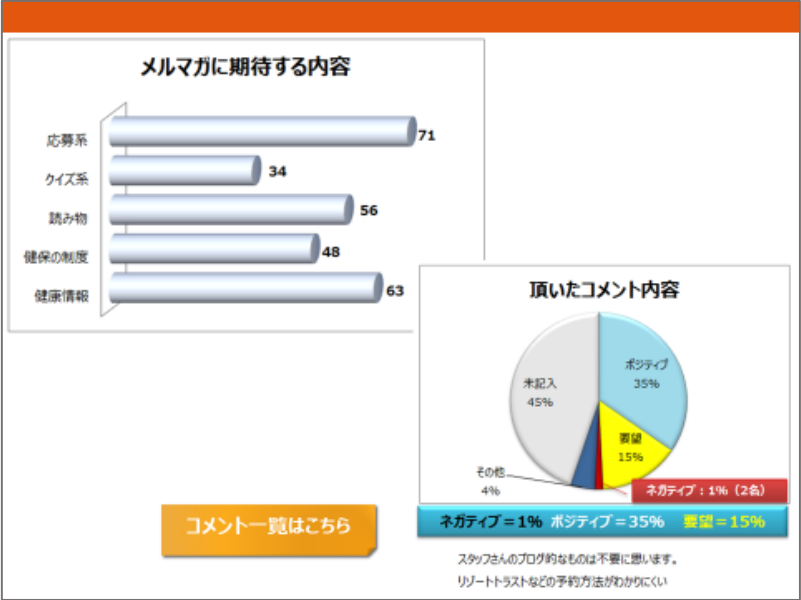
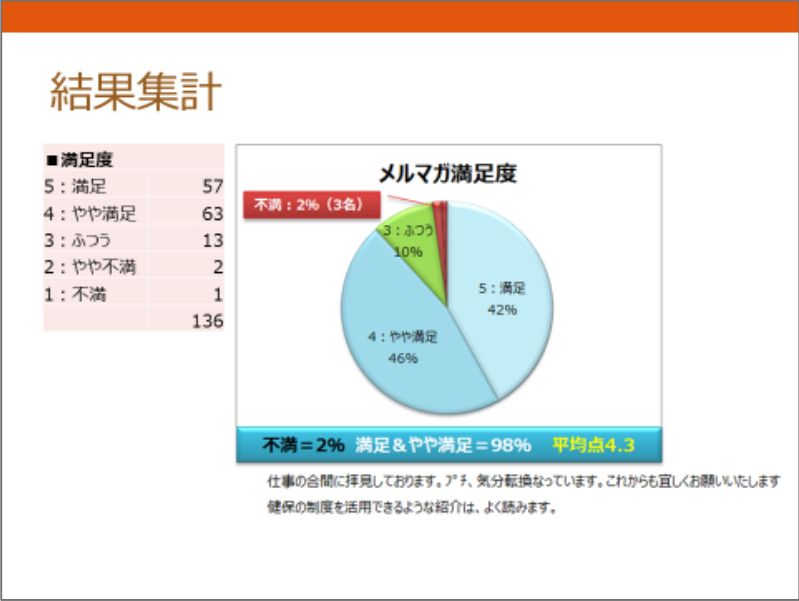
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018	☆ 47500				★計画							★計画
2017					☆ 47500							
2016					☆ 47,500							☆
2015						☆ 48,000						☆ 48,000
2014					☆ 73,669							☆ 49,900
2013							☆ 73,700				☆ 73,710	
2012						☆ 75,970		☆ 76,610				
2011			57	☆ 76,720		☆ 76,370				☆ 76,700		☆ 76,744

メールマガジン



FY17 フェスタ報告

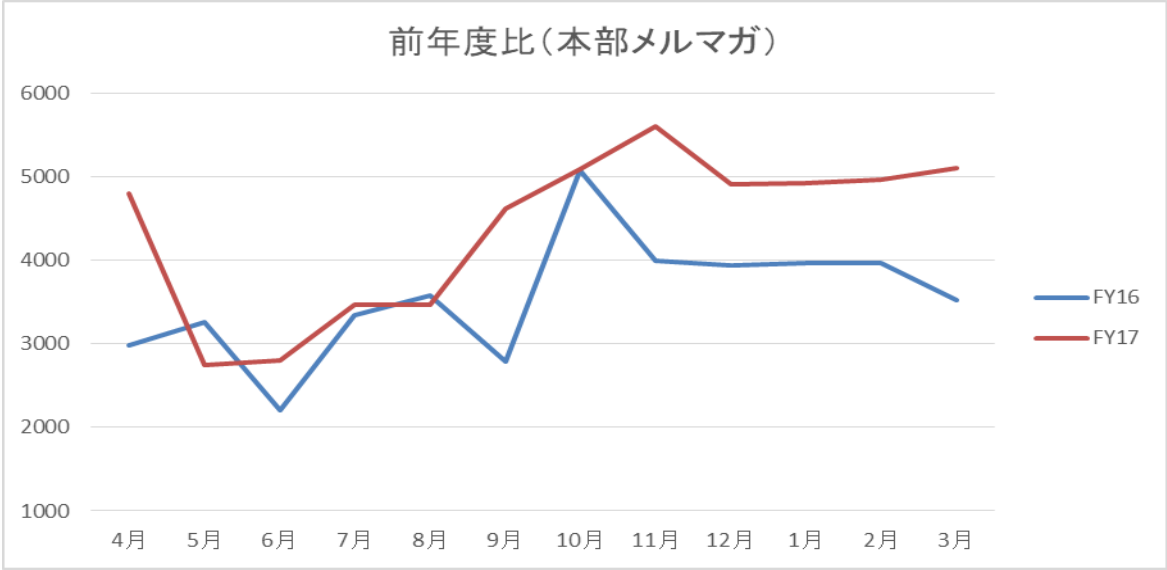
FY17 フェスタ日程								
	日程	地区	時間	追加内容	本部	メディカル	リゾート	泉郷
1	9月25日 (月)	NTC	12:00～15:00	RAJIN配布 (NTCで用意)		平川 江の島駅* (血管年齢測定)		
2	10月13日 (金)	NATC	12:00～14:00	RAJIN配布 (NTCで用意)		江の島駅* (血管年齢測定)		
3	10月25日 (水)	本社	10:00～12:00 12:00～14:00	RAJIN配布 (けんぽから持参)		平川 江の島駅* (血管年齢測定)		
4	12月15日 (金)	オーテック	10:30-15:00	RAJIN配布 (事業所よりオーテックに送付)		平川 江の島駅* (血管年齢測定)		
5	9月27日 (水)	座間	12:00～13:30	RAJIN配布 (兼着より座間に送付)		平川 江の島駅* (血管年齢測定 なし)		
6	12月22日 (金)	日産フィナンシャル	9:30～15:30	RAJIN配布 (健保より送付)		平川		
7	3月27日 (火)	日産工機	12:00～13:30	RAJIN配布 (健保より送付)		平川 江の島駅* (血管年齢測定)		
8	9月26日 (火)	欠 NGIC						



2017年度 メールマガジン配信数

配信月	配信日	保養所	配信日	本部	配信日	メディカル
4月	3	4月号	14,246	17	vol.105	14,152
5月	10	5月号	14,018	29	vol.106	14,065
6月	5	6月号	14,077	19	vol.107	14,049
7月	3	7月号	14,072	18	vol.108	14,030
8月	7	8月号	14,033	23	vol.109	14,046
9月	4	9月号	14,063	19	vol.110	14,075
10月	2	10月号	13,961	16	vol.111	13,957
11月	6	11月号	14,412	20	vol.112	14,474
12月	4	12月号	14,504	18	vol.113	14,477
1月	11	1月号	14,498	22	vol.114	14,432
2月	5	2月号	14,446	19	vol.115	14,418
3月	5	3月号	14,426	19	vol.116	14,367

ホームページとイントラネット



17年度（H29）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
トップページ単月合計		66,700	35,114	34,476	35,494	40,562	75,964	88,930	83,165	80,514	80,095	66,428	81,788
内訳	現トップページ（単月）/kenpo/	31,495	32,388	31,828	32,836	34,208	30,861	41,339	37,275	32,847	32,843	31,528	35,446
	旧トップページ（単月）/./?	35,205	2,726	2,648	2,658	6,354	45,103	47,591	45,890	47,667	47,252	34,900	46,342
ロコミページ（単月）													
計（単月）		66,700	35,114	34,476	35,494	40,562	75,964	88,930	83,165	80,514	80,095	66,428	81,788
累計		66,700	101,814	136,290	171,784	212,346	288,310	377,240	460,405	540,919	621,014	687,442	769,230

イントラ(WIN)掲載	けんぽニュース
H29.4	643 アクセス
H28.4	751 アクセス

65歳以上の健康(健康かわら版)(4回/年)

セカンドライフを楽しむために
健康かわら版 第19号

日産自動車健康保険組合
http://www.nissan-kampo.or.jp/kampo/

熱中症は 自己管理で予防!

人は暑くなると汗がいたり、体温近くの水蒸気量を増やして、気道や湿度が高い環境下で、この調節機能がうまく働かないと「熱中症」になります。特に65歳以上の力や持病のある方などは熱中症になりやすいため、注意が必要です。

※平成29年の熱中症による救急搬送状況(5~9月)

年齢層	割合
7歳未満	1%
7歳~17歳	13%
18~64歳	36%
65歳以上	50%

65歳以上の高齢者が半分以上を占めています

具体的な対策は中巻へ▶▶▶

セカンドライフを楽しむために
健康かわら版 第20号

日産自動車健康保険組合
http://www.nissan-kampo.or.jp/kampo/

「飲み込みにくい」を撃退しよう!

飲み込みにくい、むせる、順に引く喉の痛みがある、そんな状態が続く場合は、飲み込む力が低下した「嚥下障害」かもしれません。嚥下障害の重症は、体力低下などさまざまな原因で、順にでも起こり得るものです。いつまでも楽しく食べるためにも、今こそ「飲み込む力」を見直してみましょう。

喉にも通じる! 危険な「嚥下」障害状態(入院)における嚥下障害とそれ以外の障害の割合

年齢層	嚥下障害	それ以外の障害
7歳未満	1%	1%
7歳~17歳	13%	13%
18~64歳	36%	36%
65歳以上	50%	50%

具体的な対策は中巻へ▶▶▶

セカンドライフを楽しむために
健康かわら版 第21号

日産自動車健康保険組合
http://www.nissan-kampo.or.jp/kampo/

「痛む」と思ったら早めにケアを いつまでも自分の足で歩きたい!

年齢とともに、日増しに歩行の遅さや足や足の関節に痛みを感じるようになった方も多いのでは。特に体の全体重を支える関節は、年齢になると痛みやすくなる傾向があります。関節の痛みは、症状が悪化する前の早めの対策が大切です。

■1日当たりの外来受診率(人口10万人対)

年齢層	受診率
10代	621
20代	529
30代	402
40代	216
50代	191
60代	166

関節症の外来受診率は第5位

具体的な対策は中巻へ▶▶▶

2017年7月

19号	配布数	3,641
	個別送付	200
	印刷	3,841 3,850

ヤマトへ直送	3,650
健保納品	200
リゾートトラスト	3,650

高橋発送 17.9/7

各所置き用
① 診療所: 10か所 × 10冊
② メディカル: 20
③ 保養荘: 3か所 × 10冊
④ 残
※ 予備として別に150冊あり
最終残

2017年10月

20号	配布数	3,544
	個別送付	220
	印刷	3,764 3,800

2018年1月

21号	配布数	3,455
	個別送付	200
	印刷	3,660

ヤマトへ直送	3,460
健保納品	200
リゾートトラスト	3,460

各所置き用
① 診療所: 10か所 × 10冊
② メディカル: 20
③ 保養荘: 3か所 × 10冊
④ 残
※ 予備として別に150冊あり
最終残

「痛むから 動かない」は悪循環のもと!

足が痛むと、体を動かすのがつらくなりますが、だからといって安静にしていると、ますます症状が悪化する可能性があります。痛みがあっても、適度な運動は運動機能を維持するポイントとなります。

痛みがあるときは まずは痛みの状態を確認

痛みが強いときは、痛み止めや消炎剤の投与を受けた後、痛みが軽減するまで安静にします。痛みが軽減したら、徐々に運動を再開します。痛みが軽減したら、徐々に運動を再開します。

運動の例

① 歩く
② 歩く
③ 歩く
④ 歩く

具体的な対策は中巻へ▶▶▶

好きな音楽で憩いのひと時 心の健康づくり

音楽を聴くことで気持ちが楽になり、楽しい気持ちになった経験はありますか。音楽は心の健康づくりにも効果的です。音楽を聴くことで、心は健康になります。

1 環境をつくる

音楽を聴く環境をつくる。音楽を聴く環境をつくる。音楽を聴く環境をつくる。

2 気持ちをリラックスさせる

音楽を聴くことで、心はリラックスします。音楽を聴くことで、心はリラックスします。

3 自分の好きな曲を選ぶ

自分の好きな曲を選ぶ。自分の好きな曲を選ぶ。自分の好きな曲を選ぶ。

具体的な対策は中巻へ▶▶▶

育児支援

平成29年度 個別アンケート 集計結果ご報告書

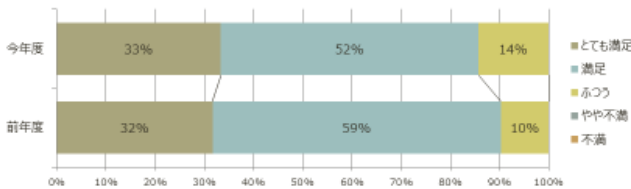
配付枚数：154枚

回収枚数：21枚

回収率：13.63%

アンケート集計結果③

●『赤ちゃん和妈妈』の内容に満足していますか？



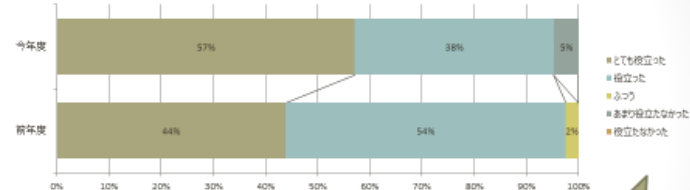
↑ 「とても満足」32%→33%

前年度より
とても満足
度UP

7

アンケート集計結果②

●『赤ちゃん和妈妈』は育児をする上で役立ちましたか？



↑ 「とても役立った」44%→57%

前年度より
役立ち度
UP

6

アンケート集計結果⑦-1

● 当組合へのご要望、『赤ちゃん和妈妈』のご感想などお書きください（自由記述）

- ちょうど娘が風邪をひいて、苦い薬を処方されましたが、上手く飲ませられず困っていたところ、お栗のQ & Aがとても参考になりました。
- デザインや内容が刷新されてから読みやすくなりました。「ババも読んでる」でももう少しプッシュしたらどうでしょうか。
- いつも配布いただき、ありがとうございます。
- 離乳食のレシピが参考になります。
- 育児する中で知りたい情報を知ることができるのでありがたいと思います。
- とても良い雑誌の配布をどうもありがとうございます。
- 自分自身の読み物を買う時間はないので、配布は助かります。育児はそれぞれと言いますが、みんながどうやってるのかを知ることができる記事が為になります。
- 離乳食のレシピは大変助かります。
- いつも季節に合わせた内容、離乳食のメニューなど、参考になっています。自分では育児書を購入しないので、ありがたいです。
- "サンドウィッチマンのコーナーが面白くて、いつも夫と楽しみにしています。お笑い芸人の意見だと半分ふざけて読めるので、こういうコーナーは是非続けてほしいです。読みやすい量の記事なので、赤ちゃんが寝た時等にちょっと読めるのがちょうどよいと思います。"
- もう少しババが育児に参加しやすい環境づくり（残業など）や制度などを充実させてほしいです。
- 赤ちゃん和妈妈よりも、ひよこ、たまごクラブ等の方が読みやすく内容が多いと思うので、他の雑誌も選べると良い。ヨシタケさんの漫画が終わり、残念だった。
- 1年間育児の合間に楽しく読ませていただき、ありがとうございました。
- 産後はなかなか雑誌を買いに行こうという気にならないので、毎月送られてきてありがたかったです。
- 赤ママに出会わせてくれてありがとうございました！！

データヘルス計画推進システムの構築

JMDC らくらく健助導入



分析をする



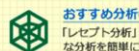
疾病別医療費、受療率、薬剤費など各種分析が行えます



各種健診値や同診ごとの経年変化、リスク者の分析など各種分析が行えます



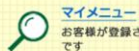
事業所別、年齢階層別、男女別の加入者数など各種分析が行えます



「レセプト分析」「健診分析」の基本的な分析を簡単に分析が行えます



CKDリスクや高脂血症・糖尿病・多受診の実態などの分析を簡単に分析が行えます



お客様が登録された分析条件一覧です



保健事業実施者リストを対象にレセプト・健診など様々な観点で分析ができます

レポートを作る



生活習慣病に着目し、健康～重篤な状態まで8階層に分類しています



健保全体の医療費・疾病傾向など要点を絞ったレポートを出力します



JMDCのおすすめする分析がスピーディーかつ複雑な操作なしに表示され、出力も行えます

保健事業を行う



受診勧奨対象者の抽出及び効果検証が行えます



情報提供用紙/メンタル・フィジカルレポートなど

健康マップ®(生活習慣病からみた分布)

期間: 201704～201803

対象年齢: 40～75歳

事業所: 自健保 標準母集団・健保全体

未通院(生活習慣病のレセプトが無い人)

正常	不健康な生活	患者予備群	治療放置群
正常値レベル	保健指導が必要なレベル	病院で診察を受けたほうが良いレベル	治療する必要があるレベル
血糖: 110mg/dl未満又は HbA1c5.6%未満	血糖: 110mg/dl以上又は HbA1c5.6%以上	血糖: 126mg/dl以上又は HbA1c6.5%以上	血糖: 140mg/dl以上又は HbA1c7.0%以上
血圧: 85/130mmHg未満	血圧: 85又は130mmHg以上	血圧: 90又は140mmHg以上	血圧: 100又は160mmHg以上
中性脂肪: 150mg/dl未満 又はLDL:120未満 又はHDL:40以上	中性脂肪: 150mg/dl以上 又はLDL:120以上 又はHDL:40未満	中性脂肪: 300mg/dl以上 又はLDL:140以上 又はHDL:35未満	中性脂肪: 400mg/dl以上 又はLDL:160以上 又はHDL:30未満

■該当者人数(上段:当期)(下段:前期)

8,459	12,651	8,307	4,363
8,186	12,767	8,168	4,280

●該当者人数の構成割合(%)

16.0	24.0	15.7	8.3
------	------	------	-----

●前年度構成割合(%)

15.7	24.5	15.7	8.2
------	------	------	-----

●標準母集団(他健保177万人(対象者:139万人))の構成割合(%) [対象者の平均年齢:52歳]

14.6	23.0	14.5	8.7
------	------	------	-----

■該当者の1人当り医療費(平均値)(円)

83,155	85,647	77,743	70,366
--------	--------	--------	--------

●[上段]該当者の総医療費合計、[下段]会社が負担している費用(千円)

703,413	1,083,524	645,817	307,008
280,718	432,413	257,733	122,521

通院/入院(生活習慣病のレセプトがある人)

生活習慣病	重症化	生活機能の低下	再発予備群
合併症はない	合併症に進行しています	重篤な状態になっています	入院後の状態です
2型糖尿病・高血圧症・脂質異常症のいずれかがあり、合併症はない状態	生活習慣病があり、糖尿病性合併症・脳血管疾患・動脈疾患・虚血性心疾患がある状態	入院を伴う四肢切断急性期・冠動脈疾患急性期・脳卒中急性期、および透析期(通院含む)の状態	「生活機能の低下」の該当が1年前にあったが、当該年度は入院はない状態

14,517	4,270	152	39
14,387	4,176	155	52

27.5	8.1	0.3	0.1
------	-----	-----	-----

27.6	8.0	0.3	0.1
------	-----	-----	-----

28.6	10.2	0.3	0.1
------	------	-----	-----

244,565	502,366	4,172,180	674,417
---------	---------	-----------	---------

3,550,352	2,145,105	634,171	26,302
-----------	-----------	---------	--------

1,416,876	856,069	253,085	10,496
-----------	---------	---------	--------

◆健康マップを主要健診項目別に示します

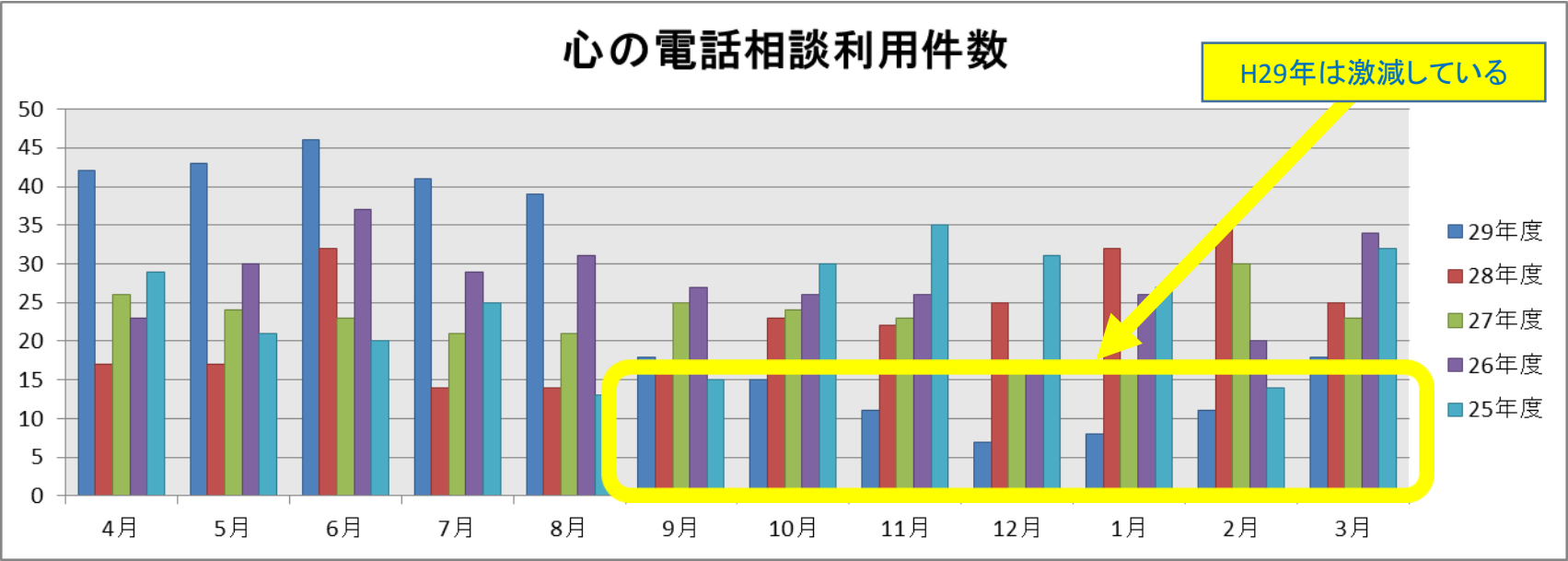
[未通院]の人の主要健診項目別該当者数

	正常	不健康な生活	患者予備群	治療放置群
血糖	血糖: 110mg/dl未満又は HbA1c5.6%未満 8,459	血糖: 110mg/dl以上又は HbA1c5.6%以上 5,615	血糖: 126mg/dl以上又は HbA1c6.5%以上 199	血糖: 140mg/dl以上又は HbA1c7.0%以上 196
血圧	血圧: 85/130mmHg未満 8,459	血圧: 85又は130mmHg以上 3,105	血圧: 90又は140mmHg以上 2,982	血圧: 100又は160mmHg以上 735
脂質	中性脂肪: 150mg/dl未満 又はLDL:120未満 又はHDL:40以上 8,459	中性脂肪: 150mg/dl以上 又はLDL:120以上 又はHDL:40未満 8,490	中性脂肪: 300mg/dl以上 又はLDL:140以上 又はHDL:35未満 5,982	中性脂肪: 400mg/dl以上 又はLDL:160以上 又はHDL:30未満 3,639

[通院・入院]の人の主要健診項目別該当者数

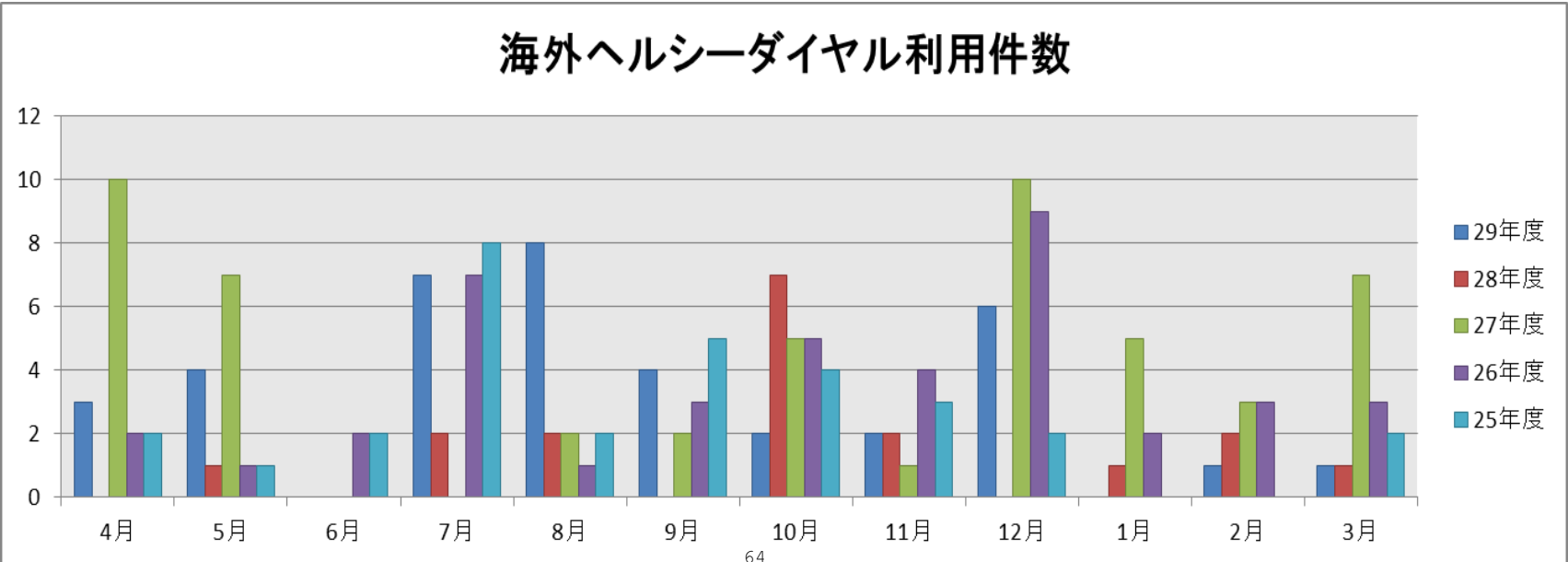
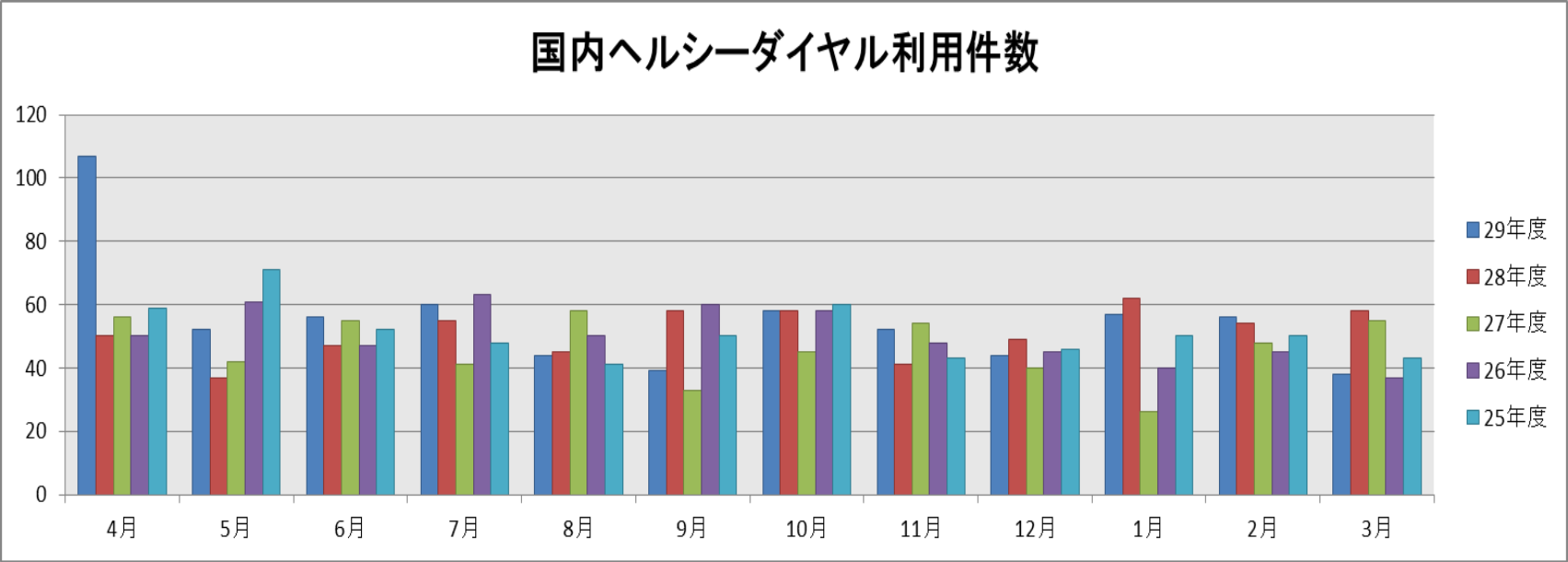
生活習慣病	重症化	生活機能の低下の状態	再発予備群
血糖: 140mg/dl以上又は HbA1c7.0%以上 947	血糖: 140mg/dl以上又は HbA1c7.0%以上 640	血糖: 140mg/dl以上又は HbA1c7.0%以上 9	血糖: 140mg/dl以上又は HbA1c7.0%以上 2
血圧: 100又は160mmHg以上 874	血圧: 100又は160mmHg以上 189	血圧: 100又は160mmHg以上 9	血圧: 100又は160mmHg以上 0
中性脂肪: 400mg/dl以上 又はLDL:160以上 又はHDL:30未満 2,019	中性脂肪: 400mg/dl以上 又はLDL:160以上 又はHDL:30未満 337	中性脂肪: 400mg/dl以上 又はLDL:160以上 又はHDL:30未満 5	中性脂肪: 400mg/dl以上 又はLDL:160以上 又はHDL:30未満 0

メンタルヘルス支援



《電話相談》														利用率	被保険者	単価/件
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計			
29年度	42	43	46	41	39	18	15	11	7	8	11	18	299	0.431%	69408	8,669
28年度	17	17	32	14	14	17	23	22	25	32	35	25	273	0.401%	68033	9,495
27年度	26	24	23	21	21	25	24	23	16	16	30	23	272	0.407%	66768	9,529
26年度	23	30	37	29	31	27	26	26	17	26	20	34	326	0.484%	67347	7,951
25年度	29	21	20	25	13	15	30	35	31	27	14	32	292	0.417%	70000	
24年度	28	16	28	26	17	27	22	15	19	30	28	11	267	0.373%	71600	
23年度	32	25	24	26	19	28	21	22	23	26	17	17	280	0.395%	70800	
22年度	36	38	35	37	28	33	25	23	24	16	24	42	361	0.532%	67831	
21年度	33	37	57	47	21	35	33	29	30	34	20	40	416	0.584%	71228	
20年度	39	26	49	49	33	47	34	37	32	35	29	30	440	0.602%	73073	
19年度	45	50	70	49	40	60	55	61	43	60	49	56	638	1.225%	52090	
18年度	40	43	34	40	35	42	57	70	36	52	31	47	527	0.805%	65493	
17年度	32	36	29	15	19	29	18	16	10	13	19	32	268	0.514%	52090	
16年度	12	21	27	10	15	14	10	22	12	19	26	43	231	0.453%	51012	

電話相談による
健康相談



7月・9月・12月の連
休シーズンの利用

安心して治療に専念できる環境づくり（付加給付の充実）

2.窓口負担に対する給付金について(高額療養費・付加給付)

病気やケガで保険証を保険医療機関に提出して必要な医療を受けたときに窓口で支払う自己負担分に対して下記のような給付金があります。

高額療養費

保険診療を受けた被保険者・被扶養者ともに自己負担額が一定額（自己負担限度額）以上になると、その超えた部分が「高額療養費」として還付されます。自己負担限度額は70歳未満、70歳以上で異なります。

付加給付金・・・一部負担還元金（本人）、家族療養付加金（家族）

日産健保では更に受診者の自己負担軽減を図るため、下記の限度額を超えた場合、付加給付を行っています。
同一月に同一医療機関(入院・外来別)で保険診療を受けた際の自己負担額が、25,000円を超えたとき25,000円を差し引いた金額を100円未満切り捨てて支給。

手続き

日産健保では、受診月の約3カ月後に自動的に給付金をお支払いしますので請求の手続きは必要ありません。
但し、以下に該当する場合、自動払いを行わず償還払い（被保険者から請求）となりますので、「還付金申請書」にて手続きが必要です。
1. 医療助成の該当になっているが、自己負担額がある時
2. 小学校入学前の方で、国や市町村からの医療助成が受けられない時

【注意】 市の医療助成と健保給付金との重複払いを避けるため、給付金の自動払いを停止します。
・医療助成を受けられる方…日産健保へ連絡または手帳の写しをお送りください。
・医療助成を受けられなくなった方…自動払いに変更しますので日産健保へご連絡ください。

5.傷病手当金について

病気、けが等で会社を休み、給与が支払われないときに支給されるものです。
連続して3日以上休んだ時(最初の3日間を「待期間」といい、支給はありません) 4日目から支給されます。

よくある質問Q & A

支給期間

傷病手当金	支給開始日から1年6ヶ月 (暦の上での1年6ヶ月。支給日数ではありません。)
延長傷病手当金	傷病手当金終了日から6ヶ月。 但し、障害年金・障害手当金の受給が出来ない場合に 限る。

平成28年4月1日からは、被保険者期間により計算基礎が異なります。

【被保険者期間が1年以上の方】

種類	法定給付	付加給付
	法律で定められている給付	日産健保独自の給付
傷病手当金(法定給付+付加給付) [支給開始日の属する月以前の直近の継続した12ヶ月間の標準報酬月額を平均した額]×60%×日数×C	[支給開始日の属する月以前の直近の継続した12ヶ月間の標準報酬月額を平均した額]×60%×日数×C	C-D
延長傷病手当金(付加給付のみ)	—	[支給開始日の属する月以前の直近の継続した12ヶ月間の標準報酬月額を平均した額]÷30×60%×日数

健康白書

健康白書

FY16/従業員の医療費、主要な疾病の状況をデータで示したもので、各社別データ、及び日産健保全体と比較しています

- 700 ジャトコ株式会社
- 711 ジャトコエンジニアリング株式会社
- 712 ジャトコツール株式会社
- 713 ジャトコプラントテック株式会社



日産自動車健康保険組合

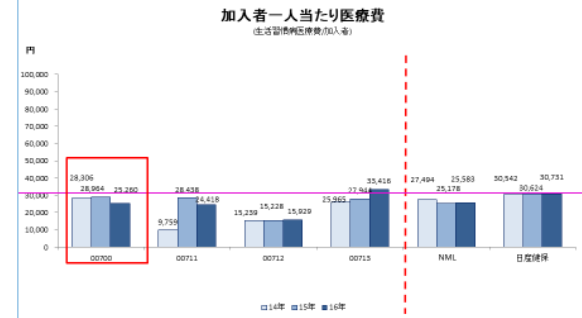
属性

記号	会社名	従業員数	男性	女性	平均年齢	男性割合	女性割合
700	ジャトコ株式会社	6,750	6,239	511	43.2	92.4%	7.6%
711	ジャトコエンジニアリング株式会社	690	647	43	41.2	93.8%	6.2%
712	ジャトコツール株式会社	79	63	16	44.8	79.7%	20.3%
713	ジャトコプラントテック株式会社	203	187	16	44.6	92.1%	7.9%
100	日産自動車	27,224	23,990	3,234	42.9	88.1%	11.9%
日産健保	日産健保	66,534	58,122	8,412	43.5	87.4%	12.6%

目次

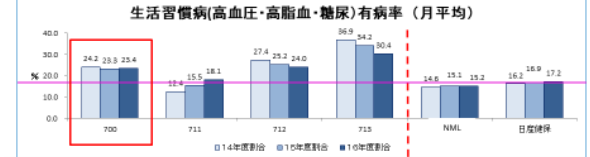
- 1-生活習慣病医療費の状況
- 2-有病率（治療者/加入者）
①生活習慣病 ②虚血性心疾患・脳血管疾患 ③悪性新生物（がん） ④メンタル
- 3-傷病休業
- 4-ハイリスク者 医療機関受診率
- 5-喫煙率

1-生活習慣病医療費の状況

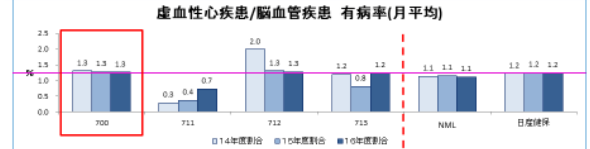


ジャトコプラントテック以外は 健保平均を下回り
前年より改善傾向。

2-有病率

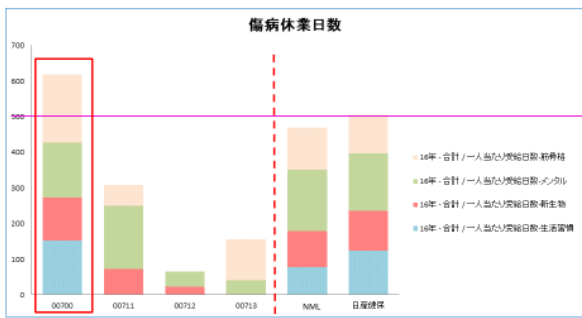


すべての事業所において健保平均を上回っている。



ジャトコエンジニアリングのみ健保平均を下回っている。
重症疾病は労働生産性の損失につながる。生活改善や受診勧奨の強化で発症予防を。

3-傷病休業日数



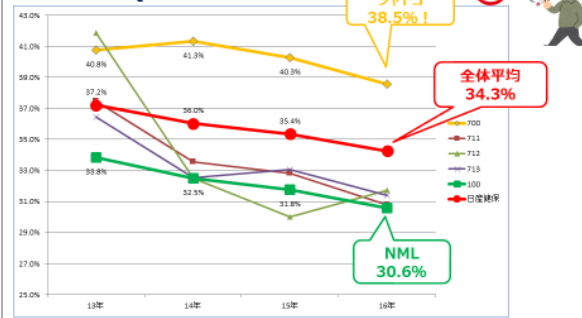
ジャトコ、健保平均より筋骨格系の傷病休業日数多い。

4-ハイリスク者 医療機関受診率



ジャトコツール未受診者率高い。
ハイリスク者の未受診率が高くなると重症化移行の恐れあり。受診勧奨の強化が必要。

5-喫煙率(40歳以上)

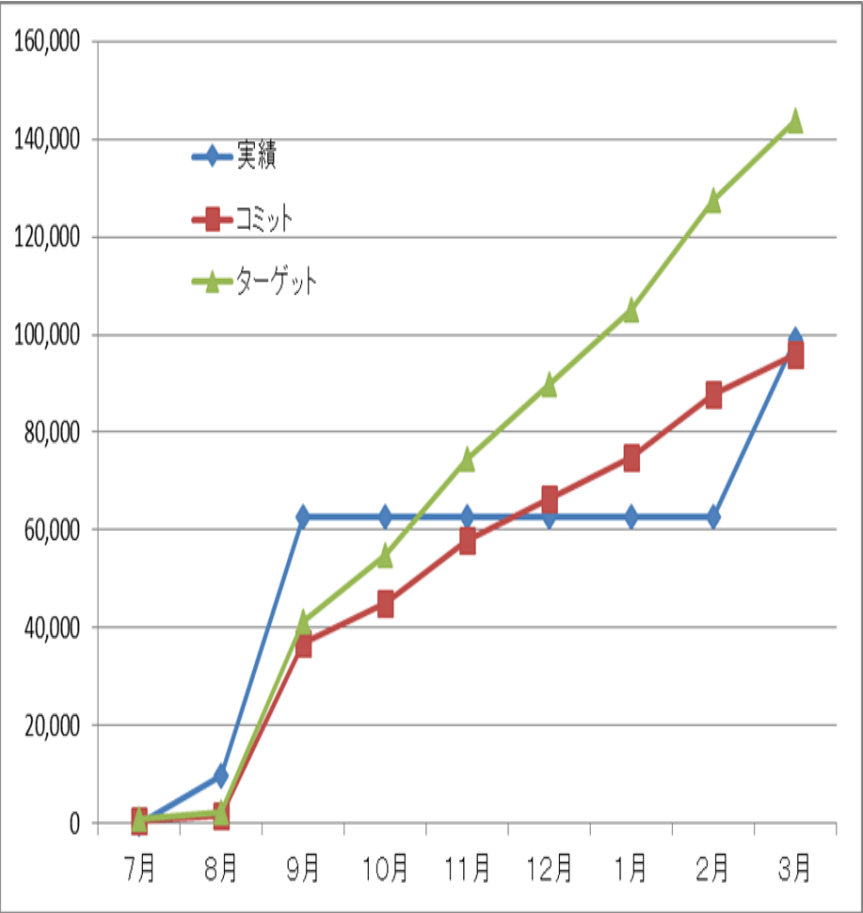


全事業所、年次で改善傾向。

事業所訪問数 45事業所へ直接訪問

医療費貢献ポイント

医療費貢献ポイント（合計）



	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績	0	9,628	62,785	62,785	62,785	62,785	62,785	62,785	99,057
コミット	722	1,445	37,048	45,154	58,038	66,422	74,806	87,718	95,883
ターゲット	1,083	2,167	41,255	54,788	74,599	89,909	105,219	127,573	143,818

